

刊名	創刊年	発行の時期及時間	所在地	代表者	紙張	紙数	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日
満洲新聞	一九三二年	日刊、午時	奉天	王長	四六	一三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
...

概況 満洲國內發行物の定期出版物はこれを大別すれば民間刊行物と政府機関刊行物の二種に分つて出される。而して建国日なほ淺いがため出版物の数も未だ餘り多くないが、然し最近に至つて著増の傾向がある。即ち民間定期刊行物については康徳元年七月末において満洲國政府が許せる國內諸新聞並に雜誌等の数は五十三に過ぎなかつたものが、康徳二年九月末現在では六十八（日本人經營に係る新聞、例へば盛京時報、大北新聞等、若くは英字紙英人經營の譯字紙等含まず）を數へるに至つて居り、又政府諸機關の定期刊行物も七十一であつたものが、更に十六を加へて八十七を數へるに至つた。民間定期刊行物の内譯を示せば左を如し。

出版法の制定 満洲國に於ける出版物の取締りについては大同元年十月十三日敕令第三號を以て出版法を制定し、これに依つて行はれて居るが、右は各種出版物の絶対的自由を認むる時は住々にして國家組織の大綱を不法に變更し、又は國家存立の基礎を危殆ならしむる事項、外交又は軍事の機密に關する事項、國家統治上重大なる影響を及ぼす事項、犯罪を煽動し若くは曲庇し、又は別事被告人或は犯人を賞恤若くは陷害する事項、民心を惑亂し又は財界を擾亂する慮れある事項、其他安寧秩序を亂し、又は風俗を害する事項等が制限なく掲載される處があると見地より、これを防止するなめ詳細の規定を設けたもので其他出版物に關する手續等を詳細に規定

大同報 満洲報前日紙として日本側に譲渡されて居る「大東報」が、事變後社員を代置し同時に號を「大同報」と改め、従来の態度を一變、更に昭和七年滿洲國政府の承認を得た結果、翌年春即ち大同二年三月一日の建国記念日を以て新組織により機械活字を用ひ印刷部を新設し、且つ従来の六頁を十二頁となし而して一新せる現在の如き大同報紙を發行するに至つた。なほ此報は國務院前の空地を下し現在の假社屋を建築したが而も牛歳ならずして社屋の狹隘を感じたので近き將來に於て南新京前に一千三百坪の預定敷地の拂下げを受け本社屋の建築を計劃中である。發行紙數は大同三年三月現在一萬五千餘部と稱せられた。現在の幹部社長王光烈、副社長都甲文雄、編輯局長山口源二、營業局長橋山八郎。

民間定期出版物表（康徳二年九月一日現在）

刊名	創刊年	発行の時期及時間	所在地	代表者	紙張	紙数	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日	刊行日
大東報	宣統元年	日刊、午時	奉天	王長	四六	一三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
...

滿洲國稅計 康德二年 同月
滿洲國警察行台報 康德二年 同月
孔學會々々 康德二年 同月
滿洲國教育月刊 康德二年 同月

政府諸機關定期刊行物表

Table listing government publications with columns for publication name, frequency, and publisher. Includes titles like '滿洲國稅計', '滿洲國警察行台報', etc.

Table listing provincial and local publications across various regions like Heilongjiang, Jilin, and Manchuria. Columns include publication name, frequency, and publisher.

Table listing publications from the 'National Borderline Bandit Situation' section, including titles like '滿洲國稅計', '滿洲國警察行台報', etc.



社會事象

匪賊

種類 (一)政治匪、反滿抗日を標榜し滿洲國建國後東北軍閥系統に屬する軍隊の背後せるもので馬占山、蘇炳文等の軍隊の殘黨即兵匪がその大多數を占めてゐる。(二)思想匪、共產匪であるが果して固き共產主義的信念を有するやは疑はしいが、黨部より銃器彈藥その他金品の支援を受ける便宜の立場よりこれに投ずる者多きは考へられる。然し乍ら北滿鐵路沿線に實現された共產黨滿洲省委の赤色工作は昭和九年度七、八月の頃赤色マルチザン工作となり交通地獄を現出したるは注目し得る。(滿洲共産黨の部参照)。(三)土匪、半農半匪でこの中には紅槍會、大刀會匪の如き迷信的邪教を信奉する匪賊も含まれる、彼等の多くは平素は農業に従事し一朝生活に窮迫する

時は手近にある銃を持つて匪賊に早變りする。

現勢 建國以前の匪賊總數は十三萬餘であり建國當初には兵匪が増加したので三十五萬に増加し最近の調査(十年二月頃)によると日滿軍の匪賊討伐の結果三萬餘に減じてゐる。その數を分析すれば反滿抗日匪が最も多く全體の五割を占め、次に土匪が約三割、共產匪は最も少く約二割で、この中土匪は約一萬に充たぬ數字になつてゐるが、農村疲弊の深刻化に伴つて漸次擴大の兆あり、半農半匪の小集團が隨時隨所に跳躍してゐる。而して土匪及び政治匪が赤色工作に操られ、逐年赤色勢力の中に溶け込みつゝある事態は重大視すべきである。

各省の匪賊概況

Table showing the general situation of bandits in various provinces, listing province names and corresponding figures.

國線沿線の匪賊概況

多いのは濱江省で哈爾濱と東部國境の綏芬河を連ねる鐵道沿線の沿線に多數の反滿抗日匪が蟄居してゐる。是に次ぐものは奉天。安東の兩省に亘る東邊道及奉天省の三角地帯吉林省の北部で、少からず反滿抗日匪が策動し、共產匪は主として北滿鐵路、安東、關東州の方面に蟄居してゐる。十年五月中關東軍の各部隊よりの報告に基くと、匪賊は東邊道吉林省方面に増加の傾向であり何れも地勢の關係上討伐困難であり、最近の匪賊の傾向としては一時分散の形をとつてゐるものが漸次集團化し制限その他も滿洲國軍と同じものを穿ちカムフラージュするなどその戰術方法は巧妙になり襲撃は大膽不敵を極めてゐる。

對策 日滿軍の討伐の外、匪化の原因をなす山東苦力の入滿制限、「宣達達情」運動、討伐後の宣撫工作等に全力を用ひてゐるが十年五月關東軍調査による各部隊討伐状況は次の如くである。

- 三毛部隊 ▲交戦五回 ▲遺遺匪數三二五五名 ▲匪首死體二七九 ▲我が戦死將校以下四 ▲遺遺三
- 佐藤部隊 ▲交戦六回 ▲遺遺匪數三〇七五名 ▲敵遺棄死體一七四 ▲我が戦死將校以下八五 ▲遺遺二七名
- 岩崎部隊 ▲交戦四回 ▲遺遺匪數三三三三名 ▲敵遺棄死體二四七 ▲我が戦死三三 ▲遺遺一五五名
- 川岸部隊 ▲交戦二回 ▲遺遺匪數四、四四〇名 ▲敵遺棄死體五八三 ▲我が戦死將校以下八五 ▲遺遺一七名
- 清水部隊 ▲交戦七回 ▲遺遺匪數四一三三 ▲敵遺棄死體三九 ▲我が戦死二名 ▲遺遺五五名
- 合計 ▲交戦一九五回 ▲遺遺匪數一四、五三七名 ▲敵遺棄死體一、四二二 ▲我が戦死將校以下二五五 ▲遺遺七五名

これによつて見ると各部隊は全滿匪數の約半數と遭遇したものと知れる。又滿洲國軍政部調査による五月中の滿洲國軍の匪賊討伐状況は次の如く頗る好成績を擧げてゐるが、更に五月中の特徴として各軍管區共匪首の逮捕、射殺の數が著しく増加してゐり、滿洲國軍の質的向上を裏書してゐる。なほ各軍管區司令部の報告に基づき五月中の全滿匪賊數は二萬三千八十九名(内匪首

三百六十名)にして四月に比し千九百九十七名の減少である。

戰時匪數二百四十二、討伐々數一萬六千三百五十一名、人質擄獲八十六名、匪賊の捕獲戰死五百五名、其内六百三十四名、捕虜二十二名、滿洲國軍の捕虜戰死二十三名、其内者六十一名

滿洲の共產黨

況 滿洲共產黨は中國共產黨の支部であり、その滿洲省委が全努力を傾倒し發展を計つたものは赤色バルヂェン工作である。昭和九年二月には中國共產黨中央委員會は滿洲省委に對し指令を發し特にその主要任務をバルヂェン運動に置いたと傳へられるが、この現れは各地思想匪賊活動と密接なる關係に於て見られ、赤色工作は専ら北滿鐵道沿線に於て實現された。昭和九年八月一日より八月日までの哈爾濱道路局公佈の交通統計ですら次の如き鐵道事故を算へてゐる。

列車 順復 一六	旅客及貨運 四一
機車 切 九一	貨物 一六
旅客 切 一四	通信機 一八
旅客 切 一四	貨物 一〇二
旅客 切 一四	貨物 一〇二

更に八月六日以降匪賊鐵道襲撃事故は毎日平均二件を數へたと云われ交通地獄を現出し赤色バルヂェン工作の相當目覺しきも

滿洲省委は中國共產黨より獨立すべしと云ふ主張は鮮人の黨幹部より提示されるに至つた。然し乍ら在滿赤色勢力の衰頹と共に、この問題は理論争闘の本質的興味を失ふに至つたが九年六月には鮮人黨有力幹部朱建は滿洲共產黨獨立を企圖しコミンテルンに陳情の偽モスコイに赴いたと傳へられてゐる。更に九年度滿洲省委の小史を列擧すれば

- ▲二月二十三日江蘇省瑞金にて第二次全國ソヴェト代表大會開催
- ▲二月、東滿に東北人民革命軍第二軍第一獨立師成立
- ▲二月二十六日、中國共產黨中央委員會、滿洲省委に重要指令を發す
- ▲二月末、哈爾濱にて滿洲省委擴大會議開催
- ▲三月、土龍山事件起る
- ▲四月、哈爾濱の滿洲省委アクト檢査起る
- ▲六月七日延吉縣五方黨にて在滿首領聯合大會開催
- ▲六月、朱建モスコイに向ふ

以上であるが十年二月三日には天津に於て中國共產黨北代表大會が開催され北鐵道後援に於ける對滿工作方針に就き重要なテーゼを制作したと傳へられるが注目すべき項目は

- 一、在滿洲國軍政組織を擴大強化し國軍第四個軍團、赤軍三十個軍團、少年先鋒軍六個軍團を編成する
- 二、在滿洲國軍政として毎月五十萬元を計上し、中百二十萬元は黨より支出し餘額は北委員會より支出する

在滿鮮人の動態

概況 滿洲に於ける朝鮮人はその實數に關し各方面の調査必ずしも一致せず正確なる數字を知ることは出来ないが、大體百萬人とみられてゐる。これら朝鮮人の滿洲移住は諸國にみる殖民の如く、移民の保護、獎勵等によるものではなく、諸種の原因によりて自然的に移住したものである。即ち朝鮮内人口の過剩と頻發せる凶災、經濟的窮迫による生活土の齟齬等のために、遂に避難的性癖の赴くまゝに接壤地の滿洲に生活求めて移住したものと、それに日韓併合以來政治的不平分子が國內にゐるを好まがして滿洲に移住したものとによるものである。しかして現在滿洲に在住する朝鮮人の分布状況は極めて廣い範圍に亘り、密度に於ては間島の特別地帯を除き、奉天省を最大とし、吉林、黑龍江、熱河これに次ぐ順序となつてゐる。

間島省の歴史 昭和九年度に間島を通過北進した鮮人數は十萬に上り、省内は最近年に二萬の鮮人が増加してゐるが間島省二千萬里の地積人口六十萬中の八割四十五萬は鮮人である。間島省は滿洲國建國前は間島省特別行政地區と稱せられ、明治四十二年日支間の間島協約によつて、支那の主權を認める代りに和龍、延吉の二縣と汪清、安圖二縣の一部を商埠地として開放し朝鮮

のがあつた。之に對し日滿官憲の取締追究は嚴重を加へ四月には哈爾濱に於る滿洲省委アクト檢査、七月にはボダニチナヤ地方に於ける滿洲國黨員の檢査、八月には北鐵道黨員四十餘名の逮捕あり、吉林東部地方の討伐行と相俟つて九年末には全滿の赤色陣營は衰頹の兆を示したが、尙、最近の匪賊状況を見るに、漸次思想匪の増加を見るので仲々輕視すべからざる勢力を有するものと思はれる。(匪賊の部参照)

滿洲共產黨獨立論 滿洲共產黨運動に於ける朝鮮人黨員の地位は最も重要であり、間島地方の工作は居住民の分布状態より主として朝鮮人によつて行はれ、哈爾濱、大連、樺甸等に於ける工作は滿洲人を主として行はれてゐる。而して朝鮮人主義者の大部分は民族主義を基調とするものであり、勢ひ、滿洲人黨員間には民族的感情のギャップが生じ、惹いては理論争闘の標的となり、實踐争闘の指導權を運ぶ粉料が繰返された。もともと滿洲には朝鮮共產黨滿洲總局なるものがあり主として間島地方で活躍してゐたが、コミンテルンの指示に従ひ一國一黨主義の原則になつて昭和五年、中國共產黨に合流し、滿洲省委の統制下に置かれるに至つたものである。然るに滿洲國成立と共に、一國一黨主義の原則を強調し、

の間島として總督府の統制下にあり、總督府は今まで在間島の鮮人に對する施設として教育、衛生その他間島に一千萬圓の資を投じたとみられてゐる。従つて滿洲國建國大回元年九月頃から在住有朝鮮人等が主體となつて間島の自治體としての獨立を期し

- 一、間島は特別區として間島省を設立せよ
- 一、延吉市政警備隊を改組して成る程度までの行政上の機關を附與せよ
- 一、延吉商團編成を改組せよ
- 一、朝鮮人縣長又は參事官を任命し、一般官吏にも應人を採用すべし

等々の問題を携へ滿洲國當局に迫つた。

茲に於て滿洲省公署では中央、關東軍、朝鮮軍、朝鮮總督府等々各機關に請ふ結果、延吉市政警備隊を改組し、延吉に四縣を管轄する吉林省公署特派駐延行政專員辦事處を設置、各縣の商埠市政事項を處理し九年十二月に至り省廢合實施に當つて特殊地帯たる間島を一省とし、省公署の人事に對して、民政廳長には朝鮮人金秉憲氏、總務廳長には總督府官吏として、朝鮮の行政に明るい松下氏を置く等省公署の官吏は滿、日、鮮各三の比率を以て配置し、省公署では先づ省内鮮人に對する根本政策を確立するたため先づ

- 一、朝鮮總督府が是まで間島に對して鮮人のため設けた公共施設財源、學校、病院その他一千萬圓と

いはれてゐるが、事實は是より遙かに少い)を無條件で公費に充てしむること。
 一、毎年朝鮮總督府が在朝鮮朝鮮人施設費用として受け得る補助金七十萬圓を直轄日本政府より滿洲國政府に交付し各公費の手に依つて朝鮮人施設を行ふこと。
 の二項を日滿外交交渉に依つて要求し、在朝鮮朝鮮人の施設機關を一に統制することを根本策としてゐる。

鮮人指導機關 (一)共助會、間島は鮮人民族獨立運動赤化匪賊の巢であつた間島の治安工作は武力討伐の一方、彼等不逞鮮人の指導を必要とし、日滿官憲が協力して行つたが就中わが憲兵隊が支援して結成せしめてゐる共助會の活動は著しいものである。共助會は當初、わが討伐のため或は宣傳工作によつて不逞の仲間から脱して轉向した鮮人等を集めて結成したもので、團員のための職業紹介、或は他の非轉向者に対する宣傳工作その他公費のみの社會事業を行つてゐるが今日では會の範圍を擴大して地方の有識鮮人も加はり會員四千五百名を數ふるに至り、間島地方における唯一の文化指導機關として民衆の中に勢力を占めてゐる。(二)相助會、間島省内の琿春縣は別に相助會をつくつて約一千二百の轉向の鮮人が公共のため活躍してゐるが、このうち二十歳以上四十歳以下の中堅分子を集め

て正義團を結成し、治安維持の突撃隊として他の指導に當つてゐる。(三)正義團、正義團は本年二月十一日の記念日を以て琿春において發會式を挙げたばかりであるが、現在會員三百名を擁し、平時は農業或は商賣に、夜を家業にいそしむ、匪賊討伐の時には自ら武器を持つて立ち、或は其仲間に対して正而の實を説いて團員を勧める等治安工作に大きな功績をあげてゐる。特に注目すべきは此等の團體は當初は轉向者の人々を以て結成されたものが、後には一般鮮人も加はつて一體となり公費のため活動して居り、將來在朝鮮鮮人の指導機關として思想的に又文化上の機關として中心勢力をなすものと期待されてゐる。

鮮人民會聯合會 在朝鮮鮮人同族は二、數年來急激に増加して既に百萬人に達し従つて日本にとつて滿洲に於ける鮮人問題の重要性は一層増大して來たが最近頗る増加した鮮人關係問題の解決案を研究する全滿朝鮮人民會聯合會十年度總會は五月三十日から五日間新京記念公會第一會議室で開催され参加人民會は本年新に生れた間島及び北滿方面各支部を加へて百三十餘國民會に上るが本會議に提出された重要案を列挙すれば
 一、滿洲國政府に朝鮮部設置要望の件

一、在滿朝鮮人代表を朝鮮中樞院に列席せしめる件
 二、在滿朝鮮人巡捕を巡査とせしめる件
 三、在滿朝鮮人の歸屬問題
 四、治外法權撤廢實施に伴ふ在滿朝鮮人の指導方針

等て次の事項を決議した。
 一、滿洲國政府に朝鮮部設置要望の件
 二、在滿朝鮮人巡捕を巡査とせしめる件
 三、在滿朝鮮人の歸屬問題
 四、治外法權撤廢實施に伴ふ在滿朝鮮人の指導方針
 五、匪賊討伐及治安維持に関する件
 六、治外法權撤廢準備として鮮系官吏を相當數採用し在滿朝鮮人の不安を除去せられたる件
 七、金融會融資金増額要望の件
 八、初等教育補助金増額に関する件
 九、全滿朝鮮人普通學校教員講習會及教員養成所設置の件
 一〇、大使館内朝鮮人事務官設置要望の件
 一一、自營移民の救済及統制策講究の件
 一二、新設移民會社には昭和十年年度後渡滿の自營移民を收容せられたる件

一三、鮮農に對する小作權を確保せられたる件
 一四、農事輔導委員會の輔導機構に関する件

一五、集家法實施に関する件
 一六、日滿人間(鮮人を含む)には土地購買を許し所有權を認められたる件

一七、在滿朝鮮人國籍問題に関する件
 一八、朝鮮人の多數居留する都市の民會内に總務紹介部を設置の件

一九、全滿朝鮮人民會賦課金徵收條令を大使館令を以て發布する様當局に交渉の件
 二〇、在滿朝鮮同胞としての國防飛行機獻納要望の件

二一、土地商租契約認可に對し所轄領事館に制限面積(十五町歩)以上に對する認可權附與方請願に関する件

二二、全滿朝鮮人の中等實業教育機關必要の件
 二三、朝鮮人巡捕を巡査に昇格せしめられたる件

二四、在滿朝鮮人をして中樞院に列席せしめられたる件
 二五、本聯合會を常設機關として新京に移轉すると同時に聯合會分會を各省に設置するの件

二六、各民會基本財産基礎を確保すべき土地を滿洲國政府より安價或は無償として拂下方願の件

無籍朝鮮人の問題 滿洲國內に居住する鮮人の六割七割は無籍であるが何れも日本人として滿洲國に對し治外法權を有するので滿洲國の出官官廳は何れも行政權の完全なる行使をなし得ず國內治安維持の上からも相當不便を招來するので地方官廳、協和會などに於ては無籍朝鮮人を滿洲國人とすべしとの請が高まり、滿洲國政府は無籍朝鮮人を滿洲國に移管せしめたいと吾が大使館當局に申出たが、國內治安状況も相對的に保持されない現情より見て時機尚早論もあり、建國以來の課題となつてゐた鮮人農民の國籍問題は十年度春頃より再び重大なる問題となつた。

在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

滿洲の秘密結社

(一) 在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

地を滿洲國政府より安價或は無償として拂下方願の件

無籍朝鮮人の問題 滿洲國內に居住する鮮人の六割七割は無籍であるが何れも日本人として滿洲國に對し治外法權を有するので滿洲國の出官官廳は何れも行政權の完全なる行使をなし得ず國內治安維持の上からも相當不便を招來するので地方官廳、協和會などに於ては無籍朝鮮人を滿洲國人とすべしとの請が高まり、滿洲國政府は無籍朝鮮人を滿洲國に移管せしめたいと吾が大使館當局に申出たが、國內治安状況も相對的に保持されない現情より見て時機尚早論もあり、建國以來の課題となつてゐた鮮人農民の國籍問題は十年度春頃より再び重大なる問題となつた。

在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

(二) 在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

(三) 在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

(四) 在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

(五) 在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

(六) 在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

(七) 在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

(八) 在東の現有勢力 滿洲の在東の感になつたのは近年の事に屬し、最初は大連、安東、營口地方の労働者中に極めて少數の精員の公存するに留まつたが漸次全國的に擴大してゐる。その数は研究者により若干の差異はあるが普通百萬と稱せらる。

では毎月會員小洋二十元宛徴收し三箇月に及び會員の不納者は資格を失ふ。(ロ)哈市北滿總會では入會金三圓、毎月會員一圓、(ハ)佳木斯三總會にては入會金二圓乃至五圓を徴收する外、密附金による。(ニ)依蘭、富錦の三總會にては會員を徴收せず専ら黨費の密附により、(ホ)德通河子三總會にては財力に應じ入會金二圓以上を徴收しその他は密附に依る。

活動狀況 (一) 布教並に勢力擴張 元來秘密結社なるが故に一般宗教の如く布教或は勢力擴張の舉に出る事なく、ある地域又は或るグループの會員が日數個不定の場所に集合、秘密裡に教則を談じ入會者の發選などに當つたが滿洲國成立以來表現結社たらんとするや從來の面目を一新し漸次表面化せんとする氣運が窺はれる。北滿鐵道河子附近に於ける匪賊の大部分は會員たる關係上住民は被害を免れる手段として入會者増加し公然禮拜布教をなすに至つたが官憲に感知せられるや潛行的となり毎月秘密會合をなす由である。

(二) 事業 在家裡の執行機關たる理善勸戒禁煙禁酒會並に其他の表現的結合たる團體の事業として可成見るべきものがある。然し在家裡自體では事業と稱するものなく、只別個の目的を以て結合せる理善勸戒禁煙禁酒會、東亞佛教會と連絡聯合の下に類舊の事業をなしてゐる。

區に宗理教務部小學校を開設し、附近貧民子弟三百名を收容し、建國精神、日滿親善思想の普及に努めつゝあり、(ロ)在哈市北滿總會にては康德元年三月日本滿洲の火災に義捐金を募集百餘圓を送附、(ハ)在奉天在蒙理は康德元年三月の大義行を以て人對愛護會に理道研究會聯合大會執行部を行ひ、(ニ)海拉爾の在蒙理は日本滿洲火災に金四十圓の義捐金を送附せり

在家裡利用運動 滿洲國成立以來在家裡を利用して滿洲國の爲に活用せんとするもの、或は宗教團體にして自派勢力の扶植擴大に利用せんとする者があり、或は舊東北軍、南京政府、蘇聯等にして在家裡を利用して滿洲國擾亂又は國情調査等所謂反滿抗日に利用せんとしつゝある事實がある。

在理教 在家裡と混同され易いが保安自營を目的とする秘密結社に非ずして、禁酒禁煙に依る自己修養を會員の相互扶助を本義とする宗教的修養結社である。然し在理教も亦宗教的に結合された一つの秘密結社の側面を有し歴史的には山東地方より發生した迷信的結社である。今日に至る迄在理教は一つの宗教的修養團體である限り、政治的或は社會的活動をした事もないが、近來在家裡は合法的結社としての權利を獲得すべく在理教に合流する傾向が著しく加ふるに在理教の會員に土豪土匪の参加する者が多いので社會運動或は政治運動に關係を持つ危険性を包蔵する。

北滿の白系露人狀況

最初白系露人難民の北滿進出は一九一八年の初頭即ち帝政ロシアに於けるボリシエウキ革命の直後で、一九二二年共產主義者の沿海州占據に依り大量の軍閥難民の渡滿となつた。之等數萬の白系露人は直接間接に滿洲軍隊と連絡を取りウシキガ河東部より太平洋沿岸一帯に於てロシアニズム撲滅の積極的闘争を敢行しつゝ糧を求めて東支鐵道附屬地へと殺到した。一九二四年迄の白系ロシア人は主として東支鐵道に依つてゐたが同年三月十四日の蘇支協定成立後ソヴェト勢力は東支鐵道に急進しソヴェト化の過程を見、鐵道及其沿線に於ける白系露人の生活は次第に窮乏化した。然し乍ら一九三五年三月の北滿渡河により、赤系北滿從業員約三萬は六月頃迄には本國に歸還し、白系露人が採用されるに至つたので幾分の生活安定を得るに至つた。康德元年現在哈爾濱警察廳、領事館並關係當局の調査によれば北滿一帯及哈爾濱在住露人の總數大略左の如し。

- (一) 哈爾濱在住
 - 白系露人(男) 一六、三六八人
 - 白系露人(女) 一三、三六八人
 - 滿洲國籍(男) 三、三六八人
 - 滿洲國籍(女) 三、三六八人

- 蘇聯籍人(男) 二、二〇八人
- 蘇聯籍人(女) 一、一〇四人
- 合計 三、三一二
- (二) 北滿鐵路沿線
 - 東部沿線(男) 一、一〇八人
 - 東部沿線(女) 一、一〇八人
 - 右内側 白系露人(男) 一、一〇八人
 - 右内側 白系露人(女) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(男) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(女) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(男) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(女) 一、一〇八人
 - 合計 三、三一二
- (三) 三河地方
 - 露人移民村(男) 一、一〇八人
 - 露人移民村(女) 一、一〇八人
 - 右内側 滿洲國籍(男) 一、一〇八人
 - 右内側 滿洲國籍(女) 一、一〇八人
 - 右以外は蘇聯籍人皆判
 - (四) 齊齊哈爾沿線
 - 右内側 白系露人(男) 一、一〇八人
 - 右内側 白系露人(女) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(男) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(女) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(男) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(女) 一、一〇八人
 - 合計 三、三一二
 - (五) 南滿鐵路沿線
 - 白系露人(男) 一、一〇八人
 - 白系露人(女) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(男) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(女) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(男) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(女) 一、一〇八人
 - 合計 三、三一二

(以上の中北滿總會により赤系露人の殆んど全部は歸國した)

滿洲國獨立後ソヴェト政府の彈壓に對へ兼ね滿洲國側へ越境、歸化した白系露人の數は著しく増加したが生活の基礎なく不安な状態にある。又北滿沿線の白系露人はその生業たる牧畜、養蜂、養蠶、果樹栽培又は野生蕈の採取にさへも、小匪賊襲撃のため危険を感じてゐる。彼等の相互扶助、民族團結並に社會事業を目的とする團體は約百四十餘を算するが何れも無力な物が多し白系露人の約四十パーセントは生活の保障あるも残り六〇パーセントは不安な賃金労働者であり更に多數の失業者、不具者、老人、孤兒並に亞片及モヒ中毒者等があるが前述の如く北滿接收後の鐵道從業員、警備隊その他への採用は白系露人救済策の大きなものである。

- 蘇聯籍人(男) 二、二〇八人
- 蘇聯籍人(女) 一、一〇四人
- 合計 三、三一二
- (二) 北滿鐵路沿線
 - 東部沿線(男) 一、一〇八人
 - 東部沿線(女) 一、一〇八人
 - 右内側 白系露人(男) 一、一〇八人
 - 右内側 白系露人(女) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(男) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(女) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(男) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(女) 一、一〇八人
 - 合計 三、三一二
- (三) 三河地方
 - 露人移民村(男) 一、一〇八人
 - 露人移民村(女) 一、一〇八人
 - 右内側 滿洲國籍(男) 一、一〇八人
 - 右内側 滿洲國籍(女) 一、一〇八人
 - 右以外は蘇聯籍人皆判
 - (四) 齊齊哈爾沿線
 - 右内側 白系露人(男) 一、一〇八人
 - 右内側 白系露人(女) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(男) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(女) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(男) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(女) 一、一〇八人
 - 合計 三、三一二
 - (五) 南滿鐵路沿線
 - 白系露人(男) 一、一〇八人
 - 白系露人(女) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(男) 一、一〇八人
 - 滿洲國籍(女) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(男) 一、一〇八人
 - 蘇聯籍(女) 一、一〇八人
 - 合計 三、三一二

露人移民事務局 哈爾濱にあつて滿洲國內の白系露人移民事務を取扱ひ同時に白系露人の統制を取つてゐるが南滿方面に進出する者の爲には大連に支局がある。

その他の社會事象

新興俱樂部事件 新興俱樂部は昭和八年夏關東廳より拂下げを受けた大連市内不老街及富久町所在土地四千五百七十坪を中心

に滿人大觀樂境として四百餘坪三階建の完成を見、劇場、映畫館、ダンスホール、飲食店、料理店、宿屋、湯屋、理髮業、遊藝場等を包含經營せるもので、從來大連市内には喜園俱樂部外十四五箇所のみが賭博場が存在したが、この公然たる賭博場公認は八年春の總會に問題とされた事もあり、又種々弊害もあるので合併されて新興俱樂部となり、從來の賭博場は禁止され、僅かに入場者一人に就き五錢の遊藝券二枚以上を賣つてはならぬと云ふ規約のもとに營業を許可されたものであつた。然し新興俱樂部に對する世人の疑念は深く久しく伏魔殿とされてゐたが制限外の賭博行為、役員の背任行為が暴露され大捕撃の嵐は十年二月六日當務理事森宣次郎の取調べが爆火線となつて果敢擴大し強制收容を受けし者理事長井上信翁を筆頭に現役員七名、前役員三名、出資者四名、事務員一名合計十五名に達した。第二次檢舉に於て滿洲人十數名の強制收容となつたが、理事役員等は何れも大連に於ける知名士、雑誌記者である所より俄然社會に大センセイションを捲き起したが取調べの進行につれ、俱樂部と所轄小崗子署員との醜關係暴露し二月十四日には署長警部大場春吉の召喚となつた、同時に新聞通信記事の掲載禁止したが賭博開張の罪名

で理事長井上信翁外日滿露人二十三名、贈賄の罪名で常務理事森宣次郎外日滿露人十名、收賄罪で小嶋子爵長大場春吉外五警官を起訴公判に附し五月五日新聞記事の掲載禁止を解いた。判決言渡しは八月十一日行はれ滿洲警察界未會有の收賄疑獄事件も終りを告げたが滿洲色を現はした特種犯罪として注目に値する。

理事長井上信翁(五八) 副社長六月(執行) 理事長井上信翁(四〇) 副社長六月(執行) 理事長井上信翁(四八) 副社長六月(執行) 理事長井上信翁(三三) 副社長六月(執行)

關東地方法院怪盜事件 十年五月十日午前二、三時頃と推定される時刻、關東地方法院(大連)玄關右側の證據品領置室の硝子窓を打破り鐵棒を切つて院内に忍び込み、證據品として押收中の時計、指輪等の貴金屬百四十二點(價格約千圓)入りのトランクを窃取した事件は全國法曹界未會有の怪事件として各方面に一大衝動を與へたが、この事件に端を發し法院雇人と外部の者とが連絡し數年この方證據品として押收中の禁制品を窃取し、或は精製ヘロインを粗製モルヒネ、うどん粉とすり替へ、被害額數十萬圓に達すると云ふ事件が發覺した。主犯と目される法院雇人廷丁兼會計係倉庫番梯義輔、外部連絡者前市會議員五十崎隆三外數名の逮捕により事件は内地へ進展し、關

係者として大連及内地に於いて六名の檢舉を見るに至り、派生的事件なるモヒリ替事件は一段落を告げたが、貴金屬盜難事件は今日(十年九月十五日)に至る迄迷宮に入つた儘である。(但し公判は未だ開かれな

漫遊漫遊者 滿洲事變が生じた社會現象として各警察を悩ましてゐる滿蒙一旗紐がある。即ち滿蒙景氣に釣られて一攫千金を夢み一定の目的もなく生活の能力もなく慢然と漫遊する者で内地青年が大多數を占めてゐる。彼等は生活に窮した結果は犯罪を生むに到るので各警察では取締に苦心してゐるが殊に大連水上署では事變後特に船舶臨檢頭を設けて上陸前に發見し、郷里に照會し歸還せしめ、或は仕事を見付けて就職せしむる者もある。尚、同署ではこの對策として人事相談係を新設すべく豫算を關東局に申請中である。尚、漫遊漫遊者數は明瞭ではないが三月より八月迄が最も多く、日滿連絡船入港毎に必ず二、三名乗船してゐる有様である。

社會事業

日本側社會事業

恩賜財團慈善資金(關東州管内) 八年度

に於て(一)關東廳の委託を受け四千五百圓を以て州内恩賜財團慈善事業を實施、(二)社會事業施設四團體に事業助成金として一萬六千圓を交付、(三)窮民救助現程該當者二十七名に救助金一千四百八十九圓を交付、(四)歳末に當り貧困者に一千五百七十八圓五十錢の救助金を交付、(五)起元節の佳節に當り慈善救濟施設四團體に五百圓の助成金を交付、(六)クリスマスに當り五團體の被收容児童一五二名に對しプレゼントを贈與した。

關東州廳方面委員(大連民政署内) 大連市を五方面四十三區に分ち各區に一名宛の委員、一方面に常務委員一名、外に參事九名がめり任期は二箇年、九年度中取扱成績左の如し。

Table with 2 columns: 社會調査 (Social Survey) and 促進救濟 (Promotion of Relief). Rows include 相談指導 (1,244 cases), 周旋紹介 (511 cases), 口頭整理 (78 cases), 教化福利 (511 cases), 計 (Total: 1,456 cases).

日本赤十字社滿洲委員本部(旅順關東州管内) 旅順、大連、金州、普蘭店、貔子窩、營口、遼陽、奉天、新京、安東、吉林、哈爾濱、齊々哈爾、鄭家屯、錦州に支部を有し十年七月現在會員數は日本人五〇、六三七、滿人及外人五五、五五六、計一〇六、

れも好成绩を收め八年間同屯に開設された夏季兒童保養所の收容處児童は一四一〇〇名宛二回に亘り夏季三十日間之を實施した。又、金州、柳樹屯、普蘭店、周水、魏子窩、安東(二)には少年赤十字團があり現團員一、八二二名を有してゐる。

大連市職業紹介所、常盤町一七、社會館内) 九年度事業成績次の如し。

社團 大連安濟善堂(東洋町一五二、代表者張本政) 關東州に於ける唯一の滿人經營に係る滿人慈善救濟機關である、八年度事業成績次の如し、撫部部(實人員六八八) 撫孤部(延人員一七、六一七)、養老部(延人員八、四五五)、貧患部(延人員七三〇)、施

社團 大連聖愛醫院(番磨町一四九) 基督教慈善病院の名にて基督教有志の手に創立されたもの、八年度事業成績左の如し。本院外來患者(施療實人員一〇、一三二)、實費實人員一〇二、三三八)、入院患者(施療實人員八一、延人員一、〇〇六、委託實人員八二〇、延人員一四、三六七、實費實人員二、三〇九、延人員二九、三三三)、分院外來患者(施療實人員六五、實費實人員二、〇〇五) 入院患者(施療實人員九四、延人員二、六二二、四、委託實人員一四四、延人員四、〇二七、實費實人員三五三、延人員八、四三八)

日本側社會事業團體一覽表

Table with 4 columns: 事業名 (Project Name), 設立年月 (Establishment Date), 事業 (Project), 所在地 (Location). Lists various social welfare organizations like 恩賜財團慈善資金, 恩賜財團兒童養育資金, etc.

Table of social welfare activities categorized by type (e.g., employment, education, housing) and location, with columns for organization, date, and purpose.

Table of social welfare activities categorized by type (e.g., employment, education, housing) and location, with columns for organization, date, and purpose.

皇座と社會事業 康徳元年三月一日登陸の大興に際し皇帝陛下には社會事業に御鑒念遊ばされ御賜なる御詔を賜はり優良社會事業團體に對する補助金として國幣一萬元の御下賜(内二千元は興安總署に御下賜)あり、中央社會事業聯合會では九十團體を選定之を傳達した、又、九月には水災救済のため、奉天省、吉林省、黑龍江省、熱河省、哈爾濱市、新京市に對し一萬八千五百元の御下賜があり、康徳元年六月二十二日滿洲國中央社會事業聯合成立大會には勅語を賜り各地方代表二十三名に拜謁を賜た。

滿洲國側社會事業 (康徳元年度) 政府の賑恤救済 (一) 民政部の社會事業補助、康徳元年六月中央社會事業聯合會の成立を見るや聯合會を統制聯絡機關たらしめ第一年には七千八百二十三元、第二年には一萬九千七百十元を補助し、更に地方團體に第一年一千元、第二年四千五百九十五元を補助した。

他四三、〇二二、〇二一元、五、縣數二三五縣(二市)應急救済費として三萬五千元を分配、又善後費用として五六萬元を分配した。社會行政機關 (一) 中央行政機關 民政部には社會事業獎勵と社會行政の完全を期する爲社會科を請け四股に分たれてゐる、二月の安東縣三道浪頭の火災には災民二千餘人を救へ、調査員を派し救済金二千餘元を、又五月の蒲化縣の火災には千元を支出した。七月には遼中縣八區に匪災あり匪燬を被つた房屋七千餘間、積聚財物損失十萬元、被害人數七、二四三を數へ、國幣二千元の賑濟費を支出、遼源、雙泉、隆化、團場等匪災の比較的甚き地方には特に國幣

四千を支出した。又冬季の施粥事業に對し大同二年に奉天施粥廠に一萬元、康德元年同じく一萬八千元の補助費を支へた。

(二) 地方の社會行政機關 各省公署民政廳行政科、各市公署地方科或は社會科、各縣公署內務局の機關がある。

社會事業聯絡統制機關

【中央社會事業聯合會】(康德元年二月二十一日成立)會長、竹內德亥、大同二年九月一日豫備會を開き康德元年二月二十一日正式の成立を見、四月二日に中央社聯第一次理事會を開き六月二十二日新京市商會に正式大會を開行、皇帝には勅語を賜り各地代表者二十三名に拜謁を許された。三月一日登壇の大典には國幣一萬元の御下賜あり優良社會事業團體に對する補助金とし社會事業團體の選定及御下賜金交付方を本會に令せられ六月二十一日本會第一回大會當日九十團體に對し御下賜金授與式を行つた。

康德元年六月滿洲國帝政實施禮賀のため御來滿の天皇陛下御名代秩文宮殿下には社會事業御獎勵の旨を以て御下賜金三千圓を賜つた。

事業概要(康德元年) (A) 各地方社會事業聯合會補助下の如し、新京特別市社聯會(九〇〇元)吉林省社聯會(八〇〇元)哈爾濱特別市社聯會(一、〇〇〇元)黑龍江省社聯會(八〇〇元)奉天社聯會(一、〇〇〇元)その他の團體(九五元)。(B) 日本滿洲市大火災に際しては

國幣一、八八六元六角九分、金圓二八圓を募集して災區に送つた。(C) 一月、大滿洲國社會事業聯合會の發給により日本全國小學生の贈つた、共進木十萬四千二百冊を各地社聯會に分配した。(D) 機關誌として社會事業概要、社會事業季報の二つを刊行してゐる。

各地方社會事業聯合會事業概要

【新京特別市社聯會】 1、哈爾濱白雲會の手にて送つて來た嫩江縣の山東河北省社民百四十五名を贊口に送り紅十字會の手にて原籍地に送還。2、貧民御座一、市内多量御座四、庇護所一を設立す。3、貧民に贈衣七百五十餘套を贈與す。4、河南等縣水災に賑恤金を出す。5、六月十四日日本公署に宣傳所、救濟班を組織し、救濟班を行ふ、貧民者一、二〇〇名。6、伊通河水災に際し調査班を組織し、義捐金千餘圓を募集す。【哈爾濱特別市社聯會】 1、乞丐救濟所を設置し、救濟班をなす。七月末現在の救濟者數、婦女三二、幼者一六、壯者七四、モヒ患者七六、婦女三、計二三五人、八月末の救濟者、婦女四四、貧者三六、壯者七三、幼者一〇、モヒ患者一二九、外餘三、婦女三、計三〇〇。2、貧民救濟所を設置す。3、婦女救濟所を設置す。4、紅十字會江分會、世界慈善聯合會與其力し冬季給湯給米、給衣をなす。5、日本滿洲大火災に際し國幣八五元九角金圓二八圓を募集す。6、津浦水災に賑恤金を募集す。7、各慈善團體に贈與、皮膚藥を分配す。8、江水の水災を調査して住民を救濟、紅十字會、市公署と共に、毎日救濟人數約三百五人。【奉天省社聯會】 1、津浦等五縣水災に際し國幣八千餘圓を募集す。2、日本滿洲大火災に際し、七六二元三角の義金を募集す。3、日本小學生より贈られた

【奉天省社聯會】 1、津浦等五縣水災に際し國幣八千餘圓を募集す。2、日本滿洲大火災に際し、七六二元三角の義金を募集す。3、日本小學生より贈られた

會を見た。

【協和會】協和會は政治上の運動はなさないが、運用の目及ぶ範圍は下の三項に分たれる。

- (一) 宗旨 王道の實踐を目的とし軍國專制の餘毒を根絶する。
 - (二) 經濟政策 農政を振興し、産業の改革に努めることによつて國民生存の保障を期する。共產主義の破壊と資本主義の獨占を排除する。
 - (三) 國民思想 國教を重んじ天命を樂しむ民族の協和と國家の繁榮を期する。
- 【改組】滿洲國協和會の方針、進路は確然たるものをもつてゐるが、會設立前の準備時代より既に大事業を期したる正統のコースに向つて願望なるスタートを切らなかつたため、一般社會より種々の誤解と不協な批評を受けるやうになり、或は宣傳機關であるかの如く、或は行政に干渉する團體であるかの如く誤解されるにいたり、従つてそれによつて會務の進行にも障礙を見るやうになつたので、従来の機構を漸次改組することになり、康德元年九月四日、正式に委員の変更を行ひ、同日新京の協和會館に於て中央事務局局長謝介石氏以下新委員等招集引續を絶つた。

協和會現勢概要一覽表

事務局名	員數	分會	會員數	日額	初期
新京地方事務局	11	11	11	11	11
奉天地方事務局	11	11	11	11	11
吉林地方事務局	11	11	11	11	11
哈爾濱地方事務局	11	11	11	11	11
齊齊哈爾地方事務局	11	11	11	11	11
熱河地方事務局	11	11	11	11	11
龍江地方事務局	11	11	11	11	11
黑龍江地方事務局	11	11	11	11	11
依蘭地方事務局	11	11	11	11	11
合	11	11	11	11	11

【奉天省社聯會】 1、津浦等五縣水災に際し國幣八千餘圓を募集す。2、日本滿洲大火災に際し、七六二元三角の義金を募集す。3、日本小學生より贈られた

【哈爾濱特別市社聯會】 1、乞丐救濟所を設置し、救濟班をなす。七月末現在の救濟者數、婦女三二、幼者一六、壯者七四、モヒ患者七六、婦女三、計二三五人、八月末の救濟者、婦女四四、貧者三六、壯者七三、幼者一〇、モヒ患者一二九、外餘三、婦女三、計三〇〇。2、貧民救濟所を設置す。3、婦女救濟所を設置す。4、紅十字會江分會、世界慈善聯合會與其力し冬季給湯給米、給衣をなす。5、日本滿洲大火災に際し國幣八五元九角金圓二八圓を募集す。6、津浦水災に賑恤金を募集す。7、各慈善團體に贈與、皮膚藥を分配す。8、江水の水災を調査して住民を救濟、紅十字會、市公署と共に、毎日救濟人數約三百五人。

【奉天省社聯會】 1、津浦等五縣水災に際し國幣八千餘圓を募集す。2、日本滿洲大火災に際し、七六二元三角の義金を募集す。3、日本小學生より贈られた

滿洲國社會事業團體內容

一 官 辦 事 業

【貧民工廠】 各地によつて名稱は同一でなく、その性質によつて貧民工廠と總稱するもので、皆、一種の無業遊民、或は失業の貧民、モヒ患者等等に各種工藝を習得せしめ將來の謀生に備へしむる處である。工廠内容の組織は各地の情形に従つて同一でないが大體次の如きものである。

建築科、縫製科、木工科、漆器科、

畫本一萬三千冊を省市及合縣小學校に分配す。4、省公署五廳長及廳書長の名にて省民救濟會の發給に對し金一、二七九元六角、金圓七圓を募集す。5、南關婦女會に王昭賢氏、日滿國旗を宣傳。

【吉林省社聯會】 1、各縣の社會事業調査をなし。2、日本滿洲大火災に際し二千四百元の義金を募集す。3、社會事業功勞者に獎状、優良團體に獎金を分配す。4、モヒ患者の保護をなす。

【龍江省社聯會】 1、全省各縣に於て三月一日以前に送附をなし。2、社會事業團體、個人有功勞者の實名をなし。3、日本小學生生活贈の畫本二千二百冊を各縣下小學校に分配す。4、大連滿洲府に於いて二日間の集會をなし。5、日本滿洲大火災に義金を募集し、6、各省慈善團體、各機關に對して義捐金を募集す。

【熱河省社聯會】 1、各縣慈善團體調査を指定し。2、各省慈善團體を調査し。3、各慈善事業功勞者團體に獎状、獎金、勳章を授與す。

【恩賜財團濟濟會】 三月一日皇帝陛下御極大典紀念の際、社會事業御獎勵の旨を以て特に國幣百萬元を賜はり、之を以て本會は成立し委員長に民政部大臣を任じ、以來國內社會事業の助成に力めて來た。九月六日には財團法人として新京地方法院に登記し、國幣顧問宇佐美氏は賜金一千元を拜受し、又恩賜藥品を各地に分配した。

【滿洲國協和會】 事業前より存在した民族協和及び自治獲得を内容とする運動團體を前身とするものにして滿洲國の獨立と共に之を正統的に繼承し表面化し大同元年(昭和七年)七月二十五日新京にて正式の協和

以前は私人の捐款によつて設立されたものであるが現今では殆んど官廳經營に屬し經費も數萬圓に達し收容人數も増加するのて、自力更生を策してゐるが經營は困難で中央の補助を希つてゐる現況である。

【貧民無息貸款所】 近來失業者の多きに鑑み、康德元年八月一日始めて奉天市公署内に設けられた、市公署救濟費中より一千元を支出、基金となし市内の一般小本工商者に、甲二十元、乙、十元、丙五元の三等に分ちて貸付ける事にしたが、現在官營事業中、この機關は奉天只一ヶ處である。

【救 會】 滿洲國の總人口三千萬の九割以上は農民でありその生活は必然的に天災地變によつて脅威を受けてゐる。建國第一年にはまだ世人の耳目に新しい北滿の大洪水あり、第二年には洮寧地區その他遼奉天省、吉林省内の廣汎な地域に亘つて水災あり、第三年には一三五縣に亘る大水災と三十年來の冷害による大凶作の爲、各地に飢死者さへ續出せしめた。その間匪害、火害、水災、電害に至つては枚舉に遑がない、かくて農村生活の貧窮化を防止する爲、康德二年八月三十一日民政部令第四十號を以つて義倉管理規則を公布し、同時に木制度の助

成確立に資せしむる爲、之に要する基金及倉庫建築の補助費を各縣に交付した、本事業助成に要する資金は既に二年度豫算中亦三百萬圓計上されてをり、内二百萬圓は元年度に於て因作地救済の爲窮民に貸與した糧穀の買付資金に充當せられてゐる。即ち滿洲國に於ける備荒貯蓄の制度は光緒年間、八十年にかけて全盛期を現出したが漸次内容空疎し、軍閥政治の末期にはその極點に達した。大多數の義倉では積立てた糧穀、現金類が土豪劣紳に傾倒され、縣行政費に流用せられたり、不良貸付となつて義倉に蓄するに至つた。然し乍ら尙よく義倉制度の存してゐた縣では建國以來の災害に對して糧能を遺憾なく發揮し、農村生活の社會施設として義倉が缺くべからざる事を實踐してゐる。

二 民 辦 事 業

【世界紅十字會】 民國五年山東省に生れた信仰團體である道院の附設機關で、民國十一年十月成立し、現、總會員一千萬に達し、世界平和災患救済を目的としてゐる。會員には政界財界の知名の士多く従つて財政状態も豊富で活動も活潑である、事業の大略は、紅十字醫院、貧民工廠、平民學校、惜字會、因利局、育英堂、殘廢院、紅十字新

聞、經濟印刷所、糊廠、平糶、應捐、施藥、冬賑等であるが滿洲國內分會所在地次の如し。

滿洲、安東、上庄、德安、虎山、雙陽、蓋平、營口、大連、吉林、龍江、錦州、莊河、岫巖、梅河口、遼寧、遼陽、遼中、依蘭、昌圖、梨樹、長中、輝南、公主嶺、龍山、上河灣、安東、四平街、開原、梨山、清原、懷安、懷德、懷安、北票、新民、剛法、伊通、洮安、鎮賚、平泉、三德、朝陽、遼寧、懷化、通遼、郭家店。

【萬國道院會】 民國八年、儒、佛、道、回、基督の教義に基き人類愛護を唯一の教化目的に濟南に成立し、現會員數二萬餘に及んでゐる。事業概略は學校部、講演部、出版部、救濟部、安老院、福樂部、體育部、男女工廠、家庭醫務、圖書部等であるが、滿洲國には大同二年新京分會始めて生れ滿洲國總會に改組した、現在約二十ヶ所の分會を有し、滿洲國內の小學校經營數は二百十三學堂數十二萬人以上に達してゐる。

【全國理善勸戒酒會】 在理教の秘密修養社の事務執行機關であるが滿洲國にては秘密結社の色彩をなくし善良な社會事業團體として發展してゐる、現在國內の教所は三百餘箇所に及んでゐる。

【紅十字會】 宣統二年大清紅十字會が創設されたが會員は少數の官吏に限られ内容

も淺亂、事業も頗る振はなかつたが、日露戰役の際、上海地方紳商は滿洲人民を救済せんとして、英、米、佛、獨領事、各國宣教師の援助を得て上海萬國紅十字會を組織し、今日に至る迄、戰時、天災時に治療救護事業に力めて来た。

【世界慈善婦女總會】 民國十六年天津に創設され大同元年滿洲國成立と共に中國慈善聯合會の名を現名に改めた、滿洲國內分會所在地は次の如し。

奉天、哈爾濱、安東、長中、法庫、海拉爾、開安、營口、朝陽、本溪、三法庫、遼寧、新民、莊河、遼中、吉林、龍江、東寧、本街、滿洲、龍山、遼寧、遼陽、遼中、依蘭、昌圖、梨樹、長中、輝南、公主嶺、龍山、上河灣、安東、四平街、開原、梨山、清原、懷安、懷德、懷安、北票、新民、剛法、伊通、洮安、鎮賚、平泉、三德、朝陽、遼寧、懷化、通遼、郭家店。

【惜字會】 創始は最も古く年代は不明であるが、取賢遺訓名士格言を實踐するを目的とし、約字の書かれた紙屑は到る所より拾ひ果て惜字の精神普及に努めてゐる修養團體である。

【孔廟會】 滿洲國建國の始め王道精神高揚のため趙欽伯博士が儒術崇尙、尊孔を唱へたに始まる。分會所在地左の如し。

莊河縣城會館(二五〇)、西安縣師中學校(四〇七)、遼寧第一小學校(三六三)、海龍師中學校(一七〇)、新民縣城會館(二〇〇)、錦州師中學校(五二六)、龍山縣教育會(七五)、東豐師中學校(二〇〇)、西豐第一小學校(二八〇)、突泉縣教育會(五〇)、梨樹縣城(一六〇)、本溪民衆教育館(二九〇)、營口雙廟子街(一〇〇)、岫

大 阪 錫 半 錫 器



品質の純良なる
御使ひ心地の良
い錫の品々
御贈答用に
御記念品に
御家庭用に
おすゝめ申
上げます



大衆向
喫煙具……
葎セツト……



お安くて
體裁
のよい
アンチ
モニー
鍍金製品
各種

シガレットケース
ライター
パイプ
種々

大 阪 市 東 區 南 久 寶 寺 町 四 丁 目 角
スズ 錫 半 本 店
電話 筋 場 ⑤
一 二 四 一
一 二 一 一
三 六 〇 三
〇 八 一 〇
番 番 番 番
振 貯 穴 阪

(目錄進呈)

出版界を歴す
五大大約物

- ◆日本畫實習帖
- ◆全芥子園畫傳
- ◆現ユ一モア小説全集
- ◆現連續漫畫全集
- ◆(續)日本畫實習帖

（日本畫壇一統）
數十大家傑作
各冊一・五〇

（中村不折藏本）
小杉放庵註解
各冊一・三〇

（公田進太郎畫文）
花形編出動
各冊一・〇〇

（ユ一モア文壇）
代表的漫畫家
十六人の傑作
各冊一・〇〇

（三十大家傑作）
色紙用別冊
各冊一・五〇

東京市牛久保井町三四
アトリ社
振東京六〇〇二

ヂヤーナリストの鉛筆
エチター鉛筆
エチター記者用シャープ
エチター速記用シャープ
エチター特種替芯



萬屋商店鉛筆部

東都各新聞社・通信社・雜誌社御用
東京・芝・愛宕町二丁目
振替口座東京八四一九九番
電話 芝一六二七番

新舊風呂四ツの完備
宿泊料五〇〇……一五〇〇まで
新館完成 使用室數 四拾五室

奉天瀋陽館

特に團體客の設備完備
館主 田實久次郎

軍服・背廣・制服類

關東軍軍裝品酒保指定工場

資合社 不二洋行

本店 奉天富士町一番地 電話(二八四一)番
支店 新京永樂町一ノ六 電話三九二八番
出張所 哈爾濱新市街馬家街三二 電話五一九七番
同 チチハル財神廟街一八號

營業種目

スチールサッシ オペレーター 鋼製建具一式
 スチールドア
 鐵骨橋梁設計製作建方工事一式
 各種機械器設計製作据付工事一式

日滿鋼材工業會社

本社 奉天青葉町四八番地 電話三三六四三番
 工場 奉天西區南二路一七番地 電話三二四〇七番
 出張所(鞍山) 鞍山北二條五二番地 電話四八三九番
 出張所(大連) 大連市山縣通一八一番地 電話三二七八番
 出張所(新京) 新京大和通三七番地 電話三三七八番
 三機工業株式會社新京派員内 電話三三七八番

滿洲菊正宗

最高級銘酒



本嘉納商店

奉天西區南式路二九

奉天浪速通り

寺島寫真館

電話三二七七番

奉天春日町貳番地

櫻正宗

山邑釀酒株式會社

奉天支店

電話(圓)二七六五番
 五四六八番

奉天市内「黄バス」

滿洲自動車運輸株式會社

代表取締役 武田次七
 同 岩崎榮二

滿洲市場株式會社

代表 香取眞策

株式會社 滿洲取引所

日本髪に……
洋髪に……

きれ毛
さけ毛を
ふせぎ
貴女の頭髪を生かす

純粹
椿製
為は香油



整容は
まづ頭髪から

東京 本館 井 善

奉天教育會(二〇〇)、奉天縣教育會(一九〇)、奉天教育會(一七五)、奉天教育會(四二二)、奉天教育會(五〇)、奉天教育會(五〇)、奉天教育會(三五)、奉天教育會(二二五)、奉天教育會(三〇)、奉天教育會(九〇)、奉天教育會(二七三)、奉天教育會(七〇〇)、奉天教育會(五二二)、奉天教育會(二二九)、奉天教育會(一八〇)、奉天教育會(一八〇)、奉天教育會(四一五)。

【奉天省】奉天市及奉天縣(官費)奉天縣立第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百。

地方社會事業團體

【奉天省】奉天市及奉天縣(官費)奉天縣立第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百。

社會—社會事業

會、奉天市及奉天縣(官費)奉天縣立第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百。

奉天教育會(二〇〇)、奉天縣教育會(一九〇)、奉天教育會(一七五)、奉天教育會(四二二)、奉天教育會(五〇)、奉天教育會(五〇)、奉天教育會(三五)、奉天教育會(二二五)、奉天教育會(三〇)、奉天教育會(九〇)、奉天教育會(二七三)、奉天教育會(七〇〇)、奉天教育會(五二二)、奉天教育會(二二九)、奉天教育會(一八〇)、奉天教育會(一八〇)、奉天教育會(四一五)。

分會、世界紅十字會吉林分會、吉林廣濟慈善會、吉林省城慈善會、吉林育嬰堂。

德化縣 (官營) 德化縣救濟院。

德化縣 (官營) 德化縣救濟院。

伊通縣 (官營) 世界紅十字會伊通分會、萬國道會伊通分會、世界紅十字會伊通分會。

伊通縣 (官營) 伊通縣地方救濟院、民營 萬國道會伊通分會、世界紅十字會伊通分會。

伊通縣 (官營) 伊通縣地方救濟院、民營 萬國道會伊通分會、世界紅十字會伊通分會。

伊通縣 (官營) 伊通縣地方救濟院、民營 萬國道會伊通分會、世界紅十字會伊通分會。

伊通縣 (官營) 伊通縣地方救濟院、民營 萬國道會伊通分會、世界紅十字會伊通分會。

伊通縣 (官營) 伊通縣地方救濟院、民營 萬國道會伊通分會、世界紅十字會伊通分會。

五常縣 (民營) 紅十字會、佛教育。

雙陽縣 (民營) 雙陽縣慈善會、萬國道會雙陽分會、世界紅十字會雙陽分會、雙陽縣慈善會。

雙陽縣 (官營) 救濟院、雙陽縣慈善會、萬國道會雙陽分會、世界紅十字會雙陽分會、雙陽縣慈善會。

雙陽縣 (官營) 救濟院、雙陽縣慈善會、萬國道會雙陽分會、世界紅十字會雙陽分會、雙陽縣慈善會。

雙陽縣 (官營) 救濟院、雙陽縣慈善會、萬國道會雙陽分會、世界紅十字會雙陽分會、雙陽縣慈善會。

雙陽縣 (官營) 救濟院、雙陽縣慈善會、萬國道會雙陽分會、世界紅十字會雙陽分會、雙陽縣慈善會。

雙陽縣 (官營) 救濟院、雙陽縣慈善會、萬國道會雙陽分會、世界紅十字會雙陽分會、雙陽縣慈善會。

雙陽縣 (官營) 救濟院、雙陽縣慈善會、萬國道會雙陽分會、世界紅十字會雙陽分會、雙陽縣慈善會。

雙陽縣 (官營) 救濟院、雙陽縣慈善會、萬國道會雙陽分會、世界紅十字會雙陽分會、雙陽縣慈善會。

〔熱河省〕 五經縣 (官營) 熱河省救濟院、(民營) 世界紅十字會熱河分會、世界紅十字會承德分會、萬國道會熱河分會。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

〔熱河省〕 承德縣 (官營) 熱河省救濟院、(民營) 世界紅十字會熱河分會、世界紅十字會承德分會、萬國道會熱河分會。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

〔熱河省〕 承德縣 (官營) 熱河省救濟院、(民營) 世界紅十字會熱河分會、世界紅十字會承德分會、萬國道會熱河分會。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

承德縣 (民營) 承德縣救濟院。

勞働事情

概観

滿洲に於ける勞働問題は、一言にして之を謂へば「苦力」の問題である。此處に必然的に國民的比率統制が要請される。即ち支那移民入國制限問題が之である。此の問題は所謂勞働統制として昭和八年以來問題化し當面の方法として支那人勞働者の入滿は、必要の最少限度に對してのみ入國を許

第二回日滿社會事業大會

滿洲の社會事業は少數の官營のものゝ省く殆んど大部分は宗教團體、慈善團體の附設事業であり全般的に見て社會政策的機能を發揮してゐるとはいひ難いが十年六月二十六日大連市彌生高女に於て開催された本會は滿洲國社會事業に拍車をかけると共に、出席者は會長武部司政部長、竹下州長官を始め日滿社會事業關係者二百八十名であつた。

可すべしといふ點に一致し、これが對策に關して種々考究が續けられつゝあり、昭和九年春以來國境警察隊が滿洲國の治安を素手慮れある者の入國を阻止し、或は大東公司が設立されて支那人労働者の漫然たる入滿に對し身元證明書の發給を認めなかつたが如き、何れも労働統制方策の具現化の一端に他ならない。

然し、大東公司は其の活動が非常な苦悶であつたにも拘らず支那官憲の不法壓迫、船會社の反對、而して最も主要なる上陸港である大連が自由に無査證労働者を上陸せしめた事等に依て豫期の効果を擧げ得なかつた。然しこれらの最大支障たりし機構問題の解決と共に、漸次關係者の萬全なる準備と緊密なる連絡協調が行はれ同公司の活動は開設第二年度以降現在に於て前途の曙光を見出だして居る。

日滿労働協會が土木建築工事關係労働者を滿洲に派遣せしめた事は、邦人労働者の滿洲進出の嚆矢をなすものとして將來を刮目されるが、現實の問題に於て少く共滿支人労働者、特に工業労働者の能力缺乏は日本人労働者を必要とするものとなりつゝある。

外國労働者の入滿取締問題

滿洲に於ける労働統制の必要性に鑑み、滿洲國にあつては關東軍、關東局、日本大使館及び滿鐵等と計り之が對策協議を續け一部方策を實行に移しつゝあつたが、關東局の外國労働者取締規則案を基礎として康徳二年三月二十一日法令としての「外國労働者取締規則十四箇條」を公布施行して其の建國史に「記録を印した。

外國労働者取締規則

康徳二年三月二十一日民政部公布

- 第一條 本邦に入國する外國労働者の取締に關しては本令及外國人入國取締規則に依る但し本邦との間に別段の取極めある國の労働者は此の限りに在らず。
- 第二條 本令に於て外國労働者と稱するは農業、林業、漁業、蠶業、製糖、土木、建築、製造若しは交通に關する労働又は其の他の地位に従事する外國人を謂ふ。
- 第三條 外國労働者は入國の際外國労働者取扱人の發給する身分證明書を當該警察官吏に提示し入國許可の捺印を受くべし。
- 第四條 外國労働者は常に前條身分證明書を携帯し本邦を退去するときは川國境に於て當該警察官吏に之を返納すべし。
- 第五條 外國労働者は前條身分證明書を携帶し前條身分證明書を紛失し又は毀損したるときは外國労働者取扱人より再交付を受くべし。
- 第六條 外國労働者取扱人は外國労働者に對し其の入國前左の事項を記載したる身分證明書を發給すべし。

- 一、本籍地、氏名及年齢
- 二、労働の種類
- 三、入國の地
- 四、行先
- 五、身分證明書には當人の寫眞を貼附し之に捺印を爲すべし
- 第六條 外國労働者取扱人身分證明書の發給に對し手数料を徴せんとするときは民政部大臣の許可を受くべし
- 第七條 外國労働者取扱人は左の各條の一に該当する者には身分證明書を發給することを得ず
 - 一、身體強健ならざる者
 - 二、身體強健ならざる者
 - 三、就業の見込無き者
 - 四、本邦居住若しは入國を禁止せられたる事ある者
- 第八條 外國労働者取扱人は其の取扱ひたる労働者に對し左の義務を負ふものとす
 - 一、入國及歸還の周旋
 - 二、官憲の命令に依る返還
 - 三、病災救助
- 第九條 民政部大臣の許可を受けたる者に非ざれば外國労働者取扱人たることを得ず
- 第十條 民政部大臣は外國労働者取扱人の行爲に對し本令又は本令の規定に基きて發する命令に違反し又は公安を害する虞ありと認むるときは其の許可を取消すことあるべし
- 外國労働者取扱人前項の規定に依り其の許可を取消される場合と雖既に入國せしめたる労働者に對する第八條の義務の履行を促るゝことを得ず
- 第十一條 北滿特別區長官、首都警察總監、警察廳

長、縣長及警察總監は外國労働者にして安樂秩序を亂し又は風俗を害する虞ありと認むるときは之に本邦退去を命ずることを得

労働概況

自由労働者 滿洲に於ける自由労働者と苦力群に外ならぬ。北支よりの滿洲山嶽苦力は年々五六十萬乃至百萬人の多きに達して居り、これら出稼苦力の入滿は一面滿洲開發の爲めに必要なる労働力を供給するものであるが、他面に於てそれと同數の日鮮労働者の職を奪ふものであり、且又苦力を被ふ不良分子の流入は滿洲の治安維持を困難ならしめ王清漢土の健全なる發展を阻害するのみならず、年々四十萬人の多

數に上る僱賃苦力の持歸り金(二千萬圓程度と推算される)は滿洲よりの資金逃避を意味するものである。茲に於て滿洲國當局は労働統制乃至入國制限の對策を講じ「外國労働者入滿取締規則」の公布となり、或ひは大東公司の身元證明書發給、滿鐵の苦力運賃に對する割引制の廢止等を見たのであるが、他面又支那當局に於ても苦力の出國に對する官憲の阻止壓迫を爲してゐるに拘らず、其の入國數は減少せざるのみか寧ろ激増の傾向を辿つてゐる。

北支農民の滿洲輸入を促す事情に就て觀れば
一、滿洲の農業時期は支那の北支數者に較ぶれば短く、加ふるに地味は廣大にして土壤肥沃、氣候も亦北支數者に近似して居り、しかも滿洲の農業は滿洲内に於ける需要を充す外餘出し得べき剩餘があり、これが農業經濟を豊かにする。
二、滿洲と北支とは交通が非常に便利である。山海關、河間、河北各都よりは陸路ならは北支、海路ならは天津、芝罘、龍口、青島、威海衛等の各港から汽船で大連、營口、安東に行つて出稼、若し帆船に乘れば遼海を渡つて一兩日で行くことが出来るに對し、北支農民は支那出稼農民を多く徴収したのには中東鐵道建設の時であつた。此の鐵道の建設は唯に北支農民に山東苦力を補充し引寄せたのみならず、これより支那に於ては滿洲南部及び北支に對し、滿洲は山東、河北に比して非常に産業が發達し、

従つて多數の苦力を需要する。茲に滿洲國建國以來土木建築を始めとして工業、農業、蠶業等あらゆる事業に多數の苦力を必要としてゐる。
五、既に滿洲各地に種々の建設事業の先住者が増進を得て安住し、且つ建設の状況が漸進に消息され、近頃知人よりの親戚に歸し或は親戚兄弟より前職の資金を受けて歸郷する者が増加し、これにつれて歸郷の者までも滿洲を離れ去るに至り遂には勞働心理に關つて滿洲を離れ去る者も多し。
六、滿洲苦力の生活程度の比較的恬適なること、困苦其の極に達した北支農民の心を最も強く引きつける。

工場及鑛山労働者 滿洲に於ける工場及び鑛山労働者は、饒富な農産、畜産、蠶産を原料とし且つ低廉な勞力の供給を仰ぐことが出来ると言ふ生産條件に恵まれてゐる事情から、日露戰役後漸次勃興した新式工場と在來の土式工場とに働く者を合すれば其の數極めて多く、關東局が昭和九年末日現在の關東州内、鐵道附屬地、領事館管内に於ける工場及び鑛山労働者に就て調査したところによると、工場數(鑛山を含む)九八一、其所屬労働者數總計は十三萬六千八百四十六人で、昭和八年末に比し工場數二一六、労働者總數に於て三萬三千七百七十一人の増加を示してゐる。此のことは、實に發展途上にある滿洲國に於ける工業の急進の進歩と、其の労働對策の合理化促進とを物語するものである。

尙、工礦業労働者の大部分は滿洲國人で、彼等は滿洲労働問題の過去及び現在並に將來に且つて極めて重要な地位にあるものである。日本人労働者は全労働者の約一割強であるが、其の多くは滿鐵並各會社關係工場に所屬する特殊技能の所有者である。しかも、滿人労働者の勤勉と努力の結果は、現

在では日本人の僅し得るあらゆる労働の特殊分野にまで進出し來つてゐる状態である。普通労働者、工場以外にあつて土木、建築、運輸、交通、埠頭荷役等の、自由労働者を除くところの、労働に従事する者を謂ふ。これら普通労働者を多數使役する者は極めて多く、隨東局が調査せる昭和九年末

日現在の關東州内及び滿鐵附屬地、領事館管内に於ける事業者数は四百十九人、昭和八年末に比して六十一人の増加を示し、其の使役労働者数は五萬八千四百八十八人で、其のうち四萬七千七百七十四人が滿洲國人であり、各事業とも主として滿洲國人を使用してゐるわけである。

工場労働者各署別調

(昭和九年末日現在)

署名	日本人		滿支人		朝鮮人		外國人		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
新東京	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
公主	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
四平	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
同原	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
大石	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
瓦子	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
合計	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	40,000

工場労働者經營者別調

(昭和九年末日現在)

經營者別	日本人		滿支人		朝鮮人		外國人		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
日本	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
朝鮮	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
滿洲	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
合計	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	40,000

普通労働者各署別調

(昭和九年末日現在)

署名	日本人		滿支人		朝鮮人		外國人		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
新東京	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
公主	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
四平	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
同原	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
大石	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
瓦子	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
合計	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	40,000

普通労働者經營者別調

(昭和九年十二月末日現在)

經營者別	日本人		滿支人		朝鮮人		外國人		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
日本	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
朝鮮	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
滿洲	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
合計	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	40,000

自由労働者各署別調

(昭和九年末日現在)

署名	日本人		滿支人		朝鮮人		計
	男	女	男	女	男	女	
新東京	1,234	567	890	345	1,234	567	4,211
公主	1,234	567	890	345	1,234	567	4,211
四平	1,234	567	890	345	1,234	567	4,211
同原	1,234	567	890	345	1,234	567	4,211
大石	1,234	567	890	345	1,234	567	4,211
瓦子	1,234	567	890	345	1,234	567	4,211
合計	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	40,000

署名	日本人		滿支人		朝鮮人		外國人		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
新東京	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
公主	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
四平	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
同原	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
大石	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
瓦子	1,234	567	890	345	1,234	567	1,234	567	4,211
合計	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	10,000	5,000	40,000

労働者の移動 労働者移動の原因は、他動的動機に支配される季節的移動と、自動

的に勞働條件の良否によつて起る移動との二つに區別することの出来るものであるが、滿洲に於ける滿洲國人勞働者の移動は、多くの場合自動的に行はれる。これは、滿洲國人勞働者の共通的放浪性と賃銀の高低に對する敏感性とによるためである。

即ち、滿洲國人勞働者の移動は、失業に依て轉々する歐洲の無階級勞働者とは趣を異にし、經濟的であるといふよりも、寧ろ社會的なるものであるといふことが出来る。

出稼移民人離滿統計

(昭和十年四月勞務時報)

Table showing migration statistics for various regions including 青島, 龍口, 威海衛, 天津, etc. Columns include region names and numerical counts.

適かに低廉な賃銀で使傭し得る場合が多い。其の理由は、彼等勞働者の能力が劣つてゐること、生活程度の低いこと、一面勞働賃銀が需給關係に著しく支配されてゐること等に依る。即ち勞力に對する需要の高を決定する原因は(一)雇主の勞力に認め

較苦力階級に一層甚だしい。此の理由は、勞働者の無智と無自覺が勞働時間の短縮を好まず、長時間の勞働によつて多くの賃銀を得やうとのみ欲するところより来るものであり、斯る状態は結果に於て却て勞働能力の低下となり、企業者にとつて不利益であるが、漸次滿人勞働者が自覺を促されることに依て之が弊も自づから除かれる傾向を示してゐる。

昭和九年度大連、安東、營口上陸並歸還勞働者比較表

Table comparing laborer arrivals and returns for Dalian, Andong, and Yingkou in the 9th year of Showa. Columns include month, arrival count, and return count.

滿洲各地勞働者賃銀

(昭和十年七月末日)

Table showing wages for laborers in various parts of Manchuria. Columns include location (e.g., 大連, 奉天, 新京), laborer type (e.g., 日本, 滿人), and wage amount.

勞働團體調査

(昭和九年末日現在)

設立年月日

所 在 地

會員數

幹部氏名

Table listing labor unions and their details. Columns include name, establishment date, location, membership count, and names of officers.

勞働團體 昭和九年末日現在に於ける勞働團體を列挙すれば左の通りであるが、滿洲勞働統制問題の進展確立と共に、今後益々滿洲に於ける企業資本家並に諸勞働團體の動向は複雑多角的重要な性を帯びて注目を要するものがあらう。

正統と自由の確立後無制限の解放を期し海上労働大衆の生存権の徹底的確立を期す。會員の向上を計り、團體を組織し、以て品性を陶冶し、會員相互の福利増進を期す。組合員共同の利益を推進し、組合員の福利を期し、相互扶助を以て目的とする。組合員相互の調睦を期し、人心の向上を促し、所獲技能の向上を期し、福利を期し、福利を期す。社員相互の調睦を期し、福利の向上を期すを以て目的とする。

大夕夕友愛會 昭和六年一 大連市常盤町一四
 金子高島事組合 昭和九年一 金子高島内宋家屯會館家屯
 三八團成作方
 金山 昭和八年三月 鞍山北一條町二丁目金在善
 奉天失業救済會 昭和六年六月 奉天張生町八安部製安男方
 奉天製糖工組合 昭和六年七月 奉天新道町五
 安東勞働組合 大正四年三月 安東縣大和町七丁目三

海員組合大連支部結成大會を開催、これに對して舊組合支部にあつても同日茶話會を開いて新組合即時解散のスローガンを掲げて証を抗争は激化した。次いで三十一日、突如發表された六船よりの新組合派の説退聲明は、舊組合派に非常な衝動を與へ事態は急角度に尖鋭化し、根津支部長は六月三日大連汽船本社を訪問、會社側の態度闡明につき最後の爆弾動議を申し入れた。根津支部長は飽くまで昭和五年九月に組合と大汽本社との間に締結されたところの「組合員以外の者を乗船せしめず」といふ團體規約に基き、新組合獨立結成運動に對する會社側の態度闡明を求めたのであるが、會社側はこれに對して決定的態度の表明を避け結局遂にこれは兩者物別れとなつた。

昭和九年秋以來再度の内紛より異常な空気が危機を孕んでゐた大連豆タタ(滿洲内

會員相互の扶助並功勞者の表彰を以て目的とする合理的職業經營の途を以て職業經營を改善し會員相互の福利増進を圖るを目的とする
 在職者共同に依り勞働に従事するを以て目的とする
 勞働失業者救済
 組合員の訓練を計り業務の改善向上を目的とする
 勞働者をして正當なる業務に従事せしめ生活安定を圖るを以て目的とする

燃機株式會社)對車備主間の抗争が、十年五月十五日遂に交渉決裂して正面衝突の事態を招來して全車備主總罷業を決定した。車備主側より會社側に對し(一)車庫料の減額、(二)償却金の減額、(三)自動車部分品の單價切下等三問題の要求事項を提出したが、交渉は決裂して全車備主は總罷業を決定して静ヶ浦海岸廣場に全車備を集合持久隊に入つた。翌十六日全車備代表四名は大連警察官保安主任を仲介として水長社長と面會交渉後第一回の交渉を行つたが、交渉は再び決裂の止むなきに至り何ら相互に妥協點を見出だし得なかつたのみか、會社側は斷然主謀者と看做される車備主十五名の誡首を申し渡した。此の高壓的態度に争闘代表は席を譲つて退出、静ヶ浦の本據に引揚げ飽くまで結束を固め要求貫徹を期し、大連署及び各監督官廳に獻御書を掲

出の上豆タタ重役に對する説得依頼を決議した。十七日午後情勢俄かに一變して争闘團側は調停に乗り出した大連署作成の調停案を無條件で承服するといふ、結論に到達し午後七時遂に争闘團側と社長との握手が取交されて、争闘團は解散を行つた上同夜より夫々就業した。

昭和製鋼所職工の動搖問題に就ては、同所薄板工場の邦人職工百十名中八幡製鐵轉働者及び委託養成職工十數名を除く約九十名の職工が、昭和十年五月三日突如同所入

事案に給料三割引上げを要求し、これが容れられねば一同總辭職の上即時内地に引揚ぐべしといふ強硬態度に端を發した。會社首腦部は急遽重役會議を開き善處對策に就て慎重協議の結果同五日遂に主謀者と目せられる六名を懲戒解雇し、同時に謀議に參じた二十一名を諭示解雇として合計二十七名を即時解雇の處断に出た。斯くて、一刀兩断的に誡首された二十七名は滿洲に於ける特殊の警察取締を受けて歸國することになり、本問題は表面一段落を告げた。

經營種別同盟罷業數調 (昭和九年)

種別	日本	朝鮮	滿洲	日滿	外國	計
工場	1	1	1	1	1	5
交通運輸	1	1	1	1	1	5
家内工業	2	1	1	1	1	6
其他	2	1	1	1	1	6
計	6	4	4	4	4	22

同盟罷業累年表

(自大正五年二月至昭和九年十二月)

年	罷業件數		罷業日數	
	日本	朝鮮	日本	朝鮮
昭和二年	1	1	3	3
昭和三年	1	1	3	3
昭和四年	1	1	3	3
昭和五年	1	1	3	3
昭和六年	1	1	3	3
昭和七年	1	1	3	3
昭和八年	1	1	3	3
昭和九年	1	1	3	3
計	9	9	27	27

同盟罷業の原因並結果一覽表

(昭和九年)

原因	結果	
	件數	日數
賃額値上	2	2
賃額改廢	1	1
感情問題	1	1
計	4	4

罷業日數調

(昭和九年)

種別	罷業日數	
	五日以内	十日以内
日本	1	1
朝鮮	1	1
計	2	2

衛生

滿洲の保健状態

滿洲國では建國當初から醫事衛生に深く留意し中央機關として民政部に衛生司を置き國內の衛生行政を統轄してゐるが、關東局滿鐵會社の協力を得て衛生施設の大事業も漸くその緒についた。滿洲は所謂大陸の氣候で寒暑共に激烈を極めるため、在留邦人は風土が生活に適せず内地に比較して健康状態頗る悪しく殊に兒童の健康は著しく低下して居りこれが對策樹立は焦眉の問題として各機關で根本的研究調査が進められてゐる。一方滿人は衛生思想低しと雖も大體健康状態は良好であるが熱河方面に甲狀腺異常より來る風土病があり其の他水質不良より來る諸種の風土病が各地に散在し尠らず土着人を悩ましてゐる。

滿洲人の死亡率 滿洲國に於ては國民の年次死亡率を計算するは困難であるが比較的明確なるべき首都警察廳管下の人口動態及び昭和八年度關東局管下の死亡率左の如し。

首都警察廳管下人口、死亡數

人口(戶口九〇、九一六戸) 死亡數 各性人口に付

州内計	瓦房店	大石橋	營口	觀山	遼陽	蘇家屯	鞍山	木瀋湖	鳳城	安東	撫順	開原	四平街	公主嶺	龍江	新賓	合陽
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
二五	一八	一三	一〇	八	六	五	四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一
...

昭和八年度關東局管下死亡數

死亡數	各性人口に付き
男	女
...	...

法定傳染病患者及死亡者地方別

地方	肺病	赤痢	霍亂	傷寒	...
龍子
...

化器系統のもの漸増し、其他傳染病は滿洲國人の増加と支那内地との交通頻繁の度を加ふるに伴ふて増加の傾向を呈してゐる。即ち日本人には殆んど風土病の感ある赤痢、腸炎扶斯が多く、滿洲國人には平素煮沸した食物を攝取する關係上此等の患者は比較的少く、痘瘡、發疹家扶斯の類が多い。關東州内に於ける過去十年間の統計に徴すると腸炎扶斯、赤痢を最高とし、猩紅熱之に次いでゐる。又、特殊傳染病たる虎列拉ベストも年々脅威を受けてゐる。

法定傳染病患者發生數

年次	日本人	滿人	外人
八九年
...

ベスト患者發生數一覽表

(自大同二年九月現在)

省	年度別	大同二年	康徳元年	康徳二年
奉天
吉林
...



森永製品滿洲販賣株式會社

森永の菓子

より多いものと観られる。最近二箇年の診療患者は平均七千六百餘人で、總患者百人に對し一人八分に當つてゐる。

肺結核死亡率

(昭和八年度)

死亡者		肺結核		他	
男	女	男	女	男	女
1,257	843	1,125	680	132	163
1,257	843	1,125	680	132	163

あり病者数は想像以上と観られてゐる。滿鐵醫院取扱花柳病患者數を見るに昭和七年に五千八百七十四人、同八年七千九百八十八人、同九年七千五百六十九人と逐年増加を示してゐる。

特種婦女健康診断成績 (九年)

地方	總人員	健康者	不健康者
大連	1,234	1,000	234
小樽	876	750	126
金州	543	450	93
龍子	210	180	30
計	2,863	2,380	483

州	人員	健康者	不健康者
大石橋	1,234	1,000	234
石橋	876	750	126
石橋	543	450	93
石橋	210	180	30
計	2,863	2,380	483

大連市 電話 〇四九〇
 沙河口 電話 〇四九〇
 電話 〇四九〇
 振替口座 大連 〇四九〇
 電話 〇四九〇
 振替口座 大連 〇四九〇

滿洲國妓女檢査統計表

(自昭和二年一月至昭和二年六月)

省區特別市別	檢査人員	花柳病患者	性病患者
吉林	1,234	1,000	234
江蘇	876	750	126
浙江	543	450	93
山東	210	180	30
計	2,863	2,380	483

トヲホーム 滿洲國には本症の罹患者が頗る多い。小學校の兒童トヲホーム検査成績に依れば次の如く、内地人に於ても平均十パーセント、滿人では三十パーセントの多數を占めてゐる。

年	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
昭和九年	1,234	1,000	876	750	634	518	402	286	170	54	5,827
昭和八年	1,125	910	794	678	562	446	330	214	98	36	5,393
昭和七年	1,019	804	688	572	456	340	224	108	42	18	4,961
昭和六年	913	708	592	476	360	244	128	62	26	12	4,521
昭和五年	807	602	496	380	264	148	82	36	16	6	4,081
昭和四年	701	506	400	294	178	112	66	30	14	3	3,637
昭和三年	595	400	304	208	132	86	50	24	12	1	3,193
昭和二年	489	304	208	132	86	50	24	12	6	0	2,741
計	7,863	6,380	5,527	4,674	3,821	2,968	2,115	1,263	610	254	28,631

昭和九年度滿鐵沿線小學校及公學堂トヲホーム検査成績

昭九年 檢査人員 3,015 花柳病患者 1,010 性病患者 2,005

阿片癮者族療成績

(大連救療所昭和九年中)

月	診察人員	治療人員	死亡人員
一月	1,234	1,000	234
二月	1,000	876	126
三月	876	750	126
四月	750	634	116
五月	634	518	116
六月	518	402	116
七月	402	286	116
八月	286	170	116
九月	170	54	116
十月	54	0	116
十一月	0	0	116
十二月	0	0	116
計	7,863	6,380	1,416

風土病 滿洲の風土病としては甲状腺腫及カシンベツク病等がある。

甲状腺腫は粗脖子又は癭瘰病とも言ひ頭部にある甲状腺が腫張して種々の壓迫症状を呈する一種の疾病であつて、調査研究の結果原因は飲料水の硬度缺乏に因ると信じられてゐる。滿洲に於ける本病の分布は判明せるものは興安省と龍江省との境界即ち嫩江上流地帯龍江省の北安附近、瀋陽省の綏化、呼蘭及び密山地方、吉林省敦化地方、奉天省小湯溝附近及鴨綠江上流地帯遼寧省一帶である。就中熱河省は其の分布状態に於て最も稠密な濃度を示し、東部朝陽附近の罹患率五%より始まり、遼寧に於ては三五%平泉に於ては五九%、五%の高率を示し、北部赤峰に於ては二三%、南部山海關、鞍中地方は〇、七%であるが山嶽地帯に進むにつれ罹患率の上昇を見、古北口、遵化、喜峰口等に於ては僅に五〇%以上に達してゐる。なほ本病は沃度劑の服用海草常食に依つて豫防可能と信じられてゐる。

カシンベツク病の特有なる症状は主として四肢の諸關節に見られる腫脹畸形にして通常多關節性に且つ對側性に來る。最も多いものは指趾の小關節、就中第一、第二指關節である。發病は主として五歳前後にし

て發熱、局所炎症性變化なく、極めて慢性に經過し關節の畸形は終生回復せず。朝鮮の北部地方にも存在し、住民の二〇—四〇%迄罹患者を見ると言はれてゐる。滿洲に於ては調査充分ならざるも、東遼道、寬甸縣、興京縣、清遼縣、東豐縣及西安縣に連なる以東地區、更に其の北方地區即ち京圖縣、吉林延吉線沿線にもあり、此外北滿黑龍江省、北安鎮、克山、克東地方にも存在すること報告され罹患率は二乃至三%より、多きは六%に達してゐる。一般に山岳未開地に多く、原因に關しては地方特性に存在するにより、飲料水其他食物に因るとなし又は内分分泌との關係を云々するも尙各方面にて研究が進められてゐる。

滿洲國の保健衛生施設

衛生行政機關滿洲國では建國當初から醫事衛生に關して深く留意し中央機關として民政部に衛生司を置き各省公署警務廳衛生科と共に地方官憲の衛生實行機關の統制に當つてゐる外、別に首都及びハルビン警察廳並に特別市公署には衛生科を設け其の他の衛生行政に當らしめてゐる。

重要衛生法規

衛生法規としては阿片法、阿片法施行令、阿片緝私法等を新たに制定したる外は、主として民國時代のもの

を暫行として應用してゐるが、大同元年コレラが猖獗を極めたるに際し、虎列拉防疫暫行令、共同防疫暫時辦法を制定し、又大同二年ベストの流行に當つては日滿共同防疫委員會を組織した。

日滿共同防疫委員會 昭和八年北滿にベストが發生せる時、之が防疫のため滿洲國政府、關東軍、關東廳、滿鐵の各當局が聯合して結成せるもので、九月結成以來翌年二月ベスト終熄せるも、常設することとし、滿洲より患疫の關連のため日滿共同して努力することとなつた。その事業として通達にベスト調査所を設け、ベスト防疫、情報蒐集連絡等に當つてゐる。

防疫施設

哈爾濱に防疫處を設けて傳染病の豫防に關する研究をなさしめ、營口、安東には海口檢疫所を、山海關、滿洲里、大黑河等には國外からの傳染病侵入防止に努め、防疫機關としては主要都市に官立醫院(吉林、チ、ハル、但しチ、ハルは昭和九年滿鐵の委任郵營となつた)或は市立醫院(奉天、ハルビン)を設置して一般の診療に従事せしめる外、施設並に阿片癮者の救療をなさしめてゐる。併し未だ草創の折柄、施設、機關共に整はず、その他傳染病の豫防、結核、花柳病、トラホーム等の

預防撲滅、衛生思想の普及宣傳等鋭意努力してゐるが未だ整備に至らない。

國立醫院

吉林醫院 五五二—一三—一五
ハルビン醫院 一一—一一—一二
奉天醫院 一一—一一—一二

國民診療所配置地

△錦州省 長中縣、北鎮縣、△吉林省 農安縣、扶餘縣、
△遼江省 安通縣、懷安縣、△熱河省 承德縣、
△遼江省 拜泉縣、嫩江縣、△三江省 富錦縣、
依蘭縣、△黑龍省 齊齊哈爾、△山東省 煙台縣、
△安徽省 通化縣、△奉天省 興安縣、△興安南省 王都廟。

滿洲國公署配置地

△吉林省 扶餘縣、長嶺縣、乾安縣、懷德縣、農安縣、
德惠縣、△遼江省 開通縣、安東縣、懷德縣、拜泉縣、
嫩江縣、德都縣、甘南縣、扶餘縣、依蘭縣、大慶、
齊齊哈爾、△熱河省 奇克縣、呼瑪縣、△三江省 富錦縣、
穆稜縣、方正縣、同江縣、依蘭縣、富錦縣、寶清縣、
△遼江省 延壽縣、穆稜縣、懷安縣、密山縣、安通縣、
木蘭縣、雙陽縣、△山東省 煙台縣、安通縣、
△安徽省 阜陽縣、德江縣、阜寧縣、宣州縣、通化縣、
△奉天省 興安縣、雙山縣、江、縣、梨樹縣、梨樹縣、
△錦州省 長中縣、懷安縣、北鎮縣、懷德縣、
新縣、△熱河省 開通縣、懷安縣、懷德縣、拜泉縣、
建平縣、青龍縣、懷德縣、懷德縣、懷德縣、△興安南省 通遼縣、
△興安西省 開通縣、△興安東省 布西、△興安南省 王都廟、△興安北省、海拉爾、奈勒

ムシ歯をつくらぬ

クラブ歯磨

驚くべき

藥理的効果

クラブ煉歯磨は驚く程歯を白く強くし口中の恐るべき微菌や歯の表面に附着する汚れなどを除去し齒齦を強化する特殊な高貴原料を含有してをります。



品質世界的
輝く楠公印

沃度昆布の千五百倍
含有量

小瓶發賣
十四日量一圓八十五錢

毒素の殺菌淨血
新陳代謝機能亢進
綜合ホルモンの増殖

本
才
天
平

根本的治療を主張する最新沃度療法

ミューンヘン大教授シヤルラー氏曰く「沃度は最高の治療劑なり一ネオス・エー
は極速急激なる殺菌を遂げたる沃度の科學的及び生化學的結論を具體化する其
に劃期的の新沃度劑であつて、上記の如く多量の有機沃度及びグイタミシム・
Dを含有するものである。従つて從來用ひられたる沃度加果の如き無機沃度と
異なり吸收最も良好にして而も薬毒副作用を有せず、生體の根元に作用する沃
度の積極性を充分に發揮せしめたるものである。

適應症

肺結核・肋膜炎・カリエス・氣管支加炎
氣管支炎・心臓疾患・神經衰弱・動脈硬化
高血壓・喘息・虛弱體質・溝伏菌毒

四圓三十三・圓八十・圓八・錢十三圓四

りあに店藥名有國全

田神 部 品 藥 ス ル 了 京 東

新のんで治るぢのくすり
發賣
ぢ疾内服藥アーナス

本劑ハ最近發見セラレタル卓越セル内服藥ナリ 各藥店ニ有リ アーナス商會

本劑ハ

最近奇蹟的ニ發見セラレタルモノニシテ曾テ其比類ナキ卓越セル内服藥ナリ
何等副作用ナク僅ニ一日二回ノ服用ニ依リ極メテ短時日ニ根本的治癒セシメ殊ニ
安全ニシテ其藥力タルヤ實ニ驚異的ナリ

本劑ハ

從來も疾治療ハ多ク局部的ナルモ内服藥ニテ斯ク藥效顯著ナルヲ以テ特ニ御婦人
方ノ患者間ニ最も歡迎セラレ

本劑ハ

從來ヨリ悲問販賣セラレ、局部用藥ノ如ク一時的緩和劑ニアラズ既ニ多數患者ニ
就キ實驗シタル結果其卓越セル藥效確實ナリ

由來も疾治療ノ方法ハ種々アレドモ遂ニハ専門醫ノ治療ニ依ラザレバ其目的ヲ達スルヲ得ザルガ其
治療タルヤ主トシ外科的治療ニシテ其局部ノ痛苦ハ云フニ不及長時日ノ空費ト物質上ノ損害ノ多大
ナルハ既ニ同患者ノ知悉セララル所ナリ

茲ニ本劑ノ如ク内服藥ニシテ何等ノ疼痛ヲ感セザルノミカ其服用ニ依リ併セテ胃腸ヲ整調シ患部治
療適確ナル本劑ノ出現ハ治療上一大革命ニシテ又も疾患者天來ノ福音ナリト信ズ

適應症

痔瘻、裂痔、内外痔核、痔痔脫肛、痔出血等一切ニ卓效アリ
八日分金一圓五十錢、十六日分金參圓、一ヶ月分金五圓、二ヶ月分金拾圓

藥價

各地有名藥店ニアリ品切ノ際ハ直接發賣元へ御注文ヲ乞フ

大連市乃木町十四番地

發賣元 アーナス商會

電話二一四二番 二五五五番
振替口座大連六五五番

鎮咳祛痰劑

ブロチン

肺結核、氣管枝炎その他咳嗽咯痰を伴ふ諸症に賞用せらる

末………50克入
錠………100錠入
散………100粒入

(文献進呈)



東京・室町 三共株式会社

脚氣新藥

オリザニン

オリザニンが脚氣の治療に又豫防に極めて有効なるは多數文献の立証するところにして疑ふの餘地なきものなり…
オリザニンは脚氣の外栄養素として多方面に賞用せられつゝあり

(粉末、錠劑、液、エキス)
注射液の各種あり

(説明書進呈)

東京・室町

三共株式会社



慢性

モロト中毒

解毒特效劑 豫防特效劑

無苦痛

根本療法

發明完成

元北海道帝國大學醫學部教授

故田太 邊黑 仁一 先生 創製

主効 慢性阿片、モルヒネ、バビナール、パントボン、ナルコボン、スコ
ボラミン、コカイン、ヘロイン、アダリン、カルモテン、中毒

従來の方法と異り殆ど無苦痛の中に、而も短時日に治療する新發明なり。
試にその五管を用ひよ。必要モヒ量半減すべし。

中毒遂に恐るるに足らず

【文献贈呈】

發賣元 東洋醫藥株式會社

東京市日本橋區本町三丁目自成一番
大阪五五八九番

ネオボシタマーザン

其の他の團體

國紅十字會海倫分會、華東紅十字會、仁惠堂(新京)、廣濟慈善會(吉林)、慈善會(扶餘)世界慈善聯合會(哈爾濱市)錦縣太平慈善會、中國慈善會(新民)壽、吉、馬、熱省慈善聯合會分會、五教道德院(齊々哈爾濱)萬國道德呼圖分會。

軍政部所屬醫院所在地

承德、林西、千宗屯、奉天ハルビン、吉林、新京。

新京戒烟所、新京戒烟所哈爾濱分所、奉天戒烟所、奉天戒烟所山海關分所、奉天戒烟所營口分所、奉天戒烟所安東分所、吉林戒烟所、齊々哈爾濱戒烟所、齊々哈爾濱戒烟所滿洲里分所、承德戒烟所。

滿洲國公醫診療患者

(自診療開始月至康德元年十二月)

Table with columns: 別省, 縣別, 實人員, 均實人員. Rows include 龍江省, 吉林省, 奉天省, etc.

Table with columns: 省名, 縣名, 實人員, 均實人員. Rows include 三江省, 遼寧省, 吉林省, etc.

興安南省通 遊 八五 四三 總計 一三六三九

種痘施行人員數

一〇〇,二二六名(康德二年一月一六月末)

康德元年度種痘人員は不明なり、報告せるものも左記の如き内譯を有す。

- 1. 滿洲國配設公醫施行の分 八五、四一二
2. 新京特別市施行の分 一二、九一八
3. 政治工作施設班施行の分 二、八八六

滿洲國內住民の大半は未だ種痘を受け居らざるが故に、あらゆる機会を利用して各種機關に於て各地方に任意の時期に種痘が行はれ居る有様にしてその都度報告にも接し居らざるが故に總實施行人員不明なり、尤も小學校児童に對しては各省各縣公署等に強制的に種痘が行はれてゐる様子。

醫師數

(名別)康德二年四月末現在)

Table with columns: 省名, 醫師數, 西醫數, 漢醫數. Rows include 龍江省, 吉林省, 奉天省, etc.

滿洲醫學校卒業生數調查表

(大同元年度調査)

Table with columns: 卒業生數, 在滿數. Rows include 滿洲醫大, 奉天醫專, etc.

關東局の保健衛生施設

行政機關 衛生行政機關とし關東局警務部衛生課が中央機關として管掌し警務部長は關東州廳を指揮し關東州内及び滿鐵鐵道附屬地衛生行政を掌理してゐる。關東州廳警務部衛生課は州内民政署並に警察署を指揮し衛生事務を執つてゐる。其他附屬地外の邦人居留地の衛生事務は領事に屬し海港檢疫、旅館、大連の港内衛生事務は關東海務局が管掌してゐる。

保健衛生の審事研究檢査機關 該機關として保健衛生調査委員會、大連、旅順に於ける各療病院、婦人醫院の外、各民政署、警察署に配置して居る醫師、獸醫、藥劑師

齒科醫産婆藥劑師數

大同二年末現在調(調齒科、醫産、婆藥劑師に關する正確なる調査なし)

Table with columns: 省名, 縣別, 實人員, 均實人員. Rows include 龍江省, 吉林省, 奉天省, etc.

大連二年末現在調(調齒科、醫産、婆藥劑師に關する正確なる調査なし)

Table with columns: 省名, 縣別, 實人員, 均實人員. Rows include 龍江省, 吉林省, 奉天省, etc.

産婆は舊式産婆を含む、所謂新式の教育を受けたものは約三分の一即七〇〇名。藥劑師はこの外に哈爾濱俄僑藥劑師傳習所を卒業せる三二〇名の藥劑師存する筈。

等を以て、人畜傳染病の檢診、細菌學的試驗、藥品及び飲食物試驗等その他理化學的衛生試驗の事務を擔當してゐる。
△保健衛生調査委員會 關東局滿鐵會社共同組織の下に大正十四年十月三十日滿鐵會社内に設立され州内外に亘つて防疫代價上必要なる事項を調査研究せしめ、その決定に基いて、滿洲に於ける衛生行政の根本方針確立の資料に供せんとするものである。而して特種事項に關しては、臨時調査委員會を設け、系統的調査研究を遂げ、臨時パンフレットを刊行して民衆の保健思想普及に努めてゐる。
△衛生試驗 關東州民政廳時代には既に衛生試驗室に衛生試驗室及細菌検査室を附設し、理化學及細菌學的試驗を施行し以て前時代に至つたが、明治四十年五月之を截止し獨り大連に中央試驗所を置き其他の理化學的衛生試驗に關する設備を完成し其統一を圖らしめ、細菌學的試驗は該局大連南關前街に於て之を施行し來た。斯るに明治四十三年五月一日より中央試驗所を滿鐵の經營に移管し府及所屬官廳より會社に依歸する該所の新又は試験は無料にて之に應ずべき義務を負擔せしめた。斯るに滿鐵會社に於ては從來の業務分掌を變更し中央試驗所の業務中藥品試飲食物衛生品質の検査鑑定及藥局方考酒試驗衛生に關する一切の事項は昭和二年四月一日より之を同社衛生研究所に移管した。而して理化學的衛生試驗にして是を要するものは各警察署に委託して之をなせしめ並に之を進行せしめ昭和九年五月滿鐵會社内衛生試驗室を設けし以來滿鐵衛生研究所に依歸せし一切の衛生試驗は直接州廳に於て之を行ふこととなつた。

婦人醫院及救護所を置いてゐる。
 △聖路加醫院 明治四十二年二月日本赤十字社滿洲委員本部に於て、在該國滿洲赤十字病院を滿洲より買取し普通病院を開設し關東總醫院と稱した。その後數次の改正あり今日に至つてあるが、現在四十五床を有し内科、外科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、小兒科、精神科、物理科、病理部、薬理部、庶務部の各部、科に分ち傳染病室も完備してゐる。
 △聖路加醫院は傳染病患者の爲め、婦人醫院は特殊婦女診療の爲め、大連に各一科を設け、救護所は阿片其の他癮藥中毒者等の治療機關である。

關東州總醫院及公醫
 治療患者數 (昭和八年度)

醫院名	患者數
聖路加醫院	一三、八、四七八
關東州總醫院	一、〇、九二
大連總醫院	二、〇、二七
關東州人醫院	六、一、八五
大連總人醫院	二、〇、九八
公醫	二、六、八七八
合計	二四、一、二〇

醫師の取締 醫師の取締りは内地法に準據してゐたが明治四十四年一月府令を以て醫師取締規則を制定、更に昭和八年一月醫師規則公布せられ醫師たるには關東長官若くは内務大臣の免許證を有することを原則とし醫師會を公認した。併し特殊地方に於ては資格醫師の開業を求め難き場合を考慮し免許を有せざるも相當の學力經驗を有す

る者にはその技量經驗を審査の上地域期限を附して開業を許可し僻地の必要に應じてゐる。

學校衛生 學校衛生として各種學校に校醫の制を設け児童生徒學生の體格検査及學校衛生事務に従事し其他若干の學校には看護婦を置き衛生事務に従事してゐる。

移民衛生委員會 關東州廳では昭和八年六月移民衛生調査委員會を設立し移民衛生諸般の調査研究に當つてゐる。

防疫施設 關東州内の海港檢疫は關東海務局がその事務を擔當し、海外諸港及び日本より來航する船舶に對して、傳染病の侵入を防遏するため船舶入港の都度檢疫船を配して港内外で檢疫を施行し、廢航地又は寄港地の状況に依り一定の期間停船を命じ、或は物品の輸入禁止、消毒其他適當な豫防方法を實施してゐる。又陸上防疫は各警察署に於て主管せしめ、患者は療病院、海濱關係は檢疫所に收容してゐる。

州外附屬地の防疫事務は法規上警察官署に屬するが其の施設は滿鐵會社が主として其の任に當り、患者の診療及び防疫に關する經費は當該會社費、地方費等の負擔である。

滿鐵の保健衛生施設

結核防疫施設 在滿邦人の肺結核患者率は五・九四%の多きに達してゐるが滿鐵は左の施設を有してゐる。
 △南滿供養院 昭和三年滿鐵が御大典記念事業として小平島に本院を設立し結核防疫の根本たる輕症患者の療養施設の充実に努めつゝある。女性滿鐵は滿洲結核防疫會に重要役割を演じてゐる。
花柳病防疫施設 保健調査委員會は昭和二年六月臨時花柳病防疫委員會を設け、本病防疫上、現行法施行に關し改善すべき事項を決議の上實行に着手した。特殊營業婦女子に對しては警察官を以て定期的に健康診斷規則に依り検査を施行し、會社は委託事項として有病者の治療施設たる婦人醫院(奉天)又は特殊婦人病棟(奉天以外の滿鐵會社醫院内)を設け、強制收容を命ぜられたる患者に對し公費を以て治療を行つてゐる。滿人俳優に對しては滿鐵は關東局と協議接續地滿洲國間とも歩調を一にして昭和十年度より検査制度の施行を見るに至つた。

其他一般保健施設 △巡迴衛生婦人醫院又は公費の配賦なき地方に於ける居住者の保健施設として大正十五年巡迴衛生婦の制度を設け、州外附屬地を六區に区分し別に州内社協診療を一區として合計九名の衛生婦は保健指導の下に夫々受診區域を巡迴し貧窮者の急を診察、妊産婦及初生児の手當、乳幼児の保育

行政機關 中央機關として地方部に衛生課を置き保健防疫、現業衛生、學校衛生の四係を設け、附屬地の一般衛生施設及醫院の經營事務を掌理してゐる。且つ沿線の主要地營口、撫順、安東、四平街、新京の六箇所には衛生課に屬する保健所を設けし各該當地域の衛生事項を處理せしめ又各都市には諮問機關として警察及び市民を包含する衛生委員會を設け、衛生事項の實施機關として地方事務所に衛生所を設置してゐる

衛生研究所 衛生研究所 大正十五年一月大連市に衛生研究所を設立し、細菌、病理化學、衛生、血清、痘苗、庶務の六科一係を置き滿洲に特有な保健衛生上の諸問題を研究し、兼ねて醫學的の一般検査に鑑定をなすつゝあり、今日までの主なる研究は猩紅熱の病原に關する研究、ペストの防疫醫學的研究、寒熱の病原に關する研究及び滿洲に於ける水質の研究等にして製品の主なるものは痘苗、チフス豫防薬、ペスト豫防液、猩紅熱防疫液及同治原血清等である。

防疫研究所 防疫の防滅を期して大正十四年十月奉天に同所を設立し、事業、研究、庶務の二科一係を置き滿洲に於ける家畜疾病の調査研究を行ひ、他方豫防疫液治療血清の製造配給をなす且つ防疫薬を製し、巡回検査を行ひ、又所内に診療所を設けて家畜の治療に應ずる等目的達成に努めてゐる。今日製造配給をなすつゝある製品の中主なるものは牛痘防疫液、牛痘血清、炭疽防疫液及炭疽血清である。

滿洲醫科大學 醫育機關たると共に一面自ら醫事研究機關となすものにして、明治四十四年の創立以來研究

指導、疾病の早期発見等の事に當つてゐる。
 △狂犬病防疫 狂犬の取締りは警察官に於てこれを專らと雖も州外に於ては滿鐵衛生事務執行機關と警察官と協力して進行、毎年百餘匹の野犬防疫を行ひ、且狂犬に對する防疫注射を施行してゐる。
 △鼠土衛生研究 在滿各機關は邦人滿洲移民に移民の衛生問題に關しては移民調査會を設け、住居問題、食料問題、衣服問題等に關し熱心なる研究を進行し同時に鼠土衛生問題に關する研究は勿論、全滿水質の調査等諸般研究は相協力して當つてゐる。
特殊防疫施設 特殊防疫とはコレラ又はペストの預防を言ふ。蓋しコレラは滿洲常在の傳染病に非ず、又ペストは西部滿洲を渡地帯とするもコレラと同様に一度流行するに至れば其蔓延速かにして影響するところ大なるものあり、防疫行政中重要なる事項である。従つて一般防疫と區別し豫算も亦臨時に編成して之が豫防及防疫に當つてゐる。

診療施設 △地方部附屬醫院 新京、公主嶺、四平街、開原、鐵嶺、遼寧、鞍山、大石橋、營口、瓦房店、撫順、本溪、安東、龍江、吉林、哈爾濱、チチハルの三區所に夫々滿鐵直營の醫院を設け、外、滿洲國管轄地奉天、遼寧、遼東、興山、龍江、海拉爾、扎蘭屯、恩河、佳木斯、圖們及び安東の十箇所に總計百萬圓を投じて醫事建設中の各醫院があり、既に昭和十年九月末に圖們、及び遼寧の二箇所は開院の運びに當つた。前記十七箇所の醫院に對する九年末現在事業費は合計七百七十二萬八千圓に達し、従事員約八百四十名、職員二百五十名

究業績は驚しき數に上つてゐる。此中滿洲の保健衛生の實績に關係深きものをあげれば前章に關する研究、住居の構造に關する研究、食物の加工、貯藏調理に關する研究、衛生史に關する調査研究、カラアザールの研究及びカマニツタ氏病の研究等である。
 △保健所 鐵道附屬地に設置せられたる保健所もその管轄にして、飲料水に關する検査及び衛生監督取締上の食品検査等の検査をなす。これが適當者は保健所保健員である。

學校衛生施設 滿鐵會社は兒童生徒の體格及び體質の改善向上を圖るため保健所に學校醫を配屬せしめ、疫病豫防撲滅を期するため努力してゐる。

△夏季暑熱 兒童の體質運動に關しては各校の施設をなしてあるが夏季にはスケート其他を獎勵して戶外生活習慣に努め、夏季に對しては海濱遊藝(重慶河子附近月見ヶ岡)温泉遊藝(撫順、遼寧、鞍山、遼寧、龍江)を擁び各箇所一帯の教育兒童數各二百名宛、海濱遊藝に於ては一、二〇〇名を收容し兒童の健康増進に努力してゐる。

現業衛生施設 關東州及鐵道附屬地は未だ工場法、職業法及健康法の適用を受けざるも滿鐵會社は従事員に對する福祉施設として共済制度を設ける外、労働衛生學的調査研究即ち現業員の體質向上、労働環境の改善等に業務災害防止等を擔當するため衛生課に現業衛生係を設置してゐる。鐵道衛生に於ては旅客の衛生、救護施設等一般保健衛生を掌理すると共に、撫順炭礦には現

圓を算してゐる。尙九年度に於ける外來患者百二十七萬九百八十四名、入院患者五十六萬四千九百九十二名である。

各醫院病床數

醫院名	全病 床數	傳染病 床數	特殊 病床數
凡房店醫院	五四	一五	四
大石橋醫院	四七	一五	六
磐山醫院	七七	一六	八
聖山醫院	二三四	八〇	一八
聖徳醫院	一一〇	二八	一六
聖徳醫院	四一	一六	一〇
聖徳醫院	七六	二三	一〇
開原醫院	五八	二二	六
四平街醫院	一五〇	六〇	七
公主嶺醫院	七一	二〇	八
新京醫院	五一三	一六〇	九
木蘭湖醫院	四七	一一	六
安東醫院	一九七	八六	一六
撫順醫院	六〇〇	一〇五	二四
吉林醫院	七七	一三	一〇
哈爾濱醫院	七〇	二一	一〇
齊々哈爾濱醫院	一五六	三〇	一

(九年度末現在)

民間の衛生施設

大連聖愛醫院(大連市播磨町) 明治二十九年九月大連在住のキリスト教徒有志者の設立で、大正四年三月組織を改め財団法人とした。本院は日滿其他外國人の下級貧困者のため施藥救療をなし、一般にも實費で

診療する外、民政署、市役所及び赤十字社其他の委託により罹病者を收容してゐる。經費資金は官廳其他の補助金、實費患者取扱收入、附帶事業の胸衣取扱收入、一般篤志家の寄附で維持してゐる。又大正八年四月から看護婦養成所を設けてゐる。なほ市内伏見寮に分院を設け精神病患者を收容してゐる。

宏濟善堂病院(大連) 宏濟善堂の經營する病院で官の委託又は個人の依頼に應じ患者を收容治療してゐるが主に滿人の治療機關として活躍してゐる。(社會事業の部参照)

日本赤十字社滿洲委員本部 には於ては奉天城內及大連に病院を設置し、奉天、新京、ハルビン、錦州、鄭家屯、一面坡、赤條に診療所を置き患者は勿論施療患者をも診療してゐる。

醫師、齒科醫師、獸醫、藥劑師、産婆、看護婦統計

業 別	州 内	州 外	計
醫師	二二六	三〇八	五三四
齒科醫師	六六	九四	一六〇
藥劑師	七〇	八〇	一五〇
産婆	九五	八九	一八四
看護婦	二四八	三三六	五八四
看 護 員	六五八	四四九	一一〇七

(昭和八年末現在)

藝 術 ・ 娛 樂

寫 眞

昨年度寫眞の概観 一九三四年の新型キヤメラの傾しいデビューもこれの完全な消費から見て滿洲寫眞界は劃期的な發展普及を遂げた年であつた。然も一九三五年に入つてもキヤメラ熱は上る一方で前年度に倍して寫眞趣味は大衆化されキヤメラの世界は躍進的な發展を示すこととなつた。キヤメラの傾向は前年通り小型全盛であるが一時珍重がられたベスト十六枚撮りの如き最小型キヤメラは殆んど材料店のショーケースから姿を消しプロミニ型、プロミニ十二枚撮り、同十六枚撮り等が最も歡迎され、レンズフアイツダーのついたものが多くなつて來た。エタザタターの如きものも一時新奇を好む人々の間に喜ばれたが長續きがせずスーパードネツテル等が市場の勢力を占めて來た様である。又小型で相變らず人氣を失はぬのはライカ並にコンタックスで此等の賣行きは年々増加する一方である。三四年度下半期より三五年度上半期にかけて最も注目すべきものは内地の寫眞材料製造業者及び輸入業者が滿洲にマーケットを求めて續々進出して來たことでも

氷い沈黙を守つてゐた富士寫眞フィルム社、日瑞貿易社等は積極的な進出振りを見せてゐる。尙日本には虎視眈眈を滿洲のマーケットを狙つてゐるもの數多く、今後の滿洲寫眞材料界は年と共に賑ふことであらう。尙滿洲に於ける主なる寫眞研究團體は次の如し。

- 大連—大連アマチュア攝影協會、滿洲寫眞社、新光俱樂部、滿洲洋行内、光華俱樂部、森洋行内、光華俱樂部、風天洋行内、遼東寫眞會、佐野洋行内、滿洲寫眞協會、大連市攝影會、二丁目九、航空寫眞會、日本製藥會社内、大連光華會、中央試驗所内、滿日社、支會、滿洲日日新聞社内。
- 奉天—奉天光華會、木村洋行内、奉天ライオン同人會、同上。
- 新 京—同都其其研究會、協理寫眞會、哈爾濱—哈爾濱クラブ。

十年度寫眞概観

▲第一回廣告寫眞展覽會—滿洲寫眞社主催、東洋行後援の下に、スモカを題材として廣告寫眞を募集、三月初三日、審査員は大野斯文、下山只一、崑山壽三氏。

▲第二回キヤメラ展—滿洲寫眞社、大連各寫眞團體主催、滿洲寫眞材料商組合後援の下に、電氣遊園にて四月二十九日開催。

▲作家寫眞會、熱河寫眞會—滿洲寫眞社主催の下に二月十八、九兩日間大連滿洲社員俱樂部にて開催。

▲ハルビン第一回キヤメラ展—ハルビンスコエクレミア主催、滿洲寫眞材料商組合後援の下に六月二日哈爾濱植物園にて開催。

▲飛行寫眞展覽會—滿洲寫眞社主催、日本航空會

象であるといふ可きであらう。

型 映 畫 概 観

▲エルモ社主催の下に一月隨寫眞新題材は第一回機校教育展覽會、第二回自由。

▲第二回二〇米コンテスト—パテールネ映画會主催、支那主催一月入選作品を募集、一等大連平田力、二等奉天登壇、三等大連平田力。

▲パテールネ・コンテスト—全日本パテールネ協會主催、支那主催一月二十日或は機校第一等近藤良本、二等三澤虎和、三等仙田山行。

▲アマチュア映画協會、滿洲寫眞社後援九月二十一日大連女子高等女學校にて開催。

演 劇

演劇の不振 映畫が内地一流都市に比較されるまでに隆盛を極め日本人經營の映畫館の如きは殆んど高級再生設備を有し堂々たる映畫殿堂を各地に建設してゐるに反し演劇は全く見るべきものなく劇場の如きも大連劇場、奉天劇場、長春座、安東劇場の少數で、然もこのうち純然たる劇場は僅かに大連劇場一箇所、他は全部映畫の常設館を兼ねてゐる。滿洲に於ける演劇の不振は著名俳優の渡滿は海外出演並みにキヤラシチが非常に高價であるに比し滿洲に於ける劇場の不備不足のため公演地が限られ、渡滿日數の間に公演日數が少なくなると、失敗に比して純利益が少いのみならず、失敗

滿人映畫街の現状及び將來 滿人映畫館は現在全滿を通じて六十一館、うち發聲裝置を有するものは僅かに十九館であるが、この六十一館も映畫常設館と云ふのは三十三館で他の二十九館は假設劇場である。滿人映畫館の最も多いのは奉天省、次が哈爾濱特區で、他の各省は殆んど問題とするに足らず、中には未だに一映畫館をも持たない省すらある状態である。しかし今後には想像することが出来よう。しかし今後には日本人の進出、交通の發達に伴つて映畫は第一番に最も手近な大眾娛樂として各地方に普及せんとする形勢を見せ、加ふるに滿洲國當局が國策的見地より王道樂土の思想徹底その他に映畫を利用すべく、映畫の普及を奨励してゐるので近き將來に於ては他の文化の普及以上に映畫は全般的に普及するものと見られてゐる。滿洲國內に於ける代表的映畫館は次の如くである。

館名	所在地	設備
龍春電影院	新京	有聲
龍春電影院	新京	有聲
中央電影院	奉天	有聲
東安電影院	同	有聲
光明電影院	同	有聲
吉林俱樂部	同	有聲
吉林青年會	同	有聲
世界電影院	同	有聲

平安電影院(エムバイア)哈爾濱
東北電影院 同
大同電影院 同
東平電影院 安東
東明電影院 同
尚右の外に哈爾濱に於ける外國人經營、日本人名義の映畫常設館、及び關東州内に於ける滿人映畫館の代表的なものを左の如し

館名	所在地	設備
モテルン	哈爾濱	有聲
オリエン	同	有聲
パレルン	同	有聲
ギガレント	同	有聲
アメリカン	同	有聲
カセリ	同	有聲
スミス	同	有聲
ベスミア	同	有聲
キヤピタル	同	有聲
新洲電影院	同	有聲
新興電影院	同	有聲
朝鮮電影院	同	有聲
北京大戲院	大連	有聲

滿洲に於ける映畫製作 滿洲に於て劇映畫の製作は日本映畫會社のロケーションを除けば全然行はれておらず、ニュース映畫、記録映畫等の所謂寫眞もののみが製作されてゐる。記録映畫の製作に最も活躍するものは滿鐵弘報係映畫班で三五年の大作は滿洲國皇帝陛下御訪日映畫「春風萬里」で、

これは東京PCL日本映畫科學研究所にて録音サウンド版としたが、陛下に獻上すると同時に廣く全滿的に公開し滿人を感激せしめた。この外三五年の作品としては「熱河滿洲十景」(「ゲージ」製作)、「國策紹介」等の大作がある。ニュース映畫には松竹ニュース班の活躍が目立っているが、松竹ニュース班撮影のニュースは蒲田にて他のニュースと共に編輯され毎週全日本全滿的に公開されてゐる。滿洲に於ける映畫攝影関係團體次の如し。

關東局映畫班(振順)
滿鐵事務局弘報係映畫班(大連)
松竹キネマ滿洲出張所(ニュース部 新京)
滿洲映畫班(大連)
滿洲國通信社映畫班(新京)
滿洲國新聞社映畫班(新京)

滿洲活動寫眞協會設立 滿洲に於ける映畫の急進的發展普及に伴ひ日本を始め歐米各映畫製作会社は滿洲に積極的進出を計畫、從來仲買人等の手を経て居たのを廢して各社とも直系の支社、出張所、或は代理店を置くこととなつたが、各社滿洲駐在員は相互の親睦結合を圖り企業者共同の利益を擁護するため統一機關設立を計畫昭和十年六月四日大連ヤマトホテルにて創立總會を開いた結果滿洲活動寫眞協會を設立、同日より事務開始することを決議、事務所を大連市近江町二番地新興キネマ出

道に沿つて全滿に散在する青年従業員の数を見れば益々純正音樂會が全滿的に開催されることは明かに豫想される。これに加ふるに歐滿財界の推移と世界の滿洲國に對する認識が深むに従つて世界的音樂藝術家の滿洲進出が急激に増加するものと思はれ内外兩者相扶けて純正音樂の發展は想像することが出来る。

同時に建國以來研究されてゐる郷土音樂としての滿洲樂も、新日本樂と同様多分に洋樂を模倣して復舊樂的の體型をととのへ三六年度には可成りの飛躍を見せることと豫想される。本年度建國祭當日新京放送局より放送された滿洲樂の如きは全日本に中國日本中央樂壇でも相當好評を博してゐる。これ等の點より見てこの豫想は必ず實現するものに断定出来る。

音樂學校並に研究團體 滿洲音樂界の中心は大連であつて従つて各種音樂團體は大連に集つてゐるが奉天、新京、ハルビンにも小さなもの、又個人的なものは散在してゐる、音樂學校及び音樂研究團の代表的なものは次の如くである。

大連音樂學校(校長國山民平氏)クラシック音楽部、満洲音樂會(編者高津敏、伊藤十五郎氏)、その他に和洋各専任團體)

在滿音樂會(委員長)はフランス・バンドが最も多く現在八團體が存在してゐる、この外

張所内に置いた。加盟會員左の如し。

▲奉天興行團(奉天二部)▲パラマウント大連出張所(奉天博通)▲日清大連出張所(博通衛生)▲東和南華代理店(大竹清行)▲大連興業大連出張所(小笠原留吉)▲ワリー・ブライ・ブライ代理店(留吉)▲オックス・スミス出張所(田浦貞司)▲コロムビア代理店(留吉)▲エス・エス・エス代理店(留吉)▲千代田興業代理店(留吉)▲三井物産出張所(工藤留吉)▲ユニナイテッド出張所(田中良平)▲ユニバーサル出張所(留吉)▲エス・エス・エス出張所(留吉)▲新世界大連出張所(留吉)▲エス・エス・エス代理店(大竹清行)

音樂

滿洲音樂界の傾向 一九三五年度に於ける滿洲音樂界は特許すべき三つの傾向を示した。その第一は一般音樂ファンの中に従來一掃されて居た純正音樂と娛樂音樂とを判然別するやうになつて来たこと、これは直ちに音樂會、演奏會に反映し從來非常に多かった中間的音樂會—音樂舞踊會の如きも、或は純正音樂の會と云ふものがその數を極端に減少し、純正音樂藝術家の來滿が反對にその數を増加して來てゐる。三五年中の主なる純正音樂家の來滿を擧げれば左の如きものがある。

氏名	国籍
クロイツァー氏	オーストリア
フロンツァー氏	ドイツ
ステイン氏	ドイツ
ホルトシュタイン氏	ドイツ

第二の傾向は先きの如く純正音樂と娛樂音樂とを判然と區別するファンが非常に増加した反面、娛樂音樂も實質的には純正音樂に接近してゐると考へるファンも多くなつたこと、事實日本に於ける娛樂音樂の向上は内容的に相當見べきものあり、又邦樂に於ても新日本音樂と稱せられる宮城道雄氏或は久本玄智代等の作品の如きもやや洋樂模倣の傾向あり復舊樂的に變化しつつあるが滿洲に於てもこれ等の新らしき音樂が喜ばれ更に一般流行歌、歌謡曲までも高級に買はれてゐる、ボリドル歌手東海林太郎、渡邊光子、八音一行が壓倒的な成績を示したのはこの顯著なる實例であらう。然し第二の傾向を持つファンの中より更に一轉換したファンが既に生れてゐる、それを第三の傾向と云ふことが出来よう。これは歌謡曲、流行歌には既に飽きて更に内容的なものを求めんとする傾向である。これ等の人と云へども未だ純正音樂にまでその樂しみを進展さすには到つてゐない。以上が滿洲に於ける音樂界の傾向で、地域的に大連新京奉天に純正音樂のファンが多いのは止むを得ないことであらう。

今後の豫想 滿洲に於ける文化の普及は當然純正音樂の普及を招來し、鐵路總局鐵

管絃樂團、ハルモニカ團等もあるが特筆すべきものはハルピンバラライカ合奏團であらう。主なるものは次の如くである。

- ▲滿洲音樂會合奏部及合唱部 ▲滿洲醫科大學管絃樂團 ▲農工科大學管絃樂團 ▲滿洲本報管絃樂團 ▲鐵道工場管絃樂團 ▲埠頭管絃樂團 ▲同業管絃樂團 ▲滿洲電氣管絃樂團 ▲鞍山製鐵所管絃樂團 ▲柳塘園管絃樂團 ▲奉天管絃樂團 ▲新滿洲管絃樂團 ▲滿洲國軍樂隊 ▲ハルピン外人管絃樂團 ▲ハルピンバラライカ合奏團 ▲工業專門學校管絃樂團 ▲大連ハルモニカ合奏團

邦樂界依り不振 滿洲に於ける邦樂は洋樂に比して依然として甚だしく不振であるが、この不振の中でやゝ見るべきものは三味線に依るものでは長唄でこれは花柳界方面はもとより一般家庭に於ても相當愛好されてゐる。長唄に次いで盛んなものは清元であるがこれは殆んど花柳界方面に限られてゐる。三味線に依らぬものでは諸曲最も盛んで愛好者も多く、獨立した演奏會も殆んど各派毎月の如く開催してゐる。殊に三五年一度夏流兩宗家打揃つて來滿し、或は大連に海外唯一の能樂殿が建設される等益々氣勢あがり今後も一増發展するものと豫想される。昨年度まで最も盛んであつた義太夫、及び琵琶が三五年度には極端なる衰微振りを示し關係方面を驚かせてゐるが、これはスピーデーを喜ぶ時代として當

然現はれる現象と見るべきであらう。邦樂各派の中心は矢張り大連であるが、奉天では琴が最も盛んで、新京では長唄が盛んである。尚滿洲邦樂界の分野は左の如くである。

- ▲長 唄 觀世流(泉第一節、渡邊興十郎、中曾繁吉その他) 實生流(片桐操、岩瀬作之助、喜多川白井、藤本王彦、八坂喜重、若原清、久世哲三) 龍樂(子、森川莊吉、龍樂狂言、土田徳吉郎)
- ▲三 曲 生田流(福米大角、宮森大角、福米子) 都山流(大角、福米、上田、宮田水)
- ▲新 曲 藤田正三流、常盤津三流、調正會、小唄、田村昭長、新日本樂、藤田正三、西川照松、藤田昭長、西川照松。

美 術

滿洲畫壇の藝術的紀元 滿洲に於ける藝術園地には美術が最も上層を歩み最も健全な進軍を賣つてゐると云ふ事が出来る。滿洲事變を一轉機として、四年来の發展は滿洲美術界未曾有の飛躍であつた、と同時に初めて繪畫藝術としての息吹きをはじめた。過去三十四年間幾多の消長曲折をこゝしてゐるが地方的な存在の爲め其の進展

が井中の蛙の感があつた。事變以來の現象として當然世界の注視を集め大美術展、一流畫家の來滿の機を開いた。同時に兎も角も一般の好尚も藝術鑑賞レベルも漸次擴大し現今の盛を至し、質的には未だ未完成の交響状態ではあるが量的には各派各様の畫傾向を備へ、東都畫壇にも次ぐライオネアヲエテイである。大別して過去に屬する傳統並に官儀的生活態度の作家、現代に於て人並に生きる制作態度のもの、未來へ呼びかけた近代性を味はふ連中、この三層を基盤として幾多の傾向の作家を包含してゐる。其の數に於ては大連中心主義の百六十名奉天新京ハルピン四十名、全滿少くとも三百名の畫家が居ると見得る。數字は全滿洲美術展開催當時の出品畫壇人員を吟味して)

其の系統としては日本畫側は遙かに洋畫組の大多數良質に及ばない状態であり年々其の進退の差を擧げて行く。つまり日本畫作家には時代の魅力を缺いてゐると云へよう。恰も洋畫家にとつて昭和八年三月我が社が招來した新興佛蘭西美術展の大畫展を初め本年四月大舉して訪れた二科展の全貌に接する等未曾有の藝術的啓蒙があつた。從來文字や印刷にて紹介され來つたグワイナスの殿堂を眼に得た喜びは一人畫家連のみ

ならず一般滿洲生活者にとり好奇と讚嘆の聲であつた。是に依つて在來のゆり込み繪畫に教へられた一般觀者も其の難解の畫面の前に一抹の不安を感じたけれど是と同時に明快な色彩、鋭敏な線條、畫面の臨みかゝれたる思想等を見知した。

勿論感感なる若き藝術の一群には大なる刺戟を與へ彼の歐洲大戦に於ける歐洲人の感得した世紀末的煩悶に相當する我が洋畫壇の沈滞期に際してこの新興美術の招來は滿洲に生きる時代の子弟に直接に間接に大きな感動を與へたと同時に心ある知識階級にも自我精神の覺醒をうながし更にデザイナリズムの理解紹介が原因して初めて滿洲畫壇の眞の藝術的出發の勇姿がテープを切つたと云ふ事が出来る。

かくて進展した滿洲美術界は一つの革命的標準を確立し完全に其の樂土王道の建設の如くヤンギーゼネレーションの時代となり事變が作つたエポックと共に美術も亦文化の上層建築として明朗活潑にアレダロ副に進みつゝある事を見る。

然しこの結果として藝術の吸收時代であり多くは海外作家内地畫家の直接的模倣に終始し要するに滿洲畫壇のこゝ三十年は完全に移入時代の他なき状態であり何れも

今後の宿題である。

獨土藝術 固有の美くしさを持ったローカル藝術が殆ど生れてゐない點最も淋しい。植民地的人心が永住性を失した欠陥であつたが滿洲國成立以降の昨今盛んにこの意識を高めつゝあるが未だ急造の薄つべらである。然し日滿兩國畫人間に鴻然と湧いたこの要求は今後に大きな收穫が望める。其の獨土藝術に基調を置いた畫家に又郷土色彩豊かな作家には主として滿洲の下層階級を眺め其の單的な把握に浮き身をやつす甲斐已八郎、風俗スケッチを集成する伊藤三、滿人生活に態度し其の趣味性を研究する河野久、滿洲風景を集めて歩く石田吟秋、中國の色彩感に與する稻葉亨二、風俗人形を制作し土産品を作る小倉圓平、滿人のみを描く三井正登。

滿洲畫壇の一年 (個展洪水) 事變以來の滿洲進出畫家の激増は玉石混濁にて大進軍し來り個展洪水なる新語を作つた。本年度の如き其のクワイマックスで四季を分たず上陸する畫家が殆んど展覽會を開催して行く、大連での個展の數が約七十四一箇月平均六回となり開催期間を三日に計算すると二百十日であり一年の三分の二が展覽會開催であり大洪水と云はざるを得まい。是等の個展が齎らす滿洲畫壇への影響は一

向數の割合に意識は疎して行かない、所謂賣繪主義の個人展往來は一般購買者も迷惑であり藝術人にも刺戟は無い。

(二科の滿洲公團) 今春四月滿鐵社に我が社が多額の犠牲を拂ひ昨年度二科展の優品を大連、新京、奉天に招來し同展のもつ文化的藝術を紹介した。個ら石井柏亭(前)、藤田昭治、田口省吾會員と栗原信、松本弘二會友の來滿講演會を開き新らしき吸收を急ぎつゝある滿洲に多大の意義を達し結果に於て滿洲より二科出品者の激増を見た。

(獨立展三人展) 同會會員清水澄之、福澤一郎、鈴木保徳の來滿は二科に赴けて三人展開催、是等の尖銳組が見せて呉れたシユールレアリスム、ネオクラシスム、フォビスム等は鋭敏な若き洋畫家連に多大の收穫を與へて過した。

(帝展改組問題) 日本美術界空前の大騒動を演じた帝展改組の餘波は我が滿洲にも波及し及した。十名近くの勳帝展出品者の起房もあり今後の方針に就いても多大の注目をひき美術人間に各種の喜憂の色があつたが何れも今度の改組案には不満の積りであつた。

(千五百年前の繪畫發見) 本春五月安東省公署教育廳長伊藤氏により國安縣に在る千五百年前の古墳内から今繪畫色彩華麗な高句麗文化の遺物繪畫が發見され奉天の

不用意な投球する間に本塁を衝いて生還、高橋遊助に高須併殺、實業P日野田(松尾の代打)三振、松木、P日野田(多村の代打)とも右飛。

Table with columns for batting statistics: 打 (Hits), 得点 (Runs), 安打 (Hits), 打点 (Runs Batted In), 三振 (Strikeouts), 四球 (Walks), 盗塁 (Stolen Bases), 犠牲打 (Sacrifices), 捕逸 (Errors), 失点 (Runs Allowed), 失球 (Runs Scored).

第三回戦
六月十五日午後四時五分開始
六月十七日午後四時二分開始
六月十八日午後四時四分開始

Table with columns for batting statistics: 打 (Hits), 得点 (Runs), 安打 (Hits), 打点 (Runs Batted In), 三振 (Strikeouts), 四球 (Walks), 盗塁 (Stolen Bases), 犠牲打 (Sacrifices), 捕逸 (Errors), 失点 (Runs Allowed), 失球 (Runs Scored).

第四回戦
六月十七日午後四時二分開始
六月十八日午後四時四分開始
六月十九日午後四時開始

五六八

Table with columns for batting statistics: 打 (Hits), 得点 (Runs), 安打 (Hits), 打点 (Runs Batted In), 三振 (Strikeouts), 四球 (Walks), 盗塁 (Stolen Bases), 犠牲打 (Sacrifices), 捕逸 (Errors), 失点 (Runs Allowed), 失球 (Runs Scored).

尾崎(球)川久保、井口(壘)三氏、於實業球場
六月十八日午後四時四分開始

Table with columns for batting statistics: 打 (Hits), 得点 (Runs), 安打 (Hits), 打点 (Runs Batted In), 三振 (Strikeouts), 四球 (Walks), 盗塁 (Stolen Bases), 犠牲打 (Sacrifices), 捕逸 (Errors), 失点 (Runs Allowed), 失球 (Runs Scored).

決勝戦
六月十九日午後四時開始
六月二十日午後四時開始

五六九

Table with columns for batting statistics: 打 (Hits), 得点 (Runs), 安打 (Hits), 打点 (Runs Batted In), 三振 (Strikeouts), 四球 (Walks), 盗塁 (Stolen Bases), 犠牲打 (Sacrifices), 捕逸 (Errors), 失点 (Runs Allowed), 失球 (Runs Scored).

第五回戦
六月十八日午後四時四分開始
六月二十一日午後四時開始

Table with columns for batting statistics: 打 (Hits), 得点 (Runs), 安打 (Hits), 打点 (Runs Batted In), 三振 (Strikeouts), 四球 (Walks), 盗塁 (Stolen Bases), 犠牲打 (Sacrifices), 捕逸 (Errors), 失点 (Runs Allowed), 失球 (Runs Scored).

第六回戦
六月十九日午後四時開始
六月二十一日午後四時開始

五六九

八月二十八日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
八月二十九日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
八月二十九日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
八月二十九日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
八月二十九日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0

九月一日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月三日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月四日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月七日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月八日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0

九月九日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月十日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月十四日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月十五日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月十六日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0

九月十八日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月十九日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月二十三日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月二十四日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0
九月二十八日	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0	實業 0 0 0	生命 0 0 0	日本 0 0 0

軟式野球

第一回全市學童野球大會 (期日)十月五日(場所)滿俱球場(主催者)滿日(主)新開



第三回大連滿鐵各區所對抗軟式大會 出場チーム五十二 五月二十四日より開始



第二回滿鐵色別對抗軟式野球部 (期日)七月二十七日—三日間 (場所)滿俱球場(主催者)滿鐵

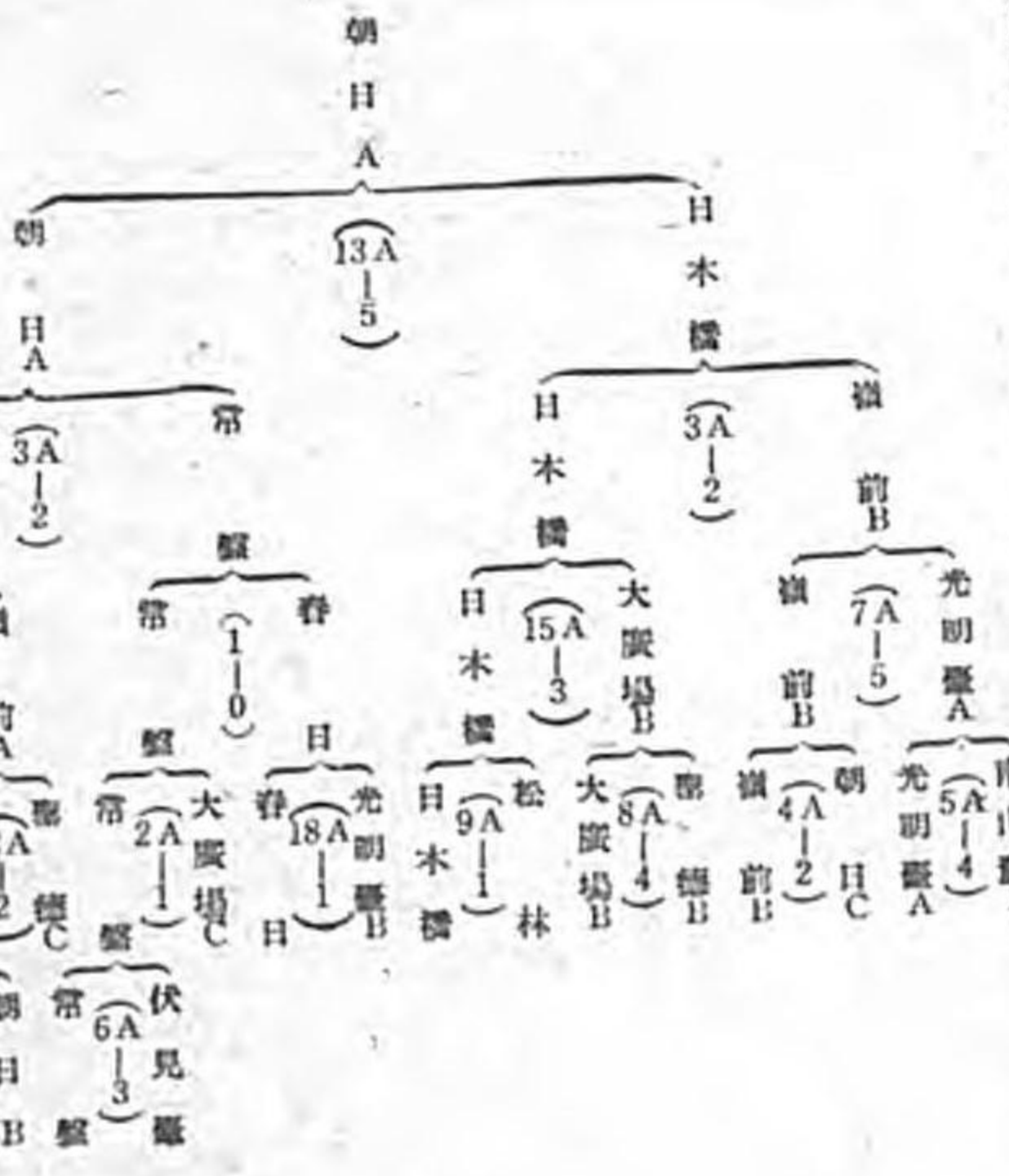


第二回全滿鐵都市對抗軟式野球部 (期日)八月十八日—三日間 (場所)奉天國際球場(主催者)滿日



第二回全市學童野球大會 (期日)九月七日—一週間(場所)實滿南球場(主催者)滿日

小學生新聞



陸上競技

(九年四月より十年九月まで)

第十回戦績リレー

(期日)十月十七日午後一時
 (場所)旅順(主催者)關東體育
 都市對抗(1)大連(松山、久米、關戸志水)二時間二分二十五秒(2)旅順(一般)大連(松山、久米、關戸志水)二時間二分二十五秒(3)師範學堂同窓會(中學校)旅順高公(藤、安、單、手)一時間五十分五秒

第一回投擲團體競技

(期日)四月十三日午後四時半
 (場所)大連運動場(主催者)D
 A C
 マ槍投アレッシンヌマン 四米79
 (吉住)49米78 奥野45米61 門田44米40
 マ圓盤投 友會98米18 (井下)32米52 柴田31米15 大澤34米51
 マ砲丸投 西分會34米29 (伊藤)11米31 數根10米79 吉村12米20
 マ鐵槌投 西分會81米85 (嶺山)26米74 永澤25米61 吉村29米47

第一回吉林新開驛傳競走

(期日)四月十九日午前七時
 (場所)吉林新開驛 二百二十軒
 (主催者)新開驛日、盛京時報兩社
 日本人チーム一頭大連(北本、村岡、志水、宮水、三隅、杉山、森、渡邊、八重樫) 8時間42分21秒
 二頭新開驛 9時間31分44秒
 三人チーム一頭奉天 9時04分24秒
 二頭吉林 9時間53分10秒
 道濱江四府錦州

滿日の蔡大嶺間フル・マラソン

(期日)四月二十八日午後一時
 (場所)滿日本社前—蔡大嶺間
 コース(主催者)滿日
 マ一部(一般) (1)志水政市(滿鐵鐵道建設局) 2時間46分55秒(2)北本健一(滿鐵地方部) 2時間52分57秒(3)金壽玉(大同報社) 2時

第二回奉天各團對抗競技

(期日)五月一日午後一時(場所)奉天國際運動場(主催者)奉天體育
 マ八百米費(滿) 2分09秒2
 高跳岡田(Y) 1米75 A
 砲丸投郭(滿) 11米47
 百米費(總) 11秒5
 高跳岡田(Y) 16秒3
 槍投胡(滿) 52米72
 千五百米金

第二十五回滿鐵運動會

(期日)五月五日午前八時(場所)大連運動場
 マ八百米濱田(綠) 2分05秒8
 走市跳張(赤) 7米24
 百米西(赤) 10秒7
 滿洲新
 砲丸投吉村(黃) 12米49
 千五百米濱田

間53分01秒(4)滿内一天(滿洲牧場) 2時間53分33秒(5)李傳義(豐年製油) 2時間57分41秒(6)宮水輝一(滿鐵鐵道工場) (7)近藤庄作(滿鐵工場) (8)王德富(南滿倉庫) (9)末水力(滿洲牧場) (10)榮在昇(明治堂)
 (明賞) (1)韓思讓(金農) 2時間53分43秒(2)蘇良王(旅高) 2時間57分47秒(3)杜永財(金農) 3時間02分47秒(4)千德堂(金農) 3時間14分29秒(5)林珍(大連一中) 3時間15分53秒(6)大津誠(旅中) (7)岡崎慶男(大連一中) (8)駒正存(旅中) (9)野館格二(旅中) (10)劉古德(金農)

總局	8 8 8 11 1 8 3 8 0 9 5 1 3 6 6
Y	4 9 5 3 11 6 10 10 8 5 5 7 9 10 4
滿洲國	8 4 8 7 6 7 8 3 1 7 3 3 9 5 2
Y	105.5
Y	105.5
Y	112.5

(綠) 4分30秒4
 (白) 38米42(滿洲新) 2百米西(赤) 21秒4(滿洲新) 走高跳武内(赤) 1米85
 一萬米志水(綠) 33分84秒5
 練高跳久恒(黃) 3米70
 四百米張(赤) 51秒1
 槍投出島(海老茶) 50米74
 高障岡武内(赤) 16秒3
 千米走赤組(太田、松田、武内、西) 2分03秒3
 (綠) 1 3 3 2 1 1 0 2 4 3 1 6 5 1
 (白) 2 1 2 3 3 6 5 3 2 2 2 5 1 4
 (黃) 3 2 4 4 2 5 4 4 3 5 4 1 2 2
 (綠) 6 4 1 5 6 2 2 1 6 1 3 2 4 3
 (黃) 4 5 5 6 5 3 3 5 1 6 5 4 3 5
 (赤) 5 6 6 1 4 4 6 6 5 4 6 3 6 6

關東州外選手權大會

(期日)五月十二日午後一時
 (場所)奉天國際運動場(主催者)奉天體育

者)南滿洲陸協

マ百米費(奉) 11秒5
 八百米于(新) 2分3秒4
 高障岡田(奉) 16秒4
 二百米費(奉) 23秒6
 千五百米于(新) 4分14秒2
 四百米山田(奉) 53秒2
 五千米唐(奉) 16分36秒2
 走高跳岡田(奉) 1米83
 砲丸投齋藤(奉) 11米75
 槍投胡(奉) 53米38
 走市跳岡田(奉) 6米78
 圓盤投山田(奉) 36米10
 練高跳伊藤(奉) 3米60
 三段跳岡田(奉) 14米05

關東州内選手權大會

(期日)五月十九日午後一時
 (場所)大連運動場(主催)南滿洲陸協
 マ百米費選A組張 11秒2
 B組松田 11秒2
 C組西 11秒1
 八百米瀧口 2分10秒2
 一萬米土井田 40分35秒2
 高障岡武内 16秒1
 百米費勝西 10秒7
 滿洲新
 千五百米關戸 17分49秒2
 四百米西 50秒5
 中障岡吉住 1分01秒5
 五千米關戸 17分49秒2

第三回州内外對抗競技會

(期日)五月二十六日午後一時
 (場所)奉天國際運動場(主催者)南滿洲陸協
 マ八百米于(外) 2分14秒6
 走高跳武内(內) 1米75 A
 砲丸投吉村(內) 11米83
 百米費(外) 19秒1
 高障岡米津(外) 19秒3
 槍投吉住(內) 51米02
 千五百米于(外) 3分36秒
 四百米費走州內(西、清水、吉住、張) 45秒8
 走市跳岡田(外) 6米30
 四百米張(內) 56秒8
 圓盤投林(內) 35米17
 練高跳久恒(內) 3米40
 A 中障岡米津 1分1秒6
 B 二百里張(內) 24秒4
 五千米唐

第一回大連滿鐵對滿洲學聯

(期日)五月二十六日午後一時
 (場所)旅順兒童運動場(主催者)滿洲學聯
 マ百米太田(大) 11秒2
 砲丸投茅野(學) 10米99
 走高跳樹本(大) 1米69
 高障岡渡邊 18秒7
 圓盤投渡邊(大) 35米90
 千五百米北本(大) 4分59秒7
 走市跳渡邊(大) 6米37
 四百米界(大) 57秒0
 槍投渡邊(大) 50米
 千五百米北本(大) 1分57秒3
 三段跳清水(大) 12米85
 八百米費走大連滿鐵(柴田、太田、界、田中) 1分39秒4

(外) 17分30秒
 三段跳金子(內) 13米43
 (內) 8 5 15 11 10 11 6 6 11 12 5 8 6 13 11 6 158
 12 15 11 10 11 6 6 11 12 5 8 6 13 11 6 158
 米津投米津投米津投米津投米津投
 百島丸 練 百島丸 練 百島丸 練
 八走砲百島丸千走四砲中二五三砲 合
 13 5 6 10 10 15 15 10 9 5 13 15 8 10 2 166
 11 13 15 8 10 2 166

(満洲)
15 10.5
12 15.13
11 14.12
15 13.11
13 4
米投 砲投 米投 砲投 米投
丸 砲 砲 丸 砲 丸
百砲 砲 砲 砲 砲 砲
百砲 砲 砲 砲 砲 砲
6 11.5
8 6.8
10 7.9
9 6.5
7 8.1
92.5 (合計) 158.5

**第二回鐵路總局對
鐵道工場**

(期日)六月二日午後一時(場
所)奉天國際運動場
▽八百米渡邊(總)2分06秒4
走巾跳香川(總)6米45
砲丸(總)11秒4
砲丸投大越(總)
11米88
走高跳小宮(總)1米80
▽千五百米渡邊(總)4分31秒8
▽圓板板大越(總)34米05
▽四百米渡邊(總)52秒3
砲丸投伊藤
(總)3米05
高障砲二宮(工)記
録なし
槍投胡(總)54米28
五
千米村岡(工)17分27秒3
八百
米鐵道鐵道工場(岩清水、小宮、
宮、廣瀬)1分30秒0

(工場)
5 4 5 4 5 5 3 3 3 5 4 6 4 56
米投 砲投 砲投 砲投 砲投 砲投
百中 丸 砲 砲 砲 砲 砲
八走 百砲 砲 砲 砲 砲 砲
5 6 5 6 5 5 7 7 7 5 6 4 1 69 (合計)

**第五回滿洲學生
選手権**

(期日)六月九日午後一時(場
所)大連運動場(主催者)滿洲
學聯
▽百米藤島(工專)11秒2
砲丸
板山田(醫大)11米22
走高跳
山田(工專)4分47秒4
走高跳
翠(醫大)高田(醫大)1米70
砲丸
砲丸投山田(醫大)36米38
四百米
廣瀬(醫大)53米6
走巾跳翠
(醫大)6米49
高障砲翠(醫大)
17秒7
砲丸投高田(醫大)3米
10
五千米村岡(工大)18分29秒0
槍投茅原(工大)46米36
八百
米鐵道工專(稻葉、辻、光田、
藤島)1分30秒8

(醫大) (工大) (工專)
4 4 3 7 5 5 6 4 6 1 5 1
3 5 2 1 5 5 2 3 4 1 4 4 3
4 1 5 0 3 1 2 3 5 1 5
米投 砲投 砲投 砲投 砲投 砲投
丸 砲 砲 砲 砲 砲
百砲 砲 砲 砲 砲 砲
百砲 砲 砲 砲 砲 砲
(合計) 47 36.5 35.5

第十四回奉撫對抗

(期日)六月二十三日午後一時
(場所)奉天國際運動場(主催
者)奉天體協
▽百米米津見(撫)11秒6
砲丸
投大越(奉)11米78
千五百米渡
中(奉)4分23秒(大會新)
走巾
跳岡田(奉)6米74
砲丸投大石
(奉)34米67
高障砲米津見(撫)
15秒7(參考)
槍投岡田(奉)50
米62
四百米米津見(兄)(撫)51秒
8(大會新)
走高跳岡田(奉)1
米77(大會新)
五千米金(奉)16
分47秒4(大會新)
砲丸投伊藤
(奉)3米50
千五百米走撫順(田
中、三浦、米津見、松本成)2
分04秒4(大會新)

(奉天)
1 5 5 3 4 3 5 2 3 5 5 0 41
米投 砲投 砲投 砲投 砲投 砲投
丸 砲 砲 砲 砲 砲
百砲 砲 砲 砲 砲 砲
百砲 砲 砲 砲 砲 砲
5 1 1 3 2 3 1 4 3 1 1 5 30 (合計)

**第六回リレー
ニバル**

(期日)六月三十日正午(場所)
撫順永安堂競技場(主催者)撫
順體協
▽百米三部林(育成)11秒6、二
部大久保(鐵工)11秒4、一部張
(DAC)11秒1
砲丸投二部遠
藤(四平街)一部吉村(DAC)1
米43
四百米鐵道三部育成46秒
1
二部開原45秒6
一部(DAC)
45秒1
高障砲二部二宮(鐵工)
一部米津(撫順)15秒8
千五百米
走三部育成2分12秒7
砲丸投
三部周(南滿中)28米42
二部白石
(鞍山)35米71
一部林(DAC)36
米92
千五百米二部永井(鐵工)
4分39秒2
一部濱中(奉天)4分
20秒0(大會新)
八百米三部酒
井(育成)2分18秒4(大會新)
走巾跳二部林(育成)6米21
二部
廣瀨(四平街)6米40
一部張(D
AC)6米84
八百米鐵道二部
開原1分34秒5
一部DAC1分
34秒6
三千米團體競走(三部)
10分33秒6
三千米障礙團體競
走二部鐵工13點
一部奉天12點
槍投山島(鐵工)46米88
一部河村
(奉天)46米73
走高跳三部呂

(南滿中)1米00、二部橋山(四
平街)1米75
一部竹内(DAC)
1米95(滿洲新)
砲丸投二部三
上香西(公主嶺)8米30
一部久恒
(DAC)3米75(大會新)
千六
米鐵道二部開原3分36秒1
一部
(DAC)3分26秒8
砲丸投順
位(三部)1育成(16點)2南滿中
學堂(12點)3撫中(8點)(二部)
1鐵道工場(17點)2開原(12點)
8四平街(10點)4鞍山(9點)5
南滿工專(6點)6公主嶺(2點)
(一部)1DAC(23點)2奉天體
協(16點)3撫順體協(10點)

**八幡製鐵對大連
滿鐵戰**

(期日)八月三日午後三時半
(場所)大連運動場(主催者)滿
鐵陸上競技部
▽百米吉住(滿)11秒1
千五百
米濱田(滿)4分17秒9
高障砲
武內(滿)16秒0
千五百米小林
(八)16分18秒1
八百米鐵道
鐵(松田、井上、西、吉住)1分30
秒5(滿洲新)
砲丸投甲斐(八)

**渡敵日本學聯激
勵競技會**

(期日)七月六日午後三時半
(場所)大連運動場(主催者)南
滿陸協
▽百米(1)西(滿)10秒6(滿洲新)
(2)鈴木(學)10秒7(3)張(滿)(4)矢
澤(學)(5)太田(滿)▽砲丸投(1)吉
村(滿)12米61(2)菊本(學)19米52
(3)安部(滿)12米30(4)林(滿)12米
06(5)伊藤(滿)11米59(6)朝霞(學)
11米45
八百米(1)青地(學)1分
58秒9(2)田中(學)1分59秒2(3)
瀧口(滿)▽走高跳(1)朝霞(學)竹
內(滿)1米90(2)村上(學)田中
(學)1米85(5)藤田(學)樹本(滿)
1米80
二三百米(1)西(滿)2分2
(2)鈴木(學)2分4(3)吉住(滿)(4)
張(滿)(5)矢澤(學)(6)谷口(學)(7)
池田(滿)▽高障砲(1)村上(學)16

(場所)奉天國際運動場(主催
者)奉天體協
▽百米對崎(鮮)11秒7
砲丸投
伊藤(奉)3米05
高障砲山田
(奉)16秒
走高跳岡田(奉)1米
80
砲丸投對崎(鮮)38米65
走巾
跳岡田(奉)6米80
四百米山田
(奉)52秒4
槍投真田(鮮)53米
79
千五百米李(鮮)4分15秒
7
四百米鐵道鮮(森、佐古、
岩崎、山本)44秒7

(鮮) (奉天)
8 5 3 7 5 6 3 5 5 4 4 50.5
米投 砲投 砲投 砲投 砲投 砲投
百中 丸 砲 砲 砲 砲 砲
百砲 砲 砲 砲 砲 砲
百砲 砲 砲 砲 砲 砲
2 5 7 3 5 4 6 5 5 6 1 44.5

大連陸上選手権

(期日)七月二十八日午後二時
(場所)大連運動場(主催者)D
AC
▽百米光田10秒9
八百米濱田
2分07秒8
砲丸投吉村11米89
走高跳武内1米90
千五百米
砲北本10分32秒6(滿洲新)
槍

投擲山47米... 走中跳金子6米82... 四百米張50秒... 四百米張阿部3米81... 四百米張阿部3米81... 八百米張走北斗... 奉天對八幡製鐵所戰... 東京文大對全滿洲戰... 第三回滿鮮對抗...

(朝)四百米(1)張(滿)61秒... 井上(滿)3(西)滿(4)金(朝)四... 四百米(1)米津(滿)56秒... 住(滿)安(朝)4(李)朝... 五百米(1)文(朝)16分23秒... 八百米(1)張(滿)4(北)滿... 米津(滿)1(張)滿(張)吉住... 太田(朝)2分01秒... 投(朝)40米76(2)林(滿)3... 野(朝)4(山)滿(滿)林(朝)久... 恒(滿)3米80(2)岩(朝)3(阿)部... 恒(朝)岩(朝)走中跳(1)金子... (滿)6米78(2)張(滿)3(渡)滿(滿)...

水上競技 (十年度)

州外都市對抗

(期日)七月二十一日午後一時... 奉天(一)〇九點(二)遼遼(二一)點... 州內外對抗州內豫選... 第八回州內外對抗...

州內外對抗州內豫選

(期日)七月二十八日午後一時... 州內(能野、增尾、小平、市川) 11分06秒9... 三百米(外)1分20秒8... 八百米(外)1分20秒8... 自由型五百米(外)2分29秒0... 自由型二百米(外)1分55秒0...

第八回州內外對抗

(期日)八月四日午後一時... 自由型二百米(外)5分28秒... 自由型四百米(外)10分5分... 自由型八百米(外)19分10秒... 自由型一千五百米(外)33分... 自由型二千五百米(外)57分...

第七回全滿中等校對抗

(期日)八月十一日午後一時... 自由型二百米(外)2分29秒0... 自由型四百米(外)4分55秒0... 自由型八百米(外)9分55秒0... 自由型一千五百米(外)16分55秒0... 自由型二千五百米(外)24分55秒0...

全滿洲選手權

(期日)八月十八日午後一時... 自由型二百米(外)2分29秒0... 自由型四百米(外)4分55秒0... 自由型八百米(外)9分55秒0... 自由型一千五百米(外)16分55秒0... 自由型二千五百米(外)24分55秒0...

一中(仁田、山口、水山)4分0秒3(2)大連商業(3)自由型四百米(1)小川(奉)5分38秒9(2)川崎(奉)5分01秒5(3)自由型百米(1)山本(奉)1分05秒5(2)水山(大)1分07秒5(3)背泳百米(1)北瀬(奉)35秒5(2)瀧新(3)出井(安)30秒5(3)女子自由型二百米(1)藤吉(奉)3分13秒3(2)瀧新(3)倉野(大)3分19秒4(瀧新)八百里(大)3分19秒4(瀧新)山本、米山)10分20秒4(瀧新)平泳二百米(1)山口(大)3分03秒5(2)大竹(安)3分06秒4(3)女子平泳二百米(1)若尾(奉)3分38秒6(2)若尾(奉)3分40秒6(3)自由型二百米(1)川崎(奉)2分35秒4(2)市川(大)2分35秒5(3)自由型千五百米(1)米山(奉)2分21秒1(瀧新)小川(奉)2分46秒2(2)女子自由型百米(1)土屋(大)1分25秒0(2)藤吉(奉)1分25秒4(3)背泳百米(1)出井(安)1分20秒8(2)細川(大)1分21秒5(3)自由型五十米(1)北瀬(奉)28秒1(2)水山(大)29秒3(3)女子自由型五十米(1)山内(大)37秒2(2)

土屋(大)37秒5(3)平泳百米(1)山口(大)1分23秒0(2)大竹(安)1分25秒6(3)女子平泳百米(1)若尾(奉)1分41秒7(瀧新)石井(旅)1分48秒9(2)女子二百米(1)大連(黒瀬、吉橋、土屋、山内)2分33秒9(2)奉天(北瀬、山本、川崎、米山)1分54秒7(瀧新)大連一中(1)B1分59秒8

第二回黒石磯傳家 庄間競泳

(期日)八月十八日午後一時半(場所)黒石磯傳家庄間五軒五百米(主催者)黒石磯水泳部(1)随1時間44分26秒4(2)大藤1時間48分3秒(3)藤田1時間49分33秒5(4)佐藤1時間49分52秒5(5)平野1時54分0

州内中等學校水泳大會

(期日)九月九日午前十時(場所)旅順プール(主催者)関東體研(1)自由型千五百米史克(二中)22

氷上競技

(昭和十年度)

分04秒4(大會新)自由型五十米(大商)20秒4(2)平泳百米史克(二中)1分25秒3(大會新)自由型二百米小平(大商)2分41秒4(3)背泳百米細川(大商)1分25秒(4)自由型百米林(大商)1分08秒8(3)自由型四百米史克(二中)5分28秒(瀧新)平泳二百米史克(二中)2分58秒6(瀧新)二百米リレー旅中2分18秒8(3)三百米ドレーリ1分22秒3分54秒9

奉撫對抗氷滑戰

(期日)二月六日午前十時(場所)瀧水安楽リンク(主催者)瀧水、奉天體協(1)千五百米河村(奉)2分36秒9(瀧新)五百米三代(撫)48秒4(4)四千米安達(奉)9分36秒5(瀧新)女子五百米瀧(奉)55秒8(日本、瀧新)

全滿氷上大連豫選(期日)二月九、十兩日午前七時(場所)鏡ヶ池リンク(主催者)大連水協(1)五百米近田(二中)53秒2(2)五千米關戸(市中)10分55秒3(3)女子五百米北澤(瀧生高女)1分10

全滿氷上選手權大會

(期日)二月十二、十三日午前九時(場所)奉天國際運動場リンク(主催者)瀧水水協

スビード

五百米(1)河村(奉)48秒1(2)南洞(奉)48秒2(3)木谷兄(安)48秒5(4)三代(撫)安達(奉)48秒7(5)平田(奉)49秒6(6)女子五百米(1)瀧(奉)55秒9(日本、瀧新)(2)瀧(奉)56秒1(日本、瀧新)(3)岩田(撫)58

第一回氷上都市對抗

(期日)二月十七日午前九時(場所)新西公園リンク(主催者)新京體協

スビード

五百米三代(撫)47秒6(2)女子五百米(奉)55秒1(3)五百米石塚(撫)10分07秒7(4)千五百米木谷兄(安)2分47秒0(5)一萬米木谷兄(安)2分03秒6(6)三千里リレー安東(執行大團)木谷兄(奉)5分48秒8(7)千五百米(奉)3分07秒4(8)總得點安東一九點

ホツケ

大10(四)三(六)大連瀧新(一)一(六)新(四)新(四)大(七)五(一)一(五)新(四)大(七)五(一)一(五)新(四)

全滿中等學校アイスホツケ大會

大7(五)一(一)五(一)新(四)大(七)五(一)一(五)新(四)

秒2(日本、瀧新)木谷(奉)59秒2(5)江島(奉)59秒2(4)五千米(1)安達(奉)9分31秒5(瀧新)(2)南洞(奉)9分39秒2(瀧新)(3)河村(奉)9分47秒5(4)石塚(撫)10分07秒8(5)三代(撫)10分10秒0(6)千五百米(1)河村(奉)2分35秒5(2)南洞(奉)2分37秒6(3)安達(奉)2分38秒3(4)木谷兄(安)2分44秒9(5)木谷弟(安)2分45秒1(6)女子千五百米(1)瀧(奉)3分03秒6(日本、瀧新)(2)瀧(奉)3分07秒3(3)岩島(奉)3分07秒3(4)木谷(奉)3分07秒7(5)江島(奉)3分11秒9(6)一萬米(1)安達(奉)19分16秒8(瀧新)(2)南洞(奉)20分02秒5(3)河村(奉)20分16秒3(4)三代(撫)20分30秒6(5)杜(新)20分34秒4(6)總得點位(1)安達(奉)216.46(2)南洞(奉)218.79(3)木谷(奉)219.49(4)三代(撫)226.32(5)木谷(奉)227.24(6)女子總得點位(1)瀧(奉)117.10(2)南洞(奉)118.53(3)岩島(奉)121.80(4)木谷(奉)123.10(5)江島(奉)123.76

(期日)一月六日午前十一時
 (場所)奉天滿洲醫大リンク
 (主催者)滿洲醫大
 奉天中學 (奉天中學)
 新京商業 (3-2) (撫順中學)
 新京商業

庭

硬式庭球

滿鮮對抗戰
 (期日)五月二十六日午後一時
 (場所)中央公園テニスコート
 (主催者)滿鐵硬球部
 鮮鐵 滿鐵
 ○三木上甲 216 落合大石
 614
 神代山口 614 田賀
 457 4
 河保 村田 613 國小 松寺
 613 國小 松寺
 ○上 甲 612 茶 國

問(場所)中央公園リンク(主催者)滿日
 奉天中學 日本橋小 南山小
 南山小 日本橋小 南山小
 南山小 日本橋小 南山小
 南山小 日本橋小 南山小

球

(十年度)

山口 316 志賀
 河村 613 田賀
 三木 614 落合
 神代 616 國松
 保田 416 小寺
 (期日)六月二日正午(場所)中央公園テニスコート(主催者)大連新聞社

市 中 滿
 石野 1316 阿部
 保田 613 田賀
 石野 614 田賀
 小 林 446 阿部
 田賀 614 田賀
 安 田 614 田賀
 保 田 614 田賀
 鳥 羽 613 國松
 太 田 614 小寺
 (期日)九月一日午後一時(場所)奉天茨町コート(主催者)滿洲體協
 州外軍 州外軍
 大 石 216 中 滿
 茶 國 517 中 滿
 小 松 寺 613 馬 場
 國 松 寺 613 馬 場

全滿選手權大連選
 (期日)九月二十四日午後一時
 (場所)中央公園テニスコート
 (主催者)滿洲體協
 シンケルス 准優勝
 太田 大中 (610) 國松 滿鐵
 小寺 滿鐵 (613) 保田 三井
 太田 大中 (614) 小寺 滿鐵
 小寺 滿鐵 (613) 保田 三井
 全滿選手權
 (期日)九月二十九日(場所)大連

連中央公園滿鐵コート(主催者)滿洲體協

○ダブルス決勝戦
 小 松 寺 614 國松 田賀
 國松 田賀 614 國松 田賀
 シンケルス決勝戦
 太 田 612 金 慶大
 612 金 慶大

軟式庭球

第二十回關東州内大會

(期日)五月十九日午前九時
 (場所)北公園テニスコート
 (主催者)滿日
 准優勝戦
 吉田 滿鐵 4-1 柳 部 (滿鐵)
 川安 元 滿鐵 4-2 内 倉 滿鐵
 青元 吉 滿鐵 4-0 川 元 滿鐵
 全滿中學校庭球大會
 (期日)六月十七日午後一時
 (場所)南滿工專コート(主催者)南滿工專
 大連二中 3-0 大連一中
 大連南 3-0 大連一中

運動競技—庭球

大連市中對滿鐵戰

旗幟中學 3-0 大連一中
 旗幟中學 3-1 大連一中
 大連二中 2-1 大連商業
 旗幟中學 2-0 大連二中
 大連二中 2-1 旗幟中學
 旗幟中學 3-0 大連商業
 旗幟中學 2-1 旗幟中學
 (1)旗幟中學十勝 (2)大連二中八勝
 (3)大連商業六勝 (4)旗幟中學五勝
 (5)大連一中一勝

撫順協對大連滿鐵戰

(期日)六月三十日午前十時
 (場所)撫順南臺町コート(主催者)撫順協(上部か撫順)
 ○第一回戰 橋本兄弟(0-1) 安田川元、野崎正田(1-4) 西野與見、宇川松本
 (4-0) 川竹矢田、中野安戶(4-2) 大
 吉柳、森安部(4-0) 坂元立川、坂田
 風(0-4) 野丸山、藤田善造(1-4) 安
 田川元、中野安戶(4-3) 柳部與見、森
 木安部(4-2) 齊藤丸山、中野安戶(4-
 1-0) 工藤内倉、森木安部(4-2) 安田
 川元

大連滿鐵對大連實業戰

(期日)七月二十一日午後零時
 五十分(場所)北公園テニスコ
 ート(主催者)滿日
 第一回戰

滿鐵市中

○安田川元 4-3 日高林
 兩部與見 2-4 山島伊藤
 森川宮澤 0-1 泉因藤
 川竹矢田 1-4 青木野中
 坂元立川 5-3 山田江橋
 野崎松繁 捕 藤方三浦
 ○齊藤丸山 4-2 松岩秋山
 ○元吉柳 (4-1) 返田菊川
 ○工藤内倉 4-0 上田下重

全滿選手權

(期日)九月八日午前八時(場所)大連北公園テニスコート
 (主催者)滿洲體協
 男子の部
 准優勝戦
 内倉 吉 滿鐵 4-3 柳 部 (滿鐵)
 川安 元 滿鐵 4-2 内 倉 滿鐵
 内倉 吉 滿鐵 4-1 川 元 滿鐵

女子の部

准優勝戦 乃美真由(旗高女) 4-1
 金子片岡(新京) 大野高宮(神明高) 4-
 1-3 植野大沙研
 ○優勝戦
 大野(神高) 4-2 乃 美(旗高女)
 高宮(明高) 4-1 西(旗高女)
 撫順對大連定期戰
 (期日)九月二十二日午前十時
 (場所)大連北公園コート
 大連 旗 高
 兩部、與見(2-4) 中野、伊藤
 ○坂元、立川(4-2) 鈴木、宮水
 ○齊藤、丸山(4-3) 坂田、百武
 ○元吉、小田島(4-0) 野崎、正田
 ○安田、川元(4-0) 藤田、藤川
 ○工藤、内倉(4-1) 森木、安戶
 ○川竹、矢田(4-1) 國ノ十、山内

全滿庭球大會

(期日)九月二十九日(場所)奉天藤浪町コート(主催者)滿日
 第一回戰
 天 3-1 旗 高
 大 連 3-1 旗 高
 瓦 房 3-1 旗 高
 木 房 旗 高(不戰一勝)
 准優勝戦

大連 連3—0 木 瀋湖
瓦房 連3—2 嶺 天
優勝 連3—0 瓦房 店

排

球

(十年一月より九月まで)

全滿男子排球選手権

(期日)七月七日午前九時(場所)大連運動場コート(主催者)滿洲體協

第一回戦
百吉 2 (二二二一三) 0 朝日俱樂部
俱樂部 2 (二二二一六) 0 部
滿洲計費 2 (二二二一七) 1 安東電氣
昭和製鋼 2 (二二二一三) 0 梅田體協
滿洲大 2 (二二二一六) 1 全新京
鐵道工場 2 (二二二一五) 0 滿鐵婦女
大北斗 2 (二二二一四) 1 大南クラブ
第二回戦
百吉 2 (二二二一九) 0 奉天鐵路
俱樂部 2 (二二二一七) 0 總局
昭和製鋼 2 (二二二一八) 0 滿洲計費

大連 連 瓦房 店
安田、川元(4-0) 櫻木、上松
工業、内倉(4-0) 川藤、平山
元吉、野中(4-0) 野淵、村野

鐵道工場 2 (二二二一三) 0 昭和製鋼
滿洲大 2 (二二二一七) 0 大北斗
優勝 2 (二二二一六) 0 滿洲大
昭和製鋼 2 (二二二一六) 0 滿洲大
鐵道工場 2 (二二二一六) 1 百吉俱樂部
優勝 2 (二二二一七) 0 昭和製鋼

第六回全滿鐵體育

(期日)八月十八日午前九時(場所)奉天國際競技場(主催者)滿日

A組優勝 2 (二二二一六) 0 昭和製鋼
工場工作 2 (二二二一七) 0 總局工作
B組優勝 2 (二二二一七) 0 總局工作
工場工作 2 (二二二一七) 0 總局工作
優勝 2 (二二二一三) 50 計費業務

女子
リーグ戦の結果本社セバ9三戦三勝して優勝
全滿排球優勝大會
(期日)九月二十四日午前十時(場所)大連運動場(主催者)大連基督教青年會

優勝 2 (二二二一四) 0 昭和製鋼
大連滿鐵 2 (二二二一九) 0 所
一回戦 2 (二二二一七) 0 工作課

籠

球

(十年九月まで)

昭和九年度全滿籠球選手権

(期日)十月二十八日午前九時(場所)大連一中コート(主催者)滿洲體協

一回戦
イグル 47 (二八八一八) 23 Y M C A
大連一中 35 (一九一九) 24 工
優勝 2 (二二二一五) 24 工

優勝 2 (二二二一九) 0 第三作業
鐵道工場 2 (二二二一九) 0 場
優勝 2 (二二二一九) 0 場
鐵道工場 2 (二二二一九) 0 場
優勝 2 (二二二一九) 0 場

優勝 2 (二二二一九) 0 場
鐵道工場 2 (二二二一九) 0 場
優勝 2 (二二二一九) 0 場
鐵道工場 2 (二二二一九) 0 場
優勝 2 (二二二一九) 0 場

第十回全滿籠球大會

(期日)十一月十一日午前九時(場所)大連一中、二中兩屋內體育場(主催者)大連基督教青年會

中學校の部

二 中27 (二二二一九) 25 商
大 商50 (二二二一〇) 41 商
一 中44 (二二二一五) 20 新京商業
旗願高公 41 (二二二一六) 21 高 公
優勝 2 (二二二一四) 21 高 公
一 中35 (二二二一三) 25 大 商
旗願高公 43 (二二二一三) 22 中 商
優勝 2 (二二二一三) 19 旗願高公

第三回日滿對抗戦

(期日)十一月一、二日(場所)大連一中屋內體育場(主催者)滿洲體協
全 全ハルビン 38 (二二六一八) 25 全大連
全 全ハルビン 44 (二二〇一七) 29 全大連
春季リーグ戦
(期日)四月二十五日(場所)大連一中屋內體育場(主催者)大連連球聯盟

一般の部

第一回戦
旗願 36 (二二二一五) 25 旗
奉 天 2 (二二二一三) 23 旗
イグル 42 (二二二一八) 33 南滿工業
優勝 2 (二二二一五) 33 南滿工業
旗願 26 (二二二一四) 20 奉 天
イグル 42 (二二二一〇) 28 旗
優勝 2 (二二二一〇) 28 旗
イグル 29 (二二二一六) 22 旗

全滿中等學校優勝大會

(期日)五月五日午前十時(場所)工專コート(主催者)南滿工業
優勝 2 (二二二一七) 12 大連二中
大連一中 30 (二二二一四) 16 鞍山中學
大連商業 24 (二二二一七) 12 大連二中

芝罘益文商業專科來連

(期日)七月三、四日(場所)大連一中屋內コート(主催者)大連連球聯盟
文 文 36 (二八一八) 17 イグル
文 文 35 (二九一一) 22 業 旗
滿洲國留日學生
東星俱樂部來征

在滿各チーム戦

十月七日
南滿工業 39 (2311) 5 大連一中
大連 旗 11 (110) 3 大連商業
十月十四日
南滿電氣 22 (910) 5 南滿工業
南滿工業 19 (810) 3 大連 旗

東京文理科大学來連

(期日)七月十八、二十日(場所)大連一中屋內コート(主催者)大連連球聯盟
東 星 45 (二二二一六) 38 イグル
東 星 47 (二二二一七) 38 業 旗
東京文理科大学來連

ラグビー

(十年九月まで)
旗願中學 21 (1110) 0 滿鐵工業
滿鐵育成 25 (1114) 0 大連一中
大連滿鐵 84 (4638) 0 旗願工業
十月十七日
旗願工大 21 (1011) 16 大連 旗
旗願工大 41 (2714) 8 南滿電氣
大連商業 17 (611) 6 滿鐵育成

表 得 得

(1) 滿	2	2	2	2	6
(2) 工	0	0	2	2	4
(3) 工	0	0	2	2	4
(4) 三	0	0	0	0	0

第三回全滿中等學校蹴球大會

(期日)十一月三、四兩日(場所)大連運動場(主催者)滿日、滿鐵蹴球部



大連蹴球春季一夕戰

(期日)四月十四日開始—五月十二日終了(場所)大連運動場(主催者)大連蹴球聯盟

卓

球

アマチュア卓球大會

(期日)十月二十七日午前九時(場所)大連日本橋小學校體育場(主催者)滿洲卓協

關東州卓球大會

(期日)十一月二十五日午前九時(場所)青年會館(主催者)滿洲卓協

京城齒科對旅順工大

(期日)一月七日午前十時半(場所)旅順工大(上部が京齒)

大連初等職員團對抗

(期日)一月二十七日午前八時半(場所)下勝小學校(主催者)大連獎學會

第二回滿鮮對抗戰

(期日)二月六日午前十時(場所)大連滿鐵社員俱樂部(主催者)滿洲卓協

全滿卓球團體選手權

(期日)二月十日午前九時(場所)大連常盤小學校(主催者)滿洲卓協

女子卓球選手權

(期日)二月十日午後一時(場所)大連常盤小學校(主催者)滿洲卓協

全滿卓球選手權

(期日)三月三日午前九時(場所)日本橋小學校屋內體育場(主催者)滿洲卓協

日本學聯對全大連戰

(期日)四月十一日午後五時(場所)大廣場小學校屋內體育場(主催者)滿洲卓協

柔

道

第十一回滿洲有假者團體戰

(期日)十一月十八日午前九時(場所)撫順道場(主催者)滿洲柔道有假者會

全大連

唐	宮1-3川	上
唐	木1-3土	村
吉	住1-3河	田
川	村3-2洪	田
石	橋3-1中	田
石	村3-1相	田
山	田2-3川	橋
山	田3-1高	橋
石	村3-2川	上
石	橋3-2土	村
山	村0-3河	田
山	田3-10川	田
川	村1-3河	田
石	橋0-3同	上
山	田3-2同	上

全滿柔道段外團體戰

(期日)二月十七日午前十時
(場所)奉天道場(主催者)滿洲
柔道有段者會

- 一回戰奉天2-1大連警察、工事1-1
○奉天道場、撫順道場2-10大連、大連
二回戰大連2-1撫順、撫順2-1
○二回戰大連2-1撫順、撫順2-1
○大連一中、大連A2-10奉天警察、奉天
警察1-10撫順、沙河道場2-1
○成、撫順警察1-10奉天、奉順一中2-1
○大連道場、全安東2-10新立地、工
大4-1新立地警察、奉天警察2-1
○口、奉天警察1-10四平街、大連2-1
○撫中、奉天警察2-10四平街、奉天
會3-10大連二中、大連道場3-11奉天
會3-10大連二中、大連道場3-11奉天
會4-10奉天、沙河道場2-10
○中、奉天警察、抽籤勝、奉天會、奉天
工大4-10奉天警察、全安東2-11大
連道場、奉天警察、抽籤勝、大連
○四回戰大連A1-10撫順道場、工事
1-10沙河道場、全安東1-10奉天
警察、工大4-11奉天警察
○奉天警察大A1-10全安東、工大
2-10工事
○優勝戰(抽籤勝)工大

滿洲學生聯盟大會

(期日)五月十二日午前十時半

(場所)奉天滿鐵道場(主催者)
滿洲柔道學聯

旗順工大—南滿工事
滿洲工大—南滿工事
旗順工大—滿洲工大

第二十四回春季大會

(期日)四月十四日午前九時
(場所)大連滿鐵道場(主催者)

- 無段者部(1)下山(工事)(2)田中(青
成)(3)寺田(大商)
- 有段者部(1)三段坂田(因際)(2)初段新
青區(3)初段山崎(工事)

第四回全滿中等
學校柔道大會

(期日)六月二日午前九時(場
所)奉天滿鐵道場(主催者)滿
洲柔道有段者會

- 一回戰
大連商業5-11鞍山中學
奉天中學3-11大連一中
滿鐵育成4-2旗順中學
○准優勝戰
大連商業3-11奉天中學
滿鐵育成3-11新立地商業
○優勝戰
滿鐵育成3-11大連商業

第一回全滿段別
選士權

(期日)九月十五日午前九時
(場所)中央公園テニスコート
(主催者)滿日

初段の部

- 第一回戰
登利屋末二(後)足 拂竹内 京
小林 久男(右)櫻込み 全寬 河
丸岡 一男(不戰一勝)
池邊 正男(右)小外 刈李 京 後
- 准優勝戰
小村 久男(左) 櫻込 登利屋末二
丸岡 一男(選) 櫻込 池邊 正男
丸岡 一男(片) 羽 櫻 小林 久男

二段の部

- 第一回戰
須官龍太郎(判) 定 内村 清則
後藤 勇夫(前)上四方(今)村茂八郎
清水 二郎(廣)四方(因)福重 巖
南口 仁(不戰一勝)
- 准優勝戰
須官龍太郎(判) 桂 き 後藤 勇夫
清水 二郎(判) 定 南口 仁

須官龍太郎(前)上四方(清水) 二郎

三段の部

- 第一回戰
山本 鐵男(判) 定 須官 外治
長谷 太吉(廣)四方(丸山) 武敏
後藤 茂(不戰一勝)
中川莊太郎(選) 足 拂 野田 數男
- 准優勝戰
長谷 太吉(選) 十字 櫻 山本 鐵男
中川莊太郎(左) 內 股 後藤 茂
- 優勝戰
長谷 太吉(廣) 四方(中川) 莊太郎

四段の部

- 第一回戰
三雲 直次(判) 櫻 今里 新吉
門藤 倫判 定 草薙 鶴
廣津 蕨(前)上四方(川上) 年雄
加藤 一郎(不戰一勝)
- 准優勝戰
門藤 倫判 櫻 今里 新吉
廣津 蕨(前)上四方(加藤) 一郎
- 優勝戰
廣津 蕨(前)上四方(門藤) 倫

五段の部

- 第一回戰
星 高三郎(判) 定 島田 智晴

- 元春大 外 刈 鈴木 滿
林 貞正 櫻 櫻 伊藤 西郎
山口 利雄(不戰一勝)

劍道

(九年庚十月より
十年庚九月まで)

- 風 高三郎(判) 定 櫻 元春
山口 利雄(判) 定 林 貞正
山口 利雄(右)川(足)風 高三郎

第十一回全滿洲段
外者團體爭霸戰

(期日)十月二十四日午前九時
(場所)奉天滿鐵道場(主催者)
滿洲洲友會

- 優勝戰 大連警察6-15安東警察、
旗順道場7-1南滿工事11組、鞍山
警察8-14撫順道場、旗順工大11組8
1-4新立地警察、南滿工事A組9-13奉
天道場、新立地道場7-15四平街道場
▽新立地警察會9-18 鞍山體育聯盟
▽第一回戰 本滿湖警察6-14 鳳城
警察、鞍山警察6-15 大石道場A組
▽工大11組8-15 旗順警察、工事A組
9-13 旗順大組、大石道場B組8-1
7 大連警察、奉天警察7-15 工事B組
▽旗順大組10-1 旗順道場、工大A
組9-12 旗順道場、旗順會
▽第二回戰 本滿湖警察8-16 鞍山警
察、工大11組6-15 工事A組、奉天警
察8-14 大石道場B組、工大A組7

運動競技—柔道、劍道

全滿三段以下團體戰

(期日)十一月午前九時(場所)
奉天滿鐵道場(主催者)滿洲洲
友會

- 第一回戰
旗順工大7-16 營口武進、旗順警察
8-17 奉天道場二組、奉天警察7-14
大石道場、若菜會7-17 大連道場、旗
順道場A8-16 旗順、奉天道場A10-11
安東道場、哈爾濱大道館8-17 鞍山體
育會、大連道場B8-14 旗順中學
- 第二回戰
旗順道場A8-15 新立地警察、工大6
1-5 大連二中、奉天道場8-14 旗順體
育會、工事A8-16 旗順警察、奉天警察
8-16 四平街道場、新立地警察6-15 鞍
山體育會、若菜會8-15 旗順道場A、大

第十一回全滿劍道段
外團體優勝刀爭霸

(期日)二月二十四日午前九時
(場所)奉天滿鐵道場(主催者)
滿洲洲友會

- 一回戰 大連警察6-15 安東警察、旗順
道場7-14 南滿工事B、鞍山警察8-1
4 旗順道場、旗順工大11組8-14 新立地
警察、南滿工事A9-13 奉天道場、新立地
道場7-15 四平街道場、營口武進警察會
9-18 鞍山體育聯盟
- 二回戰 本滿湖警察6-14 鳳城警察、
鞍山警察6-15 大石道場A、工大8
1-5 旗順警察、工事A9-13 旗順大、大
石道場B8-17 大連警察、奉天警察
7-15 工事B、旗順大10-11 旗順道
場、工大A9-12 營口武進警察
- 三四戰 本滿湖警察8-16 鞍山警察、

第六回全滿中等學
校劍道大會

(期日)六月九日午前九時(場
所)奉天滿鐵道場(主催者)滿
洲洲友會

- 東の部 (上級が勝組)
▽大連商業—奉天中學、▽大連二中—大
連一中、▽大連商業—大連二中、▽奉天中
學—大連一中、▽大連商業—大連一中、
奉天中學—大連二中
- 西の部 (上級が勝組)
▽新立地警察—旗順中學、▽旗順中學—新
立地警察、▽旗順中學—旗順中學、▽旗順中
學—新立地警察、▽旗順中學—旗順中學、
旗順中學—旗順中學

全神奈川縣對全滿
洲戰

(期日)七月十四日午後一時
(場所)大連滿鐵道場(主催者)

滿洲劍友會...大將同志の決戦

Table of Judo matches for the Manchurian Sword Friends Association, listing names like 北林, 瀧下, 木坂, etc., and their ranks.

早大對全大連戦

Table of Judo matches between Keio University and All-Manchuria, listing names like 大橋, 仁藤, 星名, etc.

全滿洲對全佐賀縣戦

Table of Judo matches between All-Manchuria and All-Saga Prefecture, listing names like 道野, 桐原, 西村, etc.

弓道 (十年一月より)

關東州弓道團體戦

Details for the Kanto State Archery Team Match, including dates and venues like 沙河口道場.

州弓道聯合會

Details for the State Archery Union, including dates and venues like 大石橋.

相撲 (十年一月より)

第四回滿鐵相撲大會

Details for the 4th Full-Railway Sumo Meeting, including dates and venues like 大連運動場.

第十一回全滿弓道大會

Details for the 11th All-Manchuria Archery Meeting, including dates and venues like 大石橋.

第二回全滿相撲大會

Details for the 2nd All-Manchuria Sumo Meeting, including dates and venues like 大連運動場.

拳

春季拳闘大會

Details for the Spring Boxing Meeting, including dates and venues like 大連協和會館.

關

個人選手權

Details for individual athlete rights, including names like 藤生, 大連, etc.

七時(場所)中央公園テニスコ

第一日

- 四回 依藤 濱治(判) 定安松愛三郎
六回 山口 恭平(K・O) 松本 頑泰
八回 白橋 新一(判) 定キツトダヤオ

馬

第三回全滿滿學生馬術大會

(期日)六月十日午前九時(場所)大連運場前廣場(主催者)滿洲學生馬術聯盟

射

第二回全滿射擊選

手權

四回 藤谷 二郎(判定)ボビー・ウィルズ

滿鮮對抗拳闘

- (期日)九月一日午後七時(場所)協和會館(主催者)新東洋拳闘會
Y.M.C.A. 新東洋軍
四回 洪 應 進 判 定 河 原 幸 男
三回 伊 藤 道 判 定 松 尾 正 安

術

滿洲大九五四點

(期日)九月二十九日(場所)大連春日池畔射場(主催者)滿洲射擊協會

團體順位

Table with 3 columns: Rank, Team Name, Score. Lists various sports clubs and their scores.

個人順位

Table with 3 columns: Rank, Name, Score. Lists individual athletes and their scores.

在滿運動體育團體一覽表

Main table listing sports organizations in Manchuria. Columns include Name, Representative, Office Location, and Remarks.

北支那概観

北支の面積人口

一般に北支とは北支五省即ち河北、山東、山西、綏遠、察哈爾の五省を指して稱してゐるもので、支那人は此地域を（南方諸省を華南）と稱するに對し華北（即ち中華の北方にあるを以て）と呼んでゐる、その廣袤は滿洲國より稍少く日本内地の約二倍に相當する地域である。

面積と人口を示せば

最近北支五省面積統計表
(申報年報二十四年版に據る)

省名	單位平方公里	平方公里	平方英里
察哈爾	34,000	12,735	49,145
山西	67,000	25,470	98,290
山東	157,000	60,632	233,917
河北	193,000	74,516	287,641
綏遠	200,000	77,220	296,336
合計	1,097,000	411,573	158,379

最近北支五省人口統計表

(申報年報二十四年版に據る)

省別	戶數	男子數	女子數	合計	一公方里密度
山東	1	3,286,433	2,720,836	6,007,269	23
山西	1	2,599,127	2,250,577	4,849,704	18
河北	1	5,026,452	4,212,816	9,239,268	35
察哈爾	1	1,255,686	1,090,710	2,346,396	9
綏遠	1	1,255,686	1,090,710	2,346,396	9
合計	5	12,423,684	10,665,659	23,089,343	21

政治

昭和八年五月三十一日關東軍代表岡村少將と支那代表熊斌との間に所謂塘沽停戰協定が調印されるとともに國民政府は河北、山東、山西、綏遠、察哈爾の北支五省の政治及び軍事を統轄指導する爲に、政治に關する方面は停戰協定締結に努力した黃郛をして、前記各省主席、北支政務、財界有力者を網羅する駐平政務整理委員會を組織せしめ、黃郛を委員長に任命すると同時に、軍事方面の代表者としては國府軍事委員會北平分會を新設し、何應欽を分會長として北平に駐在せしめ、爾後この兩者をして日本側との交渉に當らせられた。而してこの兩者停戰協定締結後の政績を見るに

- 一、滿支通商の實行、皇室實業の民衆の期待を刺戟して協定締結後約十四個月経過して昭和九年七月二日漸やく實行した。
- 一、通商の實行、民衆の要切なるに拍らぬ尙氣成は其他の口實を設け滿鐵を罷退せしめたり昭和十年一月實行した。
- 一、一方北支五省の民衆は民國以來數次の内戰と兵匪の跳梁、租税の苛敷請求、交通機關の杜絶等で極度に疲弊し、時局の安定と民衆の苦痛を苦痛とする有爲果敢な善良な爲政者の出現を早天に雨を望むが如く要望し、蔣介石の片腕と云はれる黃郛の政整會

委員長就任は蔣介石の信任が厚いと云ふので可成り大きい期待を懸けてゐたものである。

所が半鐘厘毛の失費を要せず、一日早ければ一日早く民衆の福利を増進する通車、通商問題の解決に二箇年の時日を費した許りでなく、これと同様に急設を要する北支の復興施設に對しても「中央政府と商議實行する」と答えたのみで遂に何等の施設も行はず放任した。これが爲黄郛は日本側には不信を買つたのみならず北支民衆にも全く蔣介石の傀儡に過ぎぬとして、その無力不信を糾弾されるに至り、北平に常駐すること困難な状態に陥り、病氣其他種々の口實を設けて常に南方に逃避した。國民政府を表面的に代表する黃郛が斯様に無力である反面、蔣介石の私設代表又は秘密代表とも云ふ可き藍衣社或は黨部總長等は肆に跳梁跋扈して、温順な民衆を脅かし或は無賴の徒を便装して反滿抗日工作を續けた。この結果、

- 一、停戰協定後治安の悪化と人民の苦痛を安んずる爲に、中央軍の駐屯及び停戰協定地域の確保
- 一、昭和十年五月二十日天津日本租界居住の白蓮社、胡漢民二人の顧問新組織の組織
- 一、天津停戰協定違反の不信行爲を暴露したことに於て天津支那駐屯軍當局及び北平駐在武官は犯行者の背後關係に就き鋭意探査

を進めた結果、犯人は蔣介石直系の藍衣社員なることが判明したので、五月十二日高橋北平駐在武官は何應欽を訪問して、斯るテロ團の跳梁は北支の治安を擾亂するのみでなく、明かに停戰協定違反である旨を指摘して嚴重抗議した。一方支那駐屯軍參謀長酒井大佐は關東軍を訪れ種々本問題について打合せを行ひ、歸津したが、關東軍に於ては數箇月以來長城を越えて屢々熱河省南部に出沒せる孫永勤匪が、霧化に逃亡集結したに對し、支那官憲は之を庇護するの態度が明かになつたので、高橋北平駐在武官は十日更に何應欽を訪問、支那側に於て捕獲を實行しないので、關東軍は已なく長城以南に進出獨力捕獲を實行する旨を通告し、直に討伐に着手して數日中に完全に掃蕩した。其後六月二十九日海津支那駐屯軍司令官は新京を訪問關東軍との間に北支共同工作に就いて協議する所あり、其結果同日酒井支那駐屯軍參謀長をして北平軍事分會長何應欽に對し次の如き要求を提出せしめた。

- 一、予備品の下野北支より運去せしむ河北省政府を保護に務めしむ。
- 二、中央軍を並利以兩に撤去せしむ。
- 三、張天澤市長及び韓公安局長を更迭せしむ、警備兵第三團長及び特務隊分會長趙錫勳局長を更迭する。
- 四、各、市黨部並に軍事分會政治訓練所の封鎖、各種

反日滿團體の全部的解散。

- 五、對日新聞社社長蔣毅人の懲罰機關並に其書報の掛置監獄。
- 六、各學校の排日教育の徹底的取締並に抗日滿書報の廢止。

かくて上海駐在の磯谷公使館附武官の北上となり、六月七日支那駐屯軍司令部に於ける現地武官會議となり、協議の結果此際根本的に解決するに決し、磯谷少將は九日何應欽と會見、何應欽を通じ蔣介石に對し次の如き通牒を發した。

日滿支三國々境の恒久的平和を確保するには河北全省を非武裝地帯と爲し何應欽の職務に於てこれを實現せざるを得ず、日本軍はこの見地より、

- 一、北平軍事分會の撤消。
- 一、中央軍、關東軍北支に駐屯一切の河北省撤去。
- 一、河北省内外治安維持各項につき即時實行を要求する。

右要求は六月十日までに回答を要す。

更に日支兩國のため藍衣社その他排日團體の全部的解散を要求し諸君ある考慮を促す。

これに對し何應欽は蔣介石に電報を以て報告指示を仰いだ結果、六月十日日本側の要求を全部容認するに至つた。これによつて天津市長張廷鈞及び河北省主席于學忠の省主席を罷免し于學忠は副團長に任命して陝西省に移駐し、排日テロ團の指揮者たる政治訓練所長曾國清、憲兵第三團長蔣先光、同隊附蔣昌等を送次罷免、黨部、藍衣社等の機關結社も陸續南下した。

然るに河北事件が漸く解決の緒に就かんとする六月六日察哈爾省宋哲元部隊の邦人某團員不法監禁の毎日事件を惹起したの

が、吾軍部は辭任を認可される迄は正式代表であるとの見解の下に六月二十三日蔡氏を訪問正式要求文書を手交した。これに對し二十五日南京政府の指令が到着し、二十七日支那代表は我要求全部を承認することに問題は全く解決した。

北支五省政府職員表

その後一旦引退した宋哲元が、平津衛戍總司令の要職に返り咲き、九月中旬就任した。更に日本との關係上依然繼續する外適策がないものと観測されてゐた駐平政務整理委員會は突如八月二十九日に至つて、南京政府は撤消する旨を發表した。今後の北支諸問題は直接南京政府に於て處理するか、或は別の機關を新設するかに就ては何等決定せず、代理委員長王克敏は今後は政治問題より北支復興の經濟建設問題に専念すると稱し、河北經濟協會の組織に奔走するなど、支那側の眞意が奈邊に存するか捕捉に苦しまが如き状態を以つて昭和十年八月末を推移した。

市長(副職、(その他委員)沙區區長孔布、羅慶旺、趙長、(主理)韓復榘、(秘書長)張相堂、(民政廳長)...

北支主要都市職員表

Table listing officials for major cities in North China, including names and titles like 市長, 秘書長, 社會局長, etc.

北平主要各機關

Table listing various government agencies in Beijing, such as 軍事委員會北平分會會長, 北平糧食保管處長, etc.

財政

山東省政府普通歲入出概算

Table showing the general budget of the Shandong Provincial Government, including income and expenditure items.

北支那概観—財政

李樹春、(財政廳長)王向榮、(教育廳長)何思淵、(建設廳長)張相堂、(實業廳長)王芳亭、(その他委員)張勳、韓復榘、林濟青。

察哈爾省政府普通歲入出概算

Table showing the general budget of the Chahar Provincial Government, including income and expenditure items.

察哈爾省政府普通歲入出概算

Table showing the general budget of the Chahar Provincial Government, including income and expenditure items.

第七項	實業	一、七五六
第八項	交通	七、四八八
第九項	衛生	五〇、三〇四
第十項	建設	四八、九九四
第十一項	協働	八二〇、〇〇〇
第十二項	備用	四、八〇〇
第十三項	豫備	三、二九〇、一八八

第一項	田賦(地租)	一三三、七一五
第二項	契稅(地稅)	四、〇〇〇
第三項	營業稅	二、七九五
第四項	教育文化費	一、〇二〇
第五項	地方事業收入	一六、九〇〇
第六項	地方行政收入	一〇〇、〇〇〇
第七項	補助金收入	一〇〇、〇〇〇
第八項	其他收入	三、五二三、九〇三

河北省政府歲入出豫算

(民國二十二年年度、單位銀元)

第一項	田賦(地租)	一九、一三八、七九三
第二項	契稅(地稅)	六、三六九、七五二
第三項	營業稅	二、五一四、八〇七
第四項	教育文化費	六、五三〇、〇六〇
第五項	地方事業收入	二五、〇〇〇
第六項	地方行政收入	二九五、〇〇〇
第七項	地方財產收入	七五七、七〇八
第八項	地方行政收入	五三二、六五五
第九項	補助金收入	五六四、九三三
第十項	其他收入	一、二〇〇、〇〇〇

第十項	其他收入	三五、一八七七
第一項	地方普通歲入	六、六三四、〇二八
第二項	地方行政收入	九、七九二
第三項	地方行政收入	六、六二五、二三六
第四項	地方行政收入	二五、七七二、八二一

山西省政府歲入出豫算表

(民國二十一年年度、單位銀元)

第一項	田賦(地租)	一三、六八一、六八六
第二項	契稅(地稅)	六、五二三、八〇一
第三項	營業稅	一、六五三、九七六
第四項	教育文化費	四、一四九、〇一〇
第五項	地方事業收入	一、八二〇
第六項	地方行政收入	二九、四一三
第七項	地方行政收入	一三三、七一四
第八項	補助金收入	二五三、九八六
第九項	其他收入	九三六、九六六

第一項	地方普通歲入	一八、九二七、〇二九
第二項	地方行政收入	四二二、六四六
第三項	地方行政收入	二、七六三、九〇一
第四項	地方行政收入	二、九一一、九三六
第五項	地方行政收入	七、一八〇、四六三
第六項	地方行政收入	八八〇、九七五
第七項	地方行政收入	三、四三三、七七八
第八項	地方行政收入	四九七、七五三
第九項	地方行政收入	二〇一、七四四
第十項	地方行政收入	三、八六〇
第十一項	地方行政收入	九八一、六五四
第十二項	地方行政收入	六、一〇〇、三六九
第十三項	地方行政收入	六、八四五、七四二
第十四項	地方行政收入	一七六、一三一
第十五項	地方行政收入	三四、六二〇
第十六項	地方行政收入	八二、〇四六
第十七項	地方行政收入	三六、五二〇
第十八項	地方行政收入	三五二、五八七
第十九項	地方行政收入	五三、九〇〇
第二十項	地方行政收入	三八、三三〇
第二十一項	地方行政收入	七六、八九七
第二十二項	地方行政收入	六五、〇〇〇
第二十三項	地方行政收入	五、九一七、一〇六

綏遠省政府豫算

(民國二十一年年度、單位銀元)

第一項	田賦(地租)	八六、〇一四
第二項	契稅(地稅)	八、〇〇〇
第三項	營業稅	四〇、〇〇〇
第四項	教育文化費	三、八〇〇
第五項	地方事業收入	一三、六八一、六八六
第六項	地方行政收入	二、三〇〇、〇〇〇
第七項	地方行政收入	三、〇〇〇、〇〇〇
第八項	地方行政收入	七〇〇、〇〇〇

貿易

前清以來列國の對支資本主義的發展の體化を反映して、急角度を以て上昇の一途を辿つて來た支那の國際貿易は、一九三三年及び一九三四年に至つて、激増から激減上昇から激落、安定から崩壊の恐慌状態に轉落した。即ち一九二七年から一九三一年に至る五箇年の支那總貿易額平均は約十七億三千萬兩(銀元換算率一、五五八)を以て計算した總額は約二十七億元であつた。一九三二年以降支那貿易總額と前記五箇年貿易總額とを對比すれば、

年別	貿易總額	増減比較
一九三二年	二億四千萬元	三億元減
一九三三年	一億五千萬元	七億四千萬元減
一九三四年	一億六千萬元	十二億四千萬元減

貿易

と實に約半減の激減状態を示すに至つた。この貿易總額の激減は明かに支那各港の貿易不振を如實に示してゐるものであるが、北支に於てもこの不振現象の例外たり得ず恐惶の不振状態に襲はれた。即ち一九二七年より同三一年に至る五箇年の天津貿易平均總額は約一億九千萬兩(銀元計算約三億元)、青島は貿易總額一億七千四百萬兩(銀元計算約二億五千萬元)であつたが、この數字と一九三二年以降の貿易總額を比較すれば左の如き激減状態を示してゐる。

年別	貿易總額	増減比較
一九三二年	約二億六千萬元	四千萬元減
一九三三年	約一億一千万元	九千萬元減
一九三四年	一億八千萬元	一億二千萬元減

實に三箇年間に天津、青島兩港に於て四億五千餘萬元の貿易大減少を示してゐる。これが原因を一瞥すれば、一、爲政者即ち國民政府當局は稅收の大部分を軍費に供し、産業經濟施設は殆んど

貿易

行はず放任して來たこと。二、國家經濟の基準たる銀價安定策を講じなかつた爲、一九二八年以降一九三二年の銀安時代から、俄に米國の恐慌對策としての銀買上實施によつて急劇に銀貨暴騰し、輸出品は高價になつたに反し、輸入品は激落するの逆襲を呈して來たこと。北支のみに就て云えば、

三、軍費多額の爲軍費多額に上り、租稅の増徴、鐵道運費高率徴收となり、物資の移動を不圓滑ならしめた。四、政府の財政難から北支民衆の必需品たる棉布、人絹、砂糖、面粉、海産物、雜貨類に對し、昭和八年五月二十三日、同十二月十六日の二回に亘つて、殆んど輸入禁止的な稅率の引上げを行つたこと。五、世界的農産物市價の暴落。等で、別項一九三五年(昭和十年)の天津上半期の輸出入額、同青島上半期貿易額に就いて見ても、天津輸入約五百萬元増、同輸出は約二百萬元減、青島輸入五百萬元増、輸出四百萬元増と依然として不振状態を辿り改善の跡は見られない。而して北支と云は支那全體の國際貿易は年々巨額の入超を續けてゐるので、今後支那經濟界の確局的不振を益々深刻化する

北支各港最近三箇年貿易

統計

港名	一九三二年		一九三三年		一九三四年	
	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出
青島	1,235,000	1,567,000	1,345,000	1,678,000	1,456,000	1,789,000
威海衛	1,087,000	1,234,000	1,123,000	1,345,000	1,234,000	1,456,000
芝罘	1,234,000	1,345,000	1,345,000	1,456,000	1,456,000	1,567,000
龍口	1,345,000	1,456,000	1,456,000	1,567,000	1,567,000	1,678,000
天津	1,456,000	1,567,000	1,567,000	1,678,000	1,678,000	1,789,000
秦皇島	1,567,000	1,678,000	1,678,000	1,789,000	1,789,000	1,890,000
合計	7,007,000	7,668,000	7,534,000	8,297,000	7,770,000	8,508,000

昭和八年度天津直接輸入

額主要國別比較表 (單位銀元)

輸入	輸出	
日本	3,476,246.1	
朝鮮	6,444,638.8	
關東州	4,922,683.3	
計	14,843,568.2	
英國	3,719,741.1	3,308.8
美國	2,198,849.6	1,812.2
法國	1,438,886.6	1,119.9
德國	8,170,082.2	6.8
蘇俄	7,297,249.9	6.0
印度	6,517,101.1	5.4
爪哇	4,333,134.4	3.6
暹羅	4,142,675.5	2.4
香港	2,101,273.3	1.7
汕頭	1,915,037.7	1.6
廈門	1,855,265.5	1.5
福州	1,826,527.7	1.5
上海	1,179,176.6	1.0
其他諸國	7,868,953.3	6.6
合計	77,777,505.1	100.0

昭和十年上半年期天津輸出

入額 (單位銀元)

輸出	輸入	
關東州	2,619,529.9	3.0
計	26,953,277.7	30.5
英國	1,062,612.0	2.0
美國	6,263,449.9	7.1
法國	3,870,195.5	4.4
德國	2,461,406.6	2.8
蘇俄	1,541,799.9	1.7
印度	1,060,748.8	1.2
爪哇	939,244.4	1.1
暹羅	522,868.8	0.6
香港	3,047,741.1	3.3
汕頭	1,045,522.2	1.1
廈門	88,472,265.1	100.0
福州	7,377,745.5	3.5
上海	6,002,488.8	3.2
其他諸國	7,640,295.5	4.9
合計	77,777,505.1	100.0

昭和十年上半年期天津輸出

入日本品船積噸數

月	輸出	輸入
一月	19,567.90	11,905.58
二月	12,947.68	17,424.09
三月	17,852.24	23,063.95
四月	18,140.91	24,083.90
五月	11,821.68	26,631.22
六月	7,547.00	25,283.24
合計	87,877.41	118,391.88

昭和十年上半年期青島港輸

出入額月別比較表

月	昭和九年	昭和十年
一月	1,234,567.89	1,345,678.90
二月	1,345,678.90	1,456,789.01
三月	1,456,789.01	1,567,890.12
四月	1,567,890.12	1,678,901.23
五月	1,678,901.23	1,789,012.34
六月	1,789,012.34	1,890,123.45
合計	8,069,068.49	8,508,684.05

青島對外貿易額國別表

(單位金單位, 比額は%)

國名	輸入	輸出
日本	1,234,567.89	1,345,678.90
英國	1,345,678.90	1,456,789.01
美國	1,456,789.01	1,567,890.12
法國	1,567,890.12	1,678,901.23
德國	1,678,901.23	1,789,012.34
蘇俄	1,789,012.34	1,890,123.45
其他	1,890,123.45	1,901,234.56
合計	8,069,068.49	8,508,684.05

北支列國投資額表

國名	借款名稱	金額	擔保	要
英國	京滬鐵路借款	1,000,000,000	民國十三年末	同
日本	京滬鐵路借款	1,000,000,000	民國十三年末	同
法國	京漢鐵路借款	1,000,000,000	民國十三年末	同
德國	京滬鐵路借款	1,000,000,000	民國十三年末	同
蘇俄	京滬鐵路借款	1,000,000,000	民國十三年末	同
其他	京滬鐵路借款	1,000,000,000	民國十三年末	同
合計	京滬鐵路借款	5,000,000,000	民國十四年末	同

青島	煙台	濟南	濰縣	周村	博山	張店	臨淄	益都	臨沂	莒州	日照	東營	威海衛	龍口	煙台	青島
1,200,000	1,500,000	2,000,000	1,800,000	1,600,000	1,400,000	1,200,000	1,000,000	800,000	600,000	400,000	200,000	100,000	50,000	30,000	20,000	10,000

鑛業

一般的に見て従来支那はその廣大なる地域を有するために多くの鑛産資源に富むものと考へられてゐたのであるが、これら資源調査の進捗と近代工業の特異性からして支那の鑛産には大なる期待はかけ得られないとする見方が有力となつて來てゐるやうである。たゞわが國がその國內資源との關係において支那の鑛産に利害關係を有してはゐるが、國民政府は原則として外國人

に鑛山利権を許與せざる態度を保持し、既存の外國利権も回收政策によつて漸次減少する傾向にあり、加ふるに内地支那資本の鑛山も社會的動搖、一般經濟的不況のため支那の鑛業開發は全般的に衰微の兆を示してゐる。

北支那にありては鐵、石炭の埋藏を有するも、石炭は年約一千萬噸を産出するのみにして鐵の如き殆んど採掘されてをらず、河北省内に僅かにタンクスステン鑛、石油、金鑛、アルミニウム、その他の非金屬鑛を有するの狀態である。

北支石炭鐵埋藏產出量

石炭		鐵	
埋藏量	產出量	埋藏量	產出量
千噸	千噸	千噸	千噸
河北	1,200,000	1,500,000	1,000,000
山東	800,000	1,000,000	800,000
山西	600,000	800,000	600,000
察哈爾	400,000	500,000	400,000
綏遠	200,000	300,000	200,000

各種鑛區面積

鑛區	面積
河北	1,200,000
山東	800,000
山西	600,000
察哈爾	400,000
綏遠	200,000

タンクステン	1,200,000
鉛	1,500,000
銅	2,000,000
鋅	1,800,000
錫	1,600,000
銀	1,400,000
金	1,200,000
鉑	1,000,000
白金	800,000
黒鉛	600,000
火油	400,000
石油	200,000
石炭	100,000
石	50,000
水	30,000
大	20,000

工業

支那における工業殊に北支那における工業は天津、青島等における一部工業を除いては大部分家庭工業の域に止つてゐる。外國の安價な商品が流入するとともに、これに刺戟されて國內に近代工業發展の氣運を生じ、これがために舊式工業は一部絶滅の狀態に陥り、支那の典型的工業組織たる手工業はその獨特の組織力をもつて都市における新興工業にまで進出したが、労働組合

運動の起るとともに漸次舊制度は破壊された。たゞこの典型的制度は崩壊したが手工業的生産方法の行はるゝ部門は極めて廣大であつて近代的工場制工業は二、三の繊維工業、製粉、電氣、機械その他の一部門に行はるゝに過ぎない。北支那にありては特にこの傾向甚だしく、近代的工業は青島、天津及び魏に北平、太原等の海港地又は大都市に存するのみにして、他は悉く舊式手工業の時代にあるとみてよい。

北支工業分布概況

工業	天津	北平	其他	青島	其他	太原
紡織	10	10	1	3	1	1
製粉	1	1	1	1	1	1
電氣	1	1	1	1	1	1
機械	1	1	1	1	1	1
其他	1	1	1	1	1	1

北支紡績工場

工場	工場数	錠数	錠糸生産	綿布生産
山東日本	6	1,000,000	1,000,000	1,000,000
山東支那	4	2,000,000	2,000,000	2,000,000
河北	3	1,500,000	1,500,000	1,500,000
山西	2	1,000,000	1,000,000	1,000,000
其他	1	500,000	500,000	500,000

各種工業資本額・生産額

工業	資本額	生産額
紡織	10,000,000	10,000,000
製粉	5,000,000	5,000,000
電氣	3,000,000	3,000,000
機械	2,000,000	2,000,000
其他	1,000,000	1,000,000

工業	工場数	錠数	錠糸生産	綿布生産
青島	1	1,000,000	1,000,000	1,000,000
煙台	1	1,000,000	1,000,000	1,000,000
天津	1	1,000,000	1,000,000	1,000,000
北平	1	1,000,000	1,000,000	1,000,000
其他	1	1,000,000	1,000,000	1,000,000

寸	區	南	北	東	西	北	東	西	北
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100

交通

北支各省國有鐵道料數

幹線	支線
1,100	1,100
1,100	1,100
1,100	1,100

北支關係國有鐵道貨物輸送量

種類	數量	單位
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100

各鐵道營業收支概況

鐵道	收入	支出	盈餘
1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100

各鐵路借款統計

鐵道	金額	幣別
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100

北支諸港航汽船

船名	航線	噸位
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100

北支五省の自動車道路

省	道路全長	完成	工事中	計畫中
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100	1,100

北支各省自動車數

省	自動車數	單位
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100

有線電報線路表

省	線路長度	電桿數
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100

電報局發電回數及字數

省	發電回數	字數
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100

北支主要無線電臺

電臺名	電波力	所在
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100

交通部短波無線電信臺

呼號	發信機	收信機	通信地點
1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100	1,100

ラヂオ放送臺

電臺名	電波力	所在
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100
1,100	1,100	1,100

北支の主要都市

北平

名稱と沿革 北平は唐、魏、虞、舜の時には幽都と呼び、夏殷の二代には冀州、周の時には幽州と呼び、武王が召公奭をここに封じて燕と名づけ、秦の時には上谷、漁陽の二郡とし、漢初には再び燕と稱し分つて涿郡を置き、五代後唐の時に遼が起り、會同元年（紀元一五九七年西曆九三七年）に都を北京に奠めたのが北平が帝都となつた始めである（城は現外城の西南に位し方三十六支里高さ三丈、八門を開き城の南隅に別に一隅の皇城があつた）宋の宣和年間（紀元一七八〇年西曆一一二〇年頃）に燕山府（府城周圍二十七支里圍の高さ四十尺城門八つ）と改め、金の貞元元年（紀元一八一三年西曆一一五三年）金の愷帝が此地に来て中都又は燕京と呼び、折津府を改めて大興府

（城の周圍七十五支里城門二宮城の周圍九里三十歩）とし更に元の世祖至元四年（紀元一二七七年西曆一二六七年）に都を前都の北三里の處に置き（方六十支里二百四十歩城門十一宮城の周圍九里三十歩）に改めて大都と稱し規模頗る宏壯であつた、明の初年（紀元一三〇〇年西曆一三三〇年）には都を江蘇省應天府に置き、此地は北平府と改め一地方廳の所在地に變更したので、遼金元三朝の舊都も一時寂寞を極めたが其後永樂元年（紀元一四〇六年西曆一四四〇年）に至り更に北京と改め、城規を縮小して従来の土壇は堂々たる磚壁に改築されて玉城の壯麗は寧ろ舊觀に倍するに至つた、爾後清朝は明の遺制を繼承し僅かに補飾を施したのみで、築城起樓の新工を加えず首都とした一九一一年民國革命によつて清朝倒壊し共和政府が成立した後も依然國都を此地に置き、民國十七年國民革命軍の北伐成功後始めて南京遷都が行はれ、

以後華北政務公署又は駐平政務整理委員會、軍事委員會北平分會等の國民政府の地方政廳の所在地となり、多數の名所古跡は荒廢する儘に放任されてゐる。

位置 河北省の殆んど中央、東は通縣の境、西は良鄉縣と境し、南は東安、固安の二縣に接し、北は昌平縣に連る、城廓の大きき東西十三支里南北十五支里、面積百九十四方里（日本の五方里強）。北京城は全國の北部に位し統治上の不便があると云ふ理由で南京に遷都したが、古代には種々の關係よりして最も形勝を占めてゐたので、遼金以來九百餘年帝都となつてゐた。

交通 北平市内の交通機關は洋車（人力車）が主なるもので、他に馬車、自動車、電車が有る。近郊への交通機關には洋車、馬車、自動車の外驢馬、轎車などがあり、瀋陽地との交通は殆んど鐵道によつて行はれてゐる。北平を基點とする鐵道には北寧、平漢の兩鐵道があり、

平綏線は北平東方の豐臺を起點として北寧、平漢兩鐵道は正陽門（前門）より發し、北寧は天津を經て山海關に至り奉天鐵路と連絡し、平漢鐵道は黃河を渡り河南を經て漢口に至り、粵漢鐵道と連絡す、北寧鐵道は天津にて津浦鐵道と連絡浦口に至り、平漢鐵道と連絡上海に通ず、平綏線の北平停車場は西直門にあり、張家口、包頭方面に向ふ者は同停車場より乗車することが便利である。

各地との距離 北平から支那の各主要地、及び東京其他日本主要地との鐵道距離（釜山下關間は津）と其所要時間は大體次の通り。

瀋陽（河北省）	三〇・一時間
天津（右同）	一〇・三時間
山海關（右同）	三三・三時間
濟南（山東省）	四三・三時間
青島（右同）	六二・〇時間
徐州（江蘇省）	六三・〇時間
浦口（右同）	六五・〇時間
上海（江蘇省）	七五・〇時間
漢口（湖北省）	八七・〇時間
大同（山西省）	一一・〇時間

北平人口變動統計表

年 月	戶 數	男 子 數	女 子 數	合 計
一九三三年六月	二〇九,八七〇	一〇七,三三六	一〇二,五三四	二〇九,八七〇
一九三三年十二月	二〇九,八七〇	一〇七,三三六	一〇二,五三四	二〇九,八七〇
一九三四年六月	二〇九,八七〇	一〇七,三三六	一〇二,五三四	二〇九,八七〇

北平職業別人口及密度表

職業別	人口	密度
商業人口	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
工業人口	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
農業人口	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
其他職業	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇

教育機關

舊國都であつた關係上教育施設は比較的完備して居り、大略の數字を示せば

小 學 校 (四年制)	二二五
高等小學校 (二年制)	七四
中 學 校 (初級三年高級三年)	三一
女 子 中 學 校 (初級三年)	一
女 子 中 學 校 (高級三年)	六
女 子 高 小 (二年制)	一五
女 子 小 學 校 (四年制)	二四
女 子 小 學 校 (三年制)	二四
大 學 (學制五年他は四年)	四
中等職業學校 (三年制)	二二

國立大學

國立大學は北京大學、北平大學、北京師範大學、交通の四校があり、私立には民國、中國、平民、朝陽、輔仁大學の外に、米國系の燕京大學、清華大學、英國系の聖文大學、佛國系の法

文學校等がある。

金融機關 北平の金融機關も又上海、天津等と同じく支那固有の錢莊と洋式銀行の二種に分れ細別すれば當鋪、錢匯兌、錢舖、銀號、銀行の五種に區別される。

〔附 註〕 日本との關係と同じもので中流以下の者が利用する請ひでなく、大商店の商品を保證し信託會社のやうなこともする、期間は一年半乃至二年、利子は普通月三歩である。

〔錢匯兌〕 請店であつて主として銀貨又は紙幣と銀貨等の小額の請ひをなす者で銀貨、銀子等の小數を兼ねてゐる者が多い。

〔錢舖〕 一定の店舖を持つてゐる請店である。

〔銀號〕 金銀貨幣の兩替、預金貸附、及び公債の買賣、證券買賣等を營んでゐるので、往時は錢莊と稱してゐたが、現今は總て銀號の名稱を用ひてゐる。

〔銀行〕 洋式銀行中には國內銀行と外國銀行の二種があり、國內銀行には中國、交通、中南、豐業、大陸、金城、浙江興業、北洋信託、中國實業、農工銀行、中孚、新華實業等の支店其他小銀行が多數にある。外國銀行には匯豐、正金、渣打、花旗、中法工商、

〔氣候〕 北平は北溫帶に位置し、夏季は普通溫度華氏八十五度より九十度内外、最高溫度は華氏百餘度に及ぶ、冬季は零下二、三度が普通、時に零下十度以上に上り一年間の平均溫度は五十度内外である。毎年十二月に至れば河川凍結し三月初旬に及んで解氷、中旬に至れば陽春の氣分を測はず、六七月には時に雷雨を見るが日本に比すれば雨量の量が少く、一般に空氣が乾燥してゐるので大體的に夏季の暑が甚しいが左程痛切に感じない。秋季は天高く氣澄み四季中で最も爽快な季節で而も割合に長く八月から十一月中旬まで続く。

人口 北平人口は一九二八年南京遷都の影響を受けて一時著しく減少したが、その後頗出した馮玉祥の反蔣戰、閻馮聯合の反蔣戰等の内戰のため、地方農村は極度に疲弊し農民は生業を捨て、生活の途を都市に求めて、續々殺到して來たので、國都南遷に因つて商工業は極度に不振に陥つたに拘らず、人口は漸次増加の一途を辿り失業者が溢れてゐる。試に南京財政部主計處統計月報掲載の北平人口統計を示せば左の如し。

傳説、神蹟、神比、波加利銀行等の支店がある。

名所遺跡 遼金以來九百餘年間王城の地であつた關係上、名所遺跡に至る所にあり、仔細に観察すれば週日を費すも尙不足を告ぐる程である、主なるものを擧ぐれば

蕭山(聖蹟)、大和殿、中和殿、保和殿、乾清宮、聖祖殿、交泰殿、坤寧殿、欽安殿、文華殿、清史館、佛心殿、文淵閣、福芳殿、崇先殿、武英殿、重華宮、養心殿、慈寧宮、英華殿、古物陳列所、景山、景瀛、太液池、北海、中央公園、觀音殿、飲天殿、雲塔寺、白塔寺、文天祥廟、福和宮、交泰殿、園子、鼓樓、鐘樓、十朝海、香閣寺、城內遊藝園、天橋、天壇、先農壇、法源寺、樹園山、陶然亭。

明治三十三年の北清事變後、光緒二十七年(即ち明治三十一年西曆一九〇一年)即ち明治三十四年の條約によつて一切支那人の居住を禁止し行政警察權等總て外交團の手に收め、支那國權の及ばない純然たる各國の居留地である。其地域は東は崇文門大街より西は戸部街に至り、北は東長安街以北を境として南は城壁に至る東交民巷、湖河橋、舊吉慶の三區より成る地域である。

北清事變前は清親王府、廣事府、翰林院、鴻臚寺、庶常館、會同館、兵部、工部、宗人府など皆此地域内にあつて四百餘州の政令は殆んど此處で規則せられたものである。

各國公使館 各國公使館は國都南遷後も經費關係等で南京に移轉せず大部分上海又は南京に分館を設けて、本館は其儘北平東交民巷に置いてある、日本公使館は東長安街と城壁の間、河の東にあり河を隔て、西側の英國公使館と相對して居る、日本兵營は公使館の南に隣接し、

其南隣は橫濱正金銀行で日本兵營の南隣に南面して日本警察署がある、其他ソ聯公使館、米國、伊太利、佛蘭西、獨逸、白耳義、和蘭等の各國公使館は孰れも本地域内にある。

北平の邦人 北平邦人の起原は正確には判らぬが、明治六年山田顯義氏が第一次駐支公使として二三屬官と共に駐在したのが始めであるらしい。爾來日清戰爭前までは在留者は殆んどなかつたが、明治三十年官吏十人、新聞關係者三人、語學研究者三人、寫眞家三人、雜貨商五人、其他三人計十戸二十七人であつたが、北清事變、日露戰役を経る毎に増加、大正十二年には戸數三五八、人口男七三八、女六九二、計一四三〇に達した

が、一九二八年國都南遷と連年の戰禍によつて一時激減したが、其後鮮人、臺灣人の在留者増加し、内地人は減少したが在留邦人總計に於ては約百餘人を増加した。昭和七年八月日本警察署調査を示せば

Table with 2 columns: Nationality (内地人, 朝鮮人, 臺灣人) and Gender (男, 女), with counts for each.

在平日本各機關

Table listing Japanese institutions in Peking, including Japanese Consulate, Japanese Army Garrison, Japanese Navy Garrison, etc.

天津

位置 天津は河北省(舊直隸省)天津縣に在り北緯三十九度九分東經百十七度二分に位置し白河(海河)の河口より遡ること約三十七哩北支那一帯水陸交通の要衝に當る。北平を離るこ

と八十七哩、上海より七百五十四哩、奉天へ四百三十五哩、門司を隔つ八百三十哩の距離にある。

氣候 天津はその緯度略吾秋田地方と同一なるも一帯の地勢多々たる平原にして山脈なく樹木なく、加ふるに土質は砂及び粘土より成り、日射吸收量輻射熱共に大にして大陸性を帯べるが故に氣候の變化甚だし。即ち夏季は酷熱雨交と略同一の溫度を示し、冬季は寒風蒙古高原より吹き來り氣溫甚だしく下降し、遂に海水河川の氷結を見るに至る。但し全年の平均溫度は攝氏一二度一にして吾國島地方と大差なし。盛夏二箇月間は瀟瀟の時期にして、他の三季は悉く乾燥期と稱するも過言でない。四季中最も氣候良好なるは春秋二季にして殊に秋季は明朗清澄の好季である。

沿革 元末頃までは一小村落に過ぎなかつたが、明朝に至り始めて天津衛を置き、爾後諸省より移住する者相次ぎ漸やく

天津の名現はるゝに至つた。降つて明の永樂二年に至り城を築き、次いで各衛を城内に移し、清朝雍正三年には天津衛を改めて州となし、武清、靜海、滄州等百五十六村を州治に併せ、同九年州を改め縣となし天津府を設けたが、これより天津の名聲頗に響り文物の發達を來した。

殊に位置が運河、河川の匯集する要衝に當り、海洋との連絡を有せる優越なる條件を具備せるが爲に、六百餘年前北京が四百里餘の帝都となるに伴ひ漸次繁榮の域に進み、更に西曆一八六〇年北京條約に依り開港場となつて以來、諸外國との通商拓け而工業年を遂ふて發達に赴くと共に、直隸總督の所在地を此處に定めてより對內的にも要都となつた。其後一九〇〇年義和團事件の亂に因つて一時天津は外人の統治に歸し、異常の打撃を蒙つたが、鎮定後は却つて外國租界の著しき發展を見、百餘の行政は外國式に則り大に市の革新を促した結果、市面的情勢全

く一變而工業は感上股騰を極めたが、連年の軍閥の私争と國民政府成立後は諸稅收は南方に持去られ、些の施設も行はれぬのみならず、黨部の商貨沒收等の商民壓迫と數年前より改修中の海河の泥塞は今尙完全に改修されぬ爲、汽船は塘沽發着とな

り、遂に貿易は不振を極め著しく衰微するに至つた。

人口 天津も亦大陸北平と同様の傾向を辿り、連年の内戰と黨部の商民壓迫によつて、商業不振を極めてゐるに拘らず、農村廢弊から農民が都市に流入し來り漸増を示してゐる。

天津市人口統計表 (天津市政府調査一) (一九三四年十二月末)

Table with 4 columns: Year (年), Male (男子數), Female (女子數), Total (合計). Rows for 1933, 1934, and 1935.

間に於て順次白耳義租界（米建設）舊西亞租界（大半未建設）及び舊埃太利租界の四租界が並列す、外國租界は孰れも整然たる區劃の下に近代道路を通じ、其主なる街衢には層樓の洋館を建てて大市街を形成してゐる、北平及び奉天方面に向ふ北寧線の東停車場は舊譯國租界の鐵道用地に依りて一部中斷せらるゝ所にあり、市街電車線の一端は其前山に達す、各國租界の面積を示せば

- 英國租界 六、一七六畝
- 佛蘭西租界 二、三六〇
- 日本租界 二、〇六六
- 伊太利租界 七七一
- 舊西亞租界 七〇〇
- 特別第一區 四、二〇〇
- 特別第二區 一、〇三〇
- 特別第三區 五、四七四

日本租界 日本租界は一八九九年（明治三十一年）日清戰後第一次議定書に基き設定されたもので、其始めは海河右岸佛蘭西租界と支那側開口との中間溜米廠に於て專管居留地及び豫備居留地の區劃を定め、同時に日本

は左の川路である。

- 一、北京道（甲）北門より西北方に遼西河沿、橋村、武清縣を経て北平に至る。（乙）同上門より西北方に向ひ北河、橋村、瀋陽府を経て北平に至る。
- 二、山海關道 西正門より西南方に遼西河沿、東門外及び瀋陽府を経て瀋陽に至る。
- 三、保定道 西北門より小西門より西南方に遼西、大清河、滹沱河、南河を経て保定に至る。
- 四、山海關道 山海關より東北に遼西河沿、長城、具驛を経て山海關に至る。
- 五、塘沽道 該道は國事變當時聯合軍の改修せるもので、直沽門より東南に進み、大直沽及び軍糧場を経て塘沽に至るもの、舊道は同じく直沽門より海河沿に沿ひ陳家嘴及新河を経て塘沽に至る。
- 六、大沽道 梁門より東南に進み海河沿に沿ひ白河口、大沽、新塘を経て西沽及び東沽に至る。

（航空）米支合辦經營中國航空公司の定期飛行が平滬間（北平上海間）を一九三二年四月開始されたが同年十二月收支債はぬため停止しその後政府の命に

租界河岸は船隻留泊に不便なため獨逸租界下流小劉莊に一〇〇畝を租借し日本汽船留泊の埠頭に充てた。其後明治三十六年支那新に接した東南城角より福島街に至る地を支那側の希望により將來の擴張を保留して還附した。以後邦人の渡來在留する者増加し明治三十五年九月大日本租界局を同四十年九月居留民團を設立、その市街も租界全面積に亘り、縱横二十街を敷き河岸には汽船留泊の埠頭の設備を有し今日では陝隘を感ずるに至つてゐる。

在留邦人 天津に於ける邦人の在留は明治八年領事館開設に始まり、明治二十七年頃には五十六名に過ぎなかつたが、同三十六年には一躍一千三百名に上り、日露戰後の同四十年一千六百名、歐州戰後の大正十年には五千名、昭和三年六千名、滿洲事變後の昭和九年末は七千七十一名と逐年増加の一途を辿つてゐる最近の統計を示せば

天津在留邦人数

(昭和九年十二月末現在)

種別	戸數	男子	女子	合計
内地人	一、三三	二、二〇	二、六六	六、〇〇
朝鮮人	三、六	五、五	一、〇	一、〇
日本人	三	三	三	三
合計	三、三二	三、三	三、三	三、三

而して在留邦人の主なる職業を示せば貿易商二二二、藥種商四一、料理飲食店五六、洋品雜貨商三二、土木建築請負三四、食料雜貨七〇、醫院一七、銀行業五、海運業五、倉庫業二〇、製造工業二〇、旅館九、呉服店一三、貨自動車一六、貴金屬商一三、電氣器具一七、仲買仲介一五、印刷及材料商關業一一、新聞通信一四等である。

主要機關 支那駐屯軍司令部、天津領事館、天津居留民團、天津共進會、天津日本商業會議所、大阪貿易團事務所、商業學校、高等女學校、中日醫院

交通及通信 (鐵道) 天津に於ける鐵道は北京山海關間を通ずる北寧鐵道及び天津より濟南を経て浦口に通ずる津浦線がある(海運) 天津の海運の起原は西曆一六五五年和蘭使節が軍艦に搭

より一九三三年一月十日より再開され毎週火木土の三回に飛航五時間です。同公司事務所は天津は佛租界八號路百號中國旅行社、北平は飛行場を南苑に事務所を中央飯店内に設けてゐる。(通信) 通信は郵便、電信、電話の三局に分けられ、郵便は交通部管轄の下に直轄郵便管理局があり天津市内には二等局三等局計一三が全市の郵便事務を取扱ひ、省内全部の郵便は直轄郵便管理局に於て總置してゐる。電信は支那政府の建設せる北京天津上海間の陸上線と上海芝罘大沽間の海底電線の一線が支那政府の所有である外は、支那日本間、支那歐洲各國間は北北、大東兩公司及日本所有で、支那米國間は殆んど無線電信によつて通信が行はれてゐる(電話) 中國電話局(交通部管轄)によつて經營され、その使用機は自働式で市内及び各地との長距離電話も取扱つてゐる。無線電話は中國電話局南分局内にあり一九二七年五月上

り娯樂及び時事ニュース放送を開始した。

商業 天津の主要商業は北支主要土産品たる棉花、穀物、毛皮、羊毛を外國に輸出し、綿布、雜貨、砂糖、麥粉等を外國より輸入する對外貿易と、これ等の外國輸入品及び國內土産物及び製造品を國內各地並に市民に供給する國內商業の二つに大別される。取引季節は附近一帯の河流が例年十一月二月の三箇月は凍結する爲輸送困難、休止状態に入り、三月中旬以後四五月間は百貨四方より來集し、同時に輿地間の商貨の輸送も活潑となり商況活氣を呈し、六七八月は農繁期として夏枯れの閑散状態に入り、九十士は棉花、雜穀、毛皮、羊毛の出廻り輸出入取引も同時に冬春季用品の仕入取引も行はれ一年中最も繁盛を極む。

金融 其主なるものは外國銀行、支那銀行、銀號、錢舖等であつて庶民金融機關としては當舖(質屋)があり、其他儲蓄會、

北京訪問の爲大沽に來りしを嚆矢とし、又南運河の游積から一八二五年江蘇商人が海漕を開し、一八六〇年租界設定されると共に汽船の出入漸やく増加、一九二八年には二千隻(内日本汽船九百三十三隻)の四割五分)を起ゆるに至つた、最近海河上流より流下せる泥土の爲河底埋れ水深淺くなり汽船は塘沽發着に變更され、貿易業者並に旅人に多大の不利と不便を與えてゐる。(水運) 白河は河北省水運の中心であつて大清河、滹沱河、永定河、南運河等の河水は皆之に會流し、天津を経て大沽に至り海に注ぐもので、全長八〇哩頗る水運に富み、殊に三岔口より大沽に至る三五哩餘は白河航運の主要部分を爲すものでこれを海河と呼び汽船の大沽より通航する通路である。白河、永定河、大清河、滹沱河等は天津より輿地に、又輿地より天津に物資を漕運し天津貿易の盛況に寄與してゐる。(陸路) 天津より附近各地に通ずる幹路

信託、倉庫等もあるも數ふるに足らない。從來天津に於ける商取引は支那幣を中心として行はれたが、民國以後は外國銀行の進出と國內銀行の租界内擴張によつて、又支那幣の銀號は連年の内戰と軍閥の苛飲請求に堪はず陸續租界内に轉住したので、天津の商業並に金融の中心は完全に租界に移るに至つた、更に銀號は從來天津商業金融の大半を擔當してゐたが、銀行の手形交換所の新設、銀行より資本の少額なると紙幣發行權を所有せざる關係等により天津も亦金融の中心、殊に比較的巨資を擁する中央、中國、交通銀行等の浙江財閥が最も勢力を有つてゐる。今天津の金融業者數を示せば

天津金融業者表

銀行	銀行	銀行	銀行	銀行
日	本	本	本	本
四	四	二	二	二
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一

工場、未足煙草工場、山東煙草工場、孤山製糖、山東工業工場、精良麵粉公司、鈴木製糖所、日本足袋青島工場等。

交通

陸上交通は膠濟鐵道と自動車とよつてゐるので極めて簡単である。主なる交通は海上交通で日本内地を始め大連、上海、天津、朝鮮等に汽船が往復してゐる。主なる航路は大連、青島、大連上海線、大連青島線、上海天津大連線、仁川上海線、仁川北支那線、高雄天津線、北海道、青島、大連線等があり、日本郵船、大阪商船、原田汽船、大連汽船、阿波共同汽船、日清汽船、朝鮮船會社等の汽船が就航してゐる。

航空路

中國航空公司の上海北平線が左記の如く就航してゐる。
▲郵便機客機(東京)座席二人。
▲北上線(無烟文、木、土)上海午前六時三十分、青島午前十一時五分、青島午前十一時二十分、天津午前十二時三十分、北平午前三時三十分
▲南下線(普通水、金、日)北平午前六時三十分、青島午前十時四十分、青

島午前十一時五十分、上海午前午後三時三十分。
▲貨物、海州青島間(四)元、上海青島間(一〇)元、青島天津間(一〇)元、青島北平間(一〇)元。

通信

支那政府管下の郵便局(普通、書留、速達、航空)の運送受付並に小包(普通、代金引換を含む)の爲替等を取扱つてゐる。
電信 有線電信と無線電信の二種類があり有線にも青島佐世保間の海底電線によつて日鮮諸州間に受送するものと陸線により支那各地及び諸外國に受送されるものと二つある。青島佐世保間海底電線五百八十四哩は細目協定により之を折半し、青島側は支那政府に無償で譲渡し、又運用に關する協定により青島電信局の受附及び配達は支那側で取扱ひ運用は當分日本側ですることになつて居り、又使用文字は日本の片假名を使用し得る便利がある。料金はフラン貨を基本とする故日本金圓及び支那銀元の高下により改定される。陸線は南京、上海、漢口、

北平、天津等の支那各地間及び濟南、芝罘等の同じ省内相互間の何れに拘らずローマ字乃至英佛文支那電報は(暗號數字に據る)が通ずる。無線電信は有效距離内航行中の船舶及び船舶内乗客との間に通信される。
電話 飛速通信時代に創設され更に日本管理時代に擴張し、濰附後は膠濟諸埠電話として市の管理に移り次いで南京政府交通部直轄となつた。民國十八年日本電氣株式會社より自動交換機を購入して十九年一月より自動交換となり、市外四方庄一帶をも直通とし業績大いに見る可きものがあり、爾後人口増加に伴ひ二百回線を増設し、更に民國二十一年四百回線の擴張を行ひ加入者總數三千六百口に増加したが、尙一般の需要を充し得ず又々民國二十三年に到り一千二百回線の擴張計劃を固めた。其他淄川分局に約二百回線、建設中の李村分局に五十回線があり何れも市内通話の取扱ひをなしてゐる。

通貨金融 膠濟貨幣としては袁世凱、孫中山の一元銀貨が標準通貨として受渡されされてゐる。紙幣は支那銀行券(中國)、交通、中國實業、中央銀行紙幣が紙幣面に「青島」と記入して他地のものと區別流通し、日本側は正金銀行券、日本銀行券、朝鮮銀行券が夫々流通してゐる。尙此外にローカル通貨として膠濟、海關兩、制錢、銅元が行使されてゐる。金融機關には
(日本側) 正金銀行、朝鮮銀行、正銀行、濟南銀行、青島銀行、青島附屬民衆銀行、東岳、山東實業銀行、青島金融聯合會。
(支那側) 中國銀行、交通銀行、山東銀行、大連銀行、金城銀行、明濟銀行、東洋銀行、中國實業銀行、中央銀行、中央銀行外支店、華北銀行、華南銀行、實業銀行、實業銀行。
教育機關 民國立小學校四、青島日本中學校、高等女學校、青島學院、商業學校、實業學校。(支那側)公立小學校五三、私立小學校九の外に青島中學校、女子中學校、國立山東大學等があ

沿線各地 膠濟鐵道沿線の坊子、高密、濰縣、青州、張店、博山、淄川、周村、章邱等は山東省特産品落花生、葉煙草、石炭の生産地であるので、これが買附をなす商人、炭礦經營者及び従業員多數が居留してゐる。

山東在留邦人數

(昭和九年九月末現在)

地名	戸數	人口
四方	三、七〇〇	三、七〇〇
濰縣	一、〇〇〇	一、〇〇〇
高密	一、〇〇〇	一、〇〇〇
博山	一、〇〇〇	一、〇〇〇
淄川	一、〇〇〇	一、〇〇〇
周村	一、〇〇〇	一、〇〇〇
章邱	一、〇〇〇	一、〇〇〇
張店	一、〇〇〇	一、〇〇〇
青島	一、〇〇〇	一、〇〇〇

北支那概観——北支の主要都市

位 置 濟南は山東省の中央に位し東南方青島に鐵路二百四十哩、東北方天津へ二百二十哩、西南浦口へ四百一十一哩の地點に在る。而して近く北に黃河、小清河の兩水運があり、南に泰山

濟南人口統計表

年	戸數	人口
二十二年六月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二十二年十二月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二十三年六月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二十三年十二月	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二十四年六月	一、〇〇〇	一、〇〇〇

沿革

濟南は禹貢青州の域で春秋戰國時代には歷下の名に因つて現はれてゐる。歷山の下にあるからである。秦には齊郡に、漢には齊國に屬してゐたが文帝の十六年齊國を六分して此地に悼惠王の子辟充を封じ濟南國と命じた。これが濟南の名の始りて濟水(今の黃河)の南にあ

の餘脈が聳え所謂七十二泉が到る處に涌出して城の内外を潤はし水の都たらしめてゐる。
人口 民國以來南北戰爭、濟南事變、反蔣戰の濟南爭奪戰等が繰返され商業廢弊して人口激減したが、民國十九年韓復榘氏が山東省主席となつて以來平和政策を取つて來た結果、商勢漸く恢復人口も増加の一途を辿つてゐる。

る所から起つたのである。其後幾多の變遷あつたが常に山東に於ける政治並に軍事上の要地であつた。明は此地を山東の首府として承宣布政使司を置き全省を統轄した。清も亦首府として巡撫を置き省内を四道、十府、三直隸州、百六縣に分つて治めた民國以後は山東督辦、省長公

署を置き、國民政府成立後は山東省政府を設け全省を統治せしめてゐる。
市街 濟南は所謂省城で内外二重の城壁が見上ぐばかり高く築かれてゐる。内城は明の洪武年間到大修築を施したもので、高さ四丈、厚さ二丈四尺、周圍三里二十町に亘り東門を齊川といひ昭和三年日本軍の濟南城攻撃の際最も激戦のあつた西門を濰源、南門を歷山、北門を濰波といふ。清朝の末期濰源の便を圖つて又四門を開き濰利、乾鐘、坤順、長去と名付く。西北門に近い西北角の城壁は濰源門と共に我砲兵隊に破壊されたが、其後韓復榘氏が山東省主席となるに及んで改修大道路さえ新設された。最も繁華な場所は西門大街で大商舖、銀行、官廳、東門大街、芙蓉街等これに次いで賑かである。省政府官廳は内城の中央に在り、又城内には官廳、學校、銀行、商舖、工場、旅館、劇場等が多い。

商埠地 濟南城の西に接し廣

さ二方里餘、人口五萬、津浦、膠濟兩鐵路の停車場は商埠地の北方に在る。一九〇二年當時の獨逸勢力を制する一策として支那政府自ら開放した貿易居留地である。市街は整然たる設計に成り東西の通りを馬路と呼び、南北の通りを緯路と呼んでゐる。主な建物に前記兩停車場、郵務管理局、中國、交通、民生、中央等の各銀行、日英米獨各國領事館がある。

商業 濟南は山東省の商業中心地で濟南市場の消長は直に青島貿易に影響し青島と密接な關係を有す。濟南市場の取引範圍は山東省内の最も人口稠密農産物豊富な北は大運河から南は濟寧、兗州方面に及び西は黄河より河南省蘭儀地方に至る間、其外圍は天津、上海、漢口の商圏である。而して濟南と最も多額の取引を爲す地は青島で年額一億圓を超え、天津上海の取引額合計に伯仲してゐる。これは膠濟鐵道の運貨政策によるものである。集散貨物の主なるものは

輸出品 花生、花生油、小麦、棉花、大豆、豆油、牛皮、牛骨、羊毛、羊毛、麻、大麻子油、麥稈、粟、高粱、穀、煤、麻、木材、鹽、硝石、海產物、紙、藥、木材

交通 膠濟鐵道によつて青島に出づる外、津浦鐵道によつて北は天津に南は浦口に達し、徐州に於て膠濟鐵路に連絡河南陝西方面に向ふ。自動車路も四道發達してゐるので附近各縣との交通は極めて便利である。此外に濟南より渤海沿岸の羊角口に達する小清河の水運があり日下民政廳に於て改修發掘中であるが、完成の時は六百噸級の汽船を通航せしむる計劃であると云ふ。

通信 設置電話局の外に電報局及び無線電信局があり、省内外及び海外各地との通信を掌つてゐる。

主要機關 山東省政府、日、英、米、佛、獨五國領事館、濟南日本居留團、濟南日本商工會

講所、同仁會濟南醫院。
名所古跡 商埠公園、大明湖、歷山、佛慧山、龍洞、太公望釣魚の跡、忠魂碑等があり、更に省城南方四十五哩の地點に有名な泰山及び約百哩の地點に孔子の生地たる曲阜の古跡がある。

芝罘 山東半島の北面に位置し直隸海峽を隔て、東北は大連、旅順と相對し渤海の咽喉を扼する要港である。

沿革 芝罘は昔の狼烟臺一烽火を掲げ以て倭寇の防備に任ぜしめたる地で、支那人間には昔ながらの烟臺と呼んでゐる。芝罘とはその西北方約三哩の地點に秦の始皇帝が登臨したと傳へらるゝ、芝罘山及び其山麓の芝罘村に起因してゐる。嘗つて一漁村に過ぎなかつたが西歷一八六二年天津條約に依り開港して以來北支貿易港として一時股眼を極めたが晩近大連、青島、營口、龍口等が開港せらるゝに及び中樞港としての價值を失ひ衰

退の状態にある。

市街 當地には專營居留地又は租借地を、共同領土である。市内は五區に分れ、東部より順山方面を第一區とし、各區領事館、電信、電話、郵便局、銀行、會社、旅館等がある。海岸より順山に至る海濱は白砂遠く連なり、海水清澄で夏季外人の海水浴場となつてゐる。順山山以西の海面は船舶の投錨區域でこれに沿ひ西南面に互る街衢を支那街とし大小商舖軒を接し、東北に貫通する大街を經と

てゐる。

通貨 當地の通貨は馬蹄銀、大洋、小洋、圓錢の四種で、大口取引は市場にありては主として馬蹄銀、大洋を用ひ其他は補助貨として用ひらる。流通紙幣は匯豐銀行券、中國銀行券、交通銀行券の三種である。

龍口 山東省の北沿海芝罘の西にあつて、大正三年日露戰役の際皇軍獨立第十八師團の上陸地として有名である。現在は芝罘の轉運軍の勢力範圍であるが商工業は餘り振はなない、併し漁漁漁業の根據地として知られてゐる。

太原 山西省の省城で北東二面に山を控へ前後に河を有する要塞堅固の山西省の政治經濟の中心で

入額を有し、常に輸入超過で昭和九年度に於ては左の如き數を示してゐる。

輸入 一九、八二七、一一五萬圓
輸出 一四、一六二、六三三萬圓
差引 五、六六四、三八三萬圓
右の内對外貿易額は左の如し。

輸入 四、七二二、八二四萬圓
輸出 五、七二二、九五五萬圓
同年度常關貿易は左の如し。

輸入 七、〇三〇、五五二萬圓
輸出 二、一二七、〇七四萬圓
主要なる輸入品は綿織品、絹絲、石油、砂糖、糖草、染料、麥粉、大豆、野薑、木材、石灰、鐵屑、雜貨で、輸出品の主なるものは麥粉、レース、落花生、豆粕、絹絲、蠶卵、果物、野菜、藥草、豆類等である。

交通 市内は近年全市に互り道路を徹底的に改修したので車馬の往來頻繁である。市外縣縣に向ふ磁石自動車路、威海衛間に赴く烟威自動車路、青島芝罘間の青煙自動車路がある。海路は芝罘大連間は阿波共同汽船其他の汽船が往復し、大阪商船其他の北支航路汽船が時々寄港し

居留民會、芝罘觀劇所、日本電信局、三井物產出張所。
(支那側) 公安局、地方法院、地方檢察廳、警務稽察支所、東海關監督公署、東海關、一等郵便局、電報局、電話局、政記公司、招商局、總商會。
(外人側) 英、米、和蘭、諸國、瑞典各國領事館、和記洋行、太古洋行、克勝洋行(以上英國)、美孚洋行、土美洋行、遠東洋行(以上米國)、萬國洋行、埃斯洋行(以上獨逸)、英國商會事務所、外人商業會事務所。

貿易 近來支那動亂の餘波を受けて貿易額は逐年衰微したが尚一箇年五千萬兩近くの輸出

北支那概観——北支の主要都市

察哈爾省の省城で外蒙古との交通並に貿易の要衝である。市街は上堡と下堡の二に分れ民國三年の自開商埠で外蒙に對し茶、烟草、燐寸、砂糖、綿布等を輸出外蒙より毛皮羊毛家畜等を輸入し、人口約十萬を有する支那最東北の蒙古貿易市場である。

張家口

歸化城 綏遠省の省城で民國二年東北五支里の殺邊城と合併したもので、支那人は歸化と呼んでゐる。民國三年の自開商埠地で牛馬羊及び毛皮等の蒙古貿易の盛んな地である。

張家口

歸化城

張家口

張家口

張家口

張家口

一年間の滿洲國法令

詔書

詔書對日本帝國修睦聯歡等の旨

宮内府令

- 一 文官大禮服及宮内官職服用に関する件 公布 日附 日附 備
- 二 宮内官職令施行細則 三六 三六
- 三 宮内官退職死亡賜金令施行細則 三六 三六

帝令

- 一 陸軍式及海軍式御服制式 三三三 三三三
- 二 皇室大典禮員會官制 二二 二二
- 三 宮内官職服用制式 三三三 三三三
- 四 宮内官職令 三三三 三三三
- 五 宮内官退職死亡賜金令 三三三 三三三
- 六 皇帶旗制式 三七 三七
- 七 宮内府官制中改正の件 三三三 三三三
- 八 宮内官官等俸給令中改正の件 三三三 三三三
- 九 陸軍式及海軍式御服制式中改正の件 三三三 三三三
- 一〇 宮内府官制中改正の件 三三三 三三三

條約

- 三 皇宮近衛官制 七七 七七
- 一 北滿鐵道に関する協定 三三 三三
- 二 北滿鐵道に關する協定書 三三 三三
- 三 滿洲江國境を通過する列車直通運輸及段勝手積荷運送に關する協定 三三 三三
- 四 日滿經濟共同委員會設置に關する協定 七七 七七

軍令

- 一 江防艦隊令 三三 三三
- 二 海軍禮節令 三三 三三
- 三 陸軍禮節令 三三 三三
- 四 大同元年軍令第三號滿洲國海軍軍式廢止の件 三三 三三
- 五 傳從武官處分令中改正の件 三三 三三
- 六 儀仗勤務に關する件 三三 三三

院令

- 一 貯蔵物品種類名稱及略號の件中改正の件 七七 七七
- 二 大同二年教令第七十九號施行に關する件 三三 三三
- 三 官史補遺令施行細則 三三 三三
- 四 官史退職死亡賜金法施行細則 三三 三三
- 五 臨時休日に關する件 三三 三三
- 六 職員及傭人の給料支給に關する改正の件 三三 三三
- 七 制服服用の關係用する勳章記章の略號に關する件 三三 三三
- 八 國務院統計事務規程中改正の件 三三 三三

勅令

- 一 勅令交付金法 九八 九八
- 二 商標局官制中改正の件 九八 九八
- 三 中央觀察廳官制中改正の件 九八 九八
- 四 鐵道營業法 九八 九八
- 五 國立醫院官制 九八 九八
- 六 高等官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 七 委任官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 八 金融合作社法 九八 九八
- 九 滿洲中央銀行法中改正の件 九八 九八
- 一〇 森林事務所官制中改正の件 九八 九八
- 一一 國務院設置局官制中改正の件 九八 九八
- 一二 國務院各部官制中改正の件 九八 九八
- 一三 司法部に臨時に職員を置くの件 九八 九八
- 一四 高等官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 一五 省公署官制 九八 九八
- 一六 稅捐局官制改正の件 九八 九八
- 一七 高等官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 一八 委任官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 一九 官史退職死亡賜金法 九八 九八
- 二〇 陸軍服制中改正の件 九八 九八
- 二一 海軍服制法 九八 九八
- 二二 高等官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 二三 中央卸賣市場法 九八 九八
- 二四 衛生技術師官制 九八 九八
- 二五 高等官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 二六 委任官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 二七 駐日本國領事館職員暫行定員令 九八 九八
- 二八 稅關官吏服制 九八 九八
- 二九 國家監査官制 九八 九八

條約

- 一 北滿鐵道に關する協定 三三 三三
- 二 北滿鐵道に關する協定書 三三 三三
- 三 滿洲江國境を通過する列車直通運輸及段勝手積荷運送に關する協定 三三 三三
- 四 日滿經濟共同委員會設置に關する協定 七七 七七

軍令

- 一 江防艦隊令 三三 三三
- 二 海軍禮節令 三三 三三
- 三 陸軍禮節令 三三 三三
- 四 大同元年軍令第三號滿洲國海軍軍式廢止の件 三三 三三
- 五 傳從武官處分令中改正の件 三三 三三
- 六 儀仗勤務に關する件 三三 三三

院令

- 一 貯蔵物品種類名稱及略號の件中改正の件 七七 七七
- 二 大同二年教令第七十九號施行に關する件 三三 三三
- 三 官史補遺令施行細則 三三 三三
- 四 官史退職死亡賜金法施行細則 三三 三三
- 五 臨時休日に關する件 三三 三三
- 六 職員及傭人の給料支給に關する改正の件 三三 三三
- 七 制服服用の關係用する勳章記章の略號に關する件 三三 三三
- 八 國務院統計事務規程中改正の件 三三 三三

勅令

- 一 高等官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 二 委任官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 三 省公署官制中改正の件 九八 九八
- 四 自治廳官制中改正の件 九八 九八
- 五 郵政管理局官制中改正の件 九八 九八
- 六 郵政局官制中改正の件 九八 九八
- 七 委任官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 八 消費稅課稅物件製造取銷法 九八 九八
- 九 石油專賣法 九八 九八
- 一〇 石油專賣實施法に付し既に營業者の取銷買收に關する件 九八 九八
- 一一 海關進口稅則中改正の件 九八 九八
- 一二 海關出口稅則中改正の件 九八 九八
- 一三 海關物品、海及國境に對する關稅の補償廢止に關する件 九八 九八
- 一四 關稅附加稅法 九八 九八
- 一五 糖稅附加稅法中改正の件 九八 九八
- 一六 輸入物品に對する內國消費稅に關する件 九八 九八
- 一七 日本國駐在外交官官制中改正の件 九八 九八
- 一八 高等官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 一九 將軍設置令 九八 九八
- 二〇 委任官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 二一 國務院各部官制中改正の件 九八 九八
- 二二 公文書式令中改正の件 九八 九八
- 二三 興安各省公署官制 九八 九八
- 二四 高等官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 二五 委任官官等俸給令中改正の件 九八 九八
- 二六 省公署官制中改正の件 九八 九八

陸軍服制中改正の件	八二	八二	別表
臨時防役職員設置に關する件	八八	八八	防役官
高等警官等傳給令中改正の件	八八	八八	防役官
委任警官等傳給令中改正の件	八八	八八	別表
在蒙領事館職員令中改正の件	八八	八八	別表
北滿鐵道公債法中改正の件	八八	八八	債權公債追加
公務の爲危篤に附りたる者等の障等及 増給に關する件	八三	八三	
先 恩賞局に臨時職員を置くの件	八三	八三	
二 國有鐵道職員の警察事務執行に關する件	八三	八三	
三 職權法施行期日に關する件	八三	八三	
四 保存法	八三	八一	供託法
五 保存局官制	八三	八一	保存局
六 委任警官等傳給令中改正の件	八三	八一	保存局
七 地方稅法	八三	八一	保存局
八 職權法第九條の規定に依る資源基金上 必要な購物を目的とする職權の出額 の制限に關する件	八三	八一	保存局

民政部令

元、二 國立醫院の名稱及位置	六二	六二	
三 哈爾濱警察廳所屬警察廳の名稱、位置 及管轄區域中改正	一〇、一〇	一〇、一〇	
一 康德元年度車牌掛圖樣式	一〇、一〇	一一、一一	
二 衛生技術廠分廠設置の件	一一、一一	一一、一一	
三 省公署定員	一一、一一	一一、一一	
四 實業廳及教育廳又は其の一を置かざる 省公署指定の件	一一、一一	一一、一一	
五 外國労働者取締規則	一七、一七	一七、一七	
六 警察分隊設置に關する件	一七、一七	一七、一七	
七 警察官吏配賦調換規則	一七、一七	一七、一七	

軍政部令

元、四 陸軍軍醫令	七六	七六	
五 國立種馬場の名稱位置及管轄區域	七六	七六	
六 收入印紙を以て納付せしむる馬政局所 管の手續料の種目設定に關する件	七六	七六	
七 測量制限法施行規則	七六	七六	
八 警馬法施行規則中改正の件	七六	七六	
九 測量制限法施行規則中改正の件	七六	七六	
一〇 國立種馬場の管轄區域指定の件	七六	七六	

財政部令

元、七 織物類の密輸取締に關する件	一〇、一〇	一一、一一	
八 徵稅交付金法施行規則	一〇、一〇	一一、一一	
九 金庫合作社法施行規則	一〇、一〇	一一、一一	
一〇 收入印紙を以て納付せしむる財政部所 管の手續料の種目設定に關する件	一〇、一〇	一一、一一	
一一 收入印紙發售規則	一〇、一〇	一一、一一	
一二 稅關關人服制	一〇、一〇	一一、一一	
一三 哈爾濱精出松花江輸送洋貨の取扱に關 する件	一〇、一〇	一一、一一	

一 石油類專賣に伴ふ既存營業者の設備買 取申請に關する件	一一、一一	一一、一一	
二 煙草稅法規則中改正	一一、一一	一一、一一	
三 康德元年勅令第五十六號の施行に關 する件	一一、一一	一一、一一	
四 消費稅課稅物件製造取締法施行規則	一一、一一	一一、一一	
五 石油類專賣法施行令	一一、一一	一一、一一	
六 大同二年財政部令第一六號雜種財產取 扱規則中改正の件	一一、一一	一一、一一	
七 大同二年財政部令第一八號國有地處分 軌道發給規則中改正の件	一一、一一	一一、一一	
八 附加稅、麥粉稅及水稅稅法に關す る運搬の禁止に關する件	一一、一一	一一、一一	
九 金庫合作社理事及副理事職務及懲戒規 程	一一、一一	一一、一一	
一〇 金庫合作社聯合會理事長、副理事長及 理事職務及懲戒規則	一一、一一	一一、一一	
一一 金庫合作社聯合會及金庫合作社有給職 員身元保證金規則	一一、一一	一一、一一	
一二 金庫合作社聯合會及金庫合作社有給職 員特別給與支給規則	一一、一一	一一、一一	
一三 金庫合作社聯合會及金庫合作社有給職 員特別給與支給規則	一一、一一	一一、一一	
一四 專賣署及其の分署に工廠の名稱位置 中改正	一一、一一	一一、一一	
一五 銀行業を目的とする會社の設立に關す る特例の件	一一、一一	一一、一一	
一六 大同二年財政部令第十六號中改正の件	一一、一一	一一、一一	
一七 康德元年財政部令第四十七號中改正の件	一一、一一	一一、一一	
一八 同島地方に於ける織物の密輸取締に關 する件	一一、一一	一一、一一	
一九 康德二年勅令第十五號に基く既存營業 する件	一一、一一	一一、一一	

一 書の現有石油類專賣に關する件	一一、一一	一一、一一	
二 石油類專賣法施行期日に關する	一一、一一	一一、一一	
三 北滿鐵道公債(第一期)發行規則	一一、一一	一一、一一	
四 阿片卸賣人販賣區域表中改正の件	一一、一一	一一、一一	
五 專賣署及其の分署の名稱位置及管轄區 域に關する件	一一、一一	一一、一一	
六 專賣工廠の設置に關する件	一一、一一	一一、一一	
七 專賣署員私員に關する件	一一、一一	一一、一一	
八 專賣署員私員の定員に關する件	一一、一一	一一、一一	
九 專賣署員私員給與に關する件	一一、一一	一一、一一	
一〇 專賣署員私員及編私員被服及器具給與 規則	一一、一一	一一、一一	
一一 專賣公署編私員暫行懲戒規則中改正の件	一一、一一	一一、一一	
一二 暫行專賣署員私員及編私員被服及器具支 給に關する件	一一、一一	一一、一一	
一三 暫行專賣署員特別給與規則中改正の件	一一、一一	一一、一一	
一四 第三表編私員名稱及位置欄中追加の件 (吉黑運送署所轄)	一一、一一	一一、一一	
一五 政府に對する保證金、供託金其の他の 擔保に供したる國債證券の買入銷却に 關する規則	一一、一一	一一、一一	
一六 康德二年財政部令第八號中改正の件	一一、一一	一一、一一	
一七 大同元年財政部令第十七號中改正の件	一一、一一	一一、一一	
一八 暫行貿易民船取締規則中改正の件	一一、一一	一一、一一	
一九 內國稅關獎勵規則	一一、一一	一一、一一	
二〇 徵稅交付金法施行規則中改正の件	一一、一一	一一、一一	
二一 段關管轄區域改正の件	一一、一一	一一、一一	
二二 段關分館の名稱及位置改正の件	一一、一一	一一、一一	
二三 營業稅法施行規則	一一、一一	一一、一一	
二四 法人營業稅法施行規則	一一、一一	一一、一一	

元 總國功勞勳章金貨發行規程	七三	七三
二 樞密院支那、探運局、樞密院、樞密局 の名稱、位置及管轄區域の件	七三	六二
三 樞密院支那、樞密院、樞密局の名稱、 位置及管轄區域の件	七三	六二
四 樞密院二年財政部令第八號中改正の件	七三	七五
五 北滿鐵道公債第二回發行規程	七三	七三
六 財政部令第三十一號中改正の件	七三	六八
七 地政分府設置の件	七三	七三
八 稅關の休日、稅務時間等に關する件	七三	六二
九 北滿鐵道公債第二回發行規程中改正 の件	七三	七三
一〇 酒稅法施行規則	七三	七三
一一 家釀自用酒稅法施行規則	七三	八二
一二 阿片卸賣人の販賣區域中改正の件	七三	八二
一三 樞密院二年財政部令第八號中改正の件	七三	八二
一四 綏河、大青島運局官廳販賣價格決定の件	七三	八二
一五 政府に對する保體金供託金其他買入 額却に關する規程中改正の件	七三	八二
一六 地方稅法施行規則	七三	八二
一七 金融合作社施行規則中改正の件	七三	八二

外交部令

一 暫行滿洲帝國駐日公使館學務處規程	七三	七三
二 駐日公使館學務處規程改正の件	七三	六二
三 國外在留人假登錄暫行規則中改正の件	七三	七三

實業部令

一 森林事務所の名稱、位置及管轄區域	七三	七三
二 收入印紙を以て納付する手数料に關す る件	七三	七三

文教部令

一 暫行滿洲帝國駐日公使館學務處規程	七三	七三
二 暫行滿洲帝國駐日公使館學務處規程 改正の件	七三	六二
三 駐日公使館學務處規程改正の件	七三	六二
四 學校學年學期休業日暫行規程中改正の件	七三	六二

財政部令

一 大同三年興安總署第一號改正の件	七三	七三
二 興安各省公署定員の件	七三	六二
三 興安總署改良場の名稱及位置	七三	六二

交通部令

一 傳真明書書簡送達規程	七三	七三
二 交通部分科規程中改正の件	七三	六二
三 郵便切手及簡書に關する部令中改正	七三	六二
四 郵政管理局分處規程中改正	七三	六二
五 郵政分科規程中改正	七三	六二
六 郵便切手及簡書に關する部令中改正	七三	六二
七 中華民國宛郵便物の郵便料金等制定の件	七三	六二
八 暫行滿洲國郵便規則中改正の件	七三	六二
九 郵局經費規程	七三	六二
一〇 滿日小爲替規程中改正の件	七三	六二
一一 船隻札規程	七三	六二
一二 皇帶船下訪日記金郵便切手等に郵便附 屬書發行の件	七三	六二
一三 船隻検査暫行規程廢止の件	七三	六二
一四 滿洲江蘇兩省古河島蘆里河松野河及 興風湖の航行規程	七三	六二
一五 暫行無煙煙氣運賃從業資格檢査規程	七三	六二
一六 小樽船河川航運規程	七三	六二
一七 引受時刻證明郵便規則	七三	六二
一八 日本國通貨に依る郵便貯金取扱に關す る件	七三	六二

興安總署令

一 興安總署委任官特選職員職規程	七三	七三
二 興安總署委任官特選職員職規程 修正の件	七三	六二
三 興安總署改良場の名稱及位置	七三	六二

奉天省令

一 荷車取締規則	七三	七三
二 暫行竹類使用取締規則中改正	七三	六二
三 荷車取締規則中改正	七三	六二
四 奉天省令第一號施行期日	七三	六二
五 奉天省令第二號施行期日	七三	六二
六 旗店取締規則	七三	六二
七 奉天省令第一號施行期日	七三	六二
八 奉天省令第二號施行期日	七三	六二

熱河省令

一 自轉車取締規則	七三	七三
二 人力車取締規則	七三	七三
三 限内販賣取締規則	七三	七三
四 爆竹類取締規則	七三	七三
五 旅館營業取締規則	七三	七三
六 暫行旗店營業取締規則	七三	七三
七 自轉車取締規則	七三	七三

浙江省令

一 暫行馬匹調查規則	七三	七三
------------	----	----

興安南省令

一 興安南省令東科中廣西庚、遼北警務 規程	七三	七三
--------------------------	----	----

北滿特別區令

一 暫行馬匹印規程	七三	七三
-----------	----	----

哈爾濱警察廳令

一 哈爾濱特別市暫行汚物掃除規則	七三	七三
二 暫行捕用法令統一辦法	七三	七三
三 捕獲のオチツタは元年を以て一元一五は元年の第十五號、二、一は二年の 第一號	七三	七三

在滿銀行會社一覽

(括弧内金額は資本金、他の數字は設立年月日、人名は代表取締役、昭和九年末現在)

銀行

- △正陽銀行(千二百萬圓)大連市大連街
- △滿洲銀行(一千萬圓)大連市伊勢町六
- △大連銀行(百七十五萬圓)營口老龍
- △滿洲殖産銀行(五十萬圓)奉天住吉町
- △大連銀行(百萬圓)安東縣市場通七ノ
- △安東實業銀行(五十萬圓)安東縣四番
- △日華銀行(五十萬圓)鐵嶺城內大八、
- △新東銀行(百萬圓)新京三笠町三ノ八
- △吉林銀行(三十萬圓)吉林省城新開門
- △大連銀行(五十萬圓)大連市西通

取引所・清算會社

- △大連株式商品取引所(五百萬圓)大連
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大
- △安東取引所(二百萬圓)安東縣大和橋
- △大連取引所(千二百萬圓)大連市
- △大連取引所(五百萬圓)大連
- △大連五品代(五十萬圓)大連
- △大連取引所(五十萬圓)大連
- △大連取引所(五十萬圓)大連
- △大連取引所(五十萬圓)大連
- △大連取引所(五十萬圓)大連

無盡業

- △新東取引所(百萬圓)新京東五條
- △安東取引所(五十萬圓)安東縣大和
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大
- △大連取引所(百萬圓)奉天十間房(大

金融及買賣仲介業

- △日華銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連
- △大連銀行(五十萬圓)大連

三、二、一〇 吉林省

- △大連銀行(七十五萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連
- △大連銀行(二十萬圓)大連

商事會社

- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連
- △大信洋行(百萬圓)大連

(大)三、四、二九 西川島

- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連

一八一(大)三、八、二〇 古田嶺

- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連
- △大連銀行(三十萬圓)大連

△長崎洋行(一萬圓)奉天小西

- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西
- △長崎洋行(一萬圓)奉天小西

滿洲國法人

- （康德二年四月末現在）
- △滿洲航空（三百八十五萬圓）奉天 大同二、二六、二七
- △營口紡績（二百萬圓）營口 大同二、三、二四
- △大興（六百萬圓）新京 大同二、七、一
- △安東電業（二百萬圓）安東 大同二、七、二八
- △滿洲電信電話（日本金五千萬圓）新京 大同二、八、三一
- △西豐電業（五百萬圓）西豐縣 大同二、九、三二
- △大同酒類（百六十七萬圓）哈爾濱 大同二、一、一四
- △北票炭礦（二百五十萬圓）新京 大同二、一、二四
- △營口商業銀行（百萬圓）營口 大同二、一、二五
- △鐵道長途汽車（五萬圓）鐵道 大同二、一、二六
- △大同洋灰（三百萬圓）吉林 大同二、一、二七
- △滿洲自動車交通（二十五萬圓）新京 大同二、一、二八
- △江化電業（十萬圓）江化縣 大同二、三、一八
- △延吉電業（二十萬圓）延吉縣 大同二、四、一八
- △哈爾濱交易所（二百萬圓）大同三、一、二二
- △滿洲滑石（二十五萬圓）海城 大同三、二、九
- △蓋平電業（七萬圓）蓋平 大同三、一、三〇
- △滿洲石油（日本金五百萬圓）新京 大同三、一、二四
- △昌圖電業（六萬圓）昌圖 大同三、一、二七
- △同和自動車工業（六百二十萬圓）奉天 康德一、三、三一
- △滿洲棉花（二百萬圓）奉天 康德一、四、一四
- △滿洲計器（百五十萬圓）新京 康德一、五、七
- △滿洲農礦（千六百萬圓）新京 康德一、五、七
- △青島自動車（十萬圓）吉林 康德一、五、八
- △滿洲聯合滿洲洋灰（二百萬圓）奉天 康德一、五、一一
- △滿洲探金（千二百萬圓）新京 康德一、五、一六
- △煤油鐵路（十二萬圓）奉天 康德一、六、一
- △大德不動產（百萬圓）新京 康德一、六、四
- △滿洲亞細亞紡績（三百萬圓）奉天 康德一、六、一五
- △益壽銀行（百萬圓）新京 康德一、一八
- △功成銀行（五十萬圓）水吉縣 康德一、六、二六
- △克山電業（五萬圓）克山縣 康德一、七、三
- △滿洲行政協會（二十五萬圓）新京 康德一、七、二六
- △關原長途汽車（五萬圓）開原縣 康德一、七、二八
- △滿洲通信汽車（二十五萬圓）奉天 康德一、八、三
- △大安汽船（三十五萬圓）安東縣 康德一、九、一
- △東方電業（百萬圓）西安縣 康德一、一、二五
- △滿洲電業（日本金九千九百圓）新京 康德一、一、一一
- △五原電業（五萬圓）五原縣 康德一、一、一九
- △哈爾濱批發（七十萬圓）哈爾濱 康德一、一、二七
- △大瀋陽批發（日本金二十萬圓）新京 康德一、一、二八
- △恩順銀行（二十五萬圓）新京 康德一、二、一七
- △世合公銀行（五十萬圓）奉天 康德一、二、二七
- △滿洲銀行（四十萬圓）奉天 康德一、二、二七
- △奉天商業銀行（百萬圓）奉天 康德一、二、二七
- △奉天林業銀行（四十萬圓）奉天 康德一、二、二七
- △房產銀行（十萬圓）哈爾濱 康德一、二、二七
- △新京煤油總批發（十五萬圓）新京 康德一、四、一八
- △四平街煤油總批發（七萬圓）四平街 康德一、四、一八
- △奉天煤油總批發（三十萬圓）奉天 康德一、四、一九
- △營口煤油總批發（四萬圓）營口 康德一、四、一九
- △哈爾濱煤油總批發（二十萬圓）哈爾濱 康德一、四、一九
- △錦州煤油總批發（十五萬圓）錦州 康德一、四、一九
- △鞍山煤油總批發（四萬圓）遼陽縣 康德一、四、一九
- △安東煤油總批發（六萬圓）安東 康德一、四、一九
- △龍江煤油總批發（五萬圓）齊齊哈爾市 康德一、四、一九
- △安東煤油總批發（日本金五十萬圓）奉天 康德一、四、一九
- △蒙自百貨店（十萬圓）營口 康德一、四、一九
- △未興（二十萬圓）營口 康德一、四、一九
- △以上株式會社
- △東滿實業社（二十七萬圓）延吉縣 康德一、四、一九
- △日滿合辦滿洲海運業（十萬圓）海城 康德一、四、一九
- △開源煤油總批發（五萬圓）延吉縣 康德一、二、二五
- △以上各會社
- △長途汽車（四萬圓）連遼 大同三、二、一九
- △大洋（六萬五千圓）哈爾濱 康德一、五、一一
- △協榮（十萬圓）新京 康德一、七、一四
- △吉嶺製材（八萬圓）延吉縣 康德一、八、一八
- △東興（二十萬圓）奉天 康德一、八、三〇
- △吉林興業金庫（五萬圓）吉林 康德一、一、三〇
- △以上合資會社



日用便覽

滿洲國の祝祭日

元旦 陽曆一月一日、各官公署機關等は拜賀式を舉行、三日間休暇、名刺を交換して賀年、民間では何等行事もなせず。

春節 陰曆一月一日、各官公署機關等五日間休暇。

萬壽節 陰曆一月十三日、三千萬民衆の共に相敬仰する滿洲國皇帝陛下御慶賀の佳節、宮中にては莊重なる御儀あり、政府要人外國使臣參内して賀詞奏上、政府各機關學校その他休暇して慶祝。

元宵節 陰曆正月十五日、一名燈節、端午、仲秋とともに三大節句の一つ。

建國記念日 陽曆三月一日、各官公署機關を始め民間にても

盛んなる祝賀式、祝賀の備しをなす。

春秋祝賀 春祭は陰曆二月上丁日、秋祭は同八月上丁日、孔子を祀る、首都新京では皇帝親しく代拜を欲して祝賀、地方省域では當該長官これを主宰、各廳官署、法團の首長これに陪祭、各縣では縣長これを主宰、政府各機關各學校休暇、學校生徒は祝典を助祭。

滿洲年中行事

一 月

【一日】 午前一時各家の男女皆早起し、初めて堂門を出る時は必らず吉方に向つて喜神を迎へ、棧屋内に歸る。又前夜諸神の前に禮を行ひ、この夜爆竹を放ち天明に至る。天明に至り各商民盡く新衣裳を装ひ、各親友の家に至り叩賀する。これを拜年といふ。拜年の禮は三日に分ち、初一日は父方、二日は母方、三日は妻の親戚に至り、四日か

【五日】 破五といふ婦女はじめて縫綴をする。四日から六日に至る三日間は地方により商家で所有するすべての貨物の価値を評する。これを贖買といふ。

【六日】 この日は商家は半日の間、初賃りをする風がある。

【九日】 玉皇上帝の誕生期で各商民皆廟に詣で、香を焚き禮拜する。

【十日】 俗に穀生日と稱し各戸皆粟食を作る。

【十五日】 この日の晚、元且と同じく各神を祀る。十三日から十七日までの五日間を燈籠といふ、夜に入ると各大持燈籠を掛け各家の婦女も出てこれを見て、各婦の子供は皆燈籠彩船及び高脚踏の遊戯をして沿街を巡

遊する。これを映歌といふ。又この間を元宵節といひ粉糝を以て祖先を祀り街市に張燈するこの日男女出遊して平沙を歩む。然る時は年中病災に罹ることなしといひ、これを走百病といふ。

【二十五日】 龍王日といふ各家皆獨頭の蒜を門口に掛けて病を避ける。小兒女は五色を剪つて圓形とし、彩絲を以て。これを穿つたものを帯びる。これを小龍尾といふ。家々では皆合菜を食ふ。誠に龍耳日吃合菜といふ。以て豊年の兆とする。

【二月】 花朝といふ。又俗に龍擡頭日といひ、家毎に豚肉及...

【十五日】 仲秋節で、各商民戸々酒進する。俗に祭太陰又は供月といふ。

【九日】 而陽節といひ、各家皆豚を殺して美食する。この日辛及び白菜を豚肉に合して煮るが者多い。又菊花酒を食ふ。

【十七日】 財神の誕生日で各商家でこれを祭り、皆廟に詣で祭拜する。

【二日】 この日も亦鬼節と稱し、城隍神へ出遊して魂祭すること清明及び七月十六日と同じ、この日鷹鷲を祀り、送喪衣といふ。又この日から粥廠を開き、綿衣を散じ以て窮民を濟す。

【冬至】 この日各戸夜間皆先祖諸神を祭り、各屯は皆豚を殺して包子を食ひ、地方の苦力も亦開宴すること略々正月と同じ

び禮物を食ひ、夜に至ると各處に蠟を點す。名附けて照東遊といふ。又中雷神の誕生期として各家皆祭壇を設け、婦女はこの日裁縫することを忌む。

三 月

【三日】 清明節である。各城では城隍神を出巡する。この日は神像を擔ぎ、儀仗を用ゐ、鼓樂を以て前導し、城北に至つて海主の孤魂を祭る。この日各家は皆祖先を祭り、人死して三年以内なればその家人皆墳墓に至つて焚紙する。

【十四日】 地藏菩薩の誕生日である。

【十六日】 城隍奶奶の誕生日である。又山神廟の祭日で、地方の人參商は相集つて廟内で演劇し、山村の居民は牲を具へてこれを祀る。

【二十八日】 東嶽大帝の祭日で、三月一日から末日に至る山東泰山の神を祀るものである各處の東嶽廟に祭壇がある。

四 月

【八日】 觀音の誕生日である

【十五日】 呂祖の誕生日である

【十八日】 海神の誕生日である。この日から三夜間は娘娘神聖會といふ。この日午飯に多々包子を食ふ。又小兒七、八歳なるものはこの日に留髪し、廟に詣で僧侶の喝令を受け家に歸る風がある。これを跳橋といふ。廟から家に歸る時、後方を顧みること禁ずるからすればその手が壯健であるとされてゐる。

【二十八日】 藥玉の誕生日である。

五 月

【五日】 端午節で、各商民皆酒進を張る。又門戸に菖蒲を懸け、角黍を包み、糯米を食ひ雄黃酒を飲み、門欄に胡蘆を掛ける。婦女は彩糸を以て小囊を製して髪を覆ひ、或は布を以て虎を作り、兒の肩に懸いで除災の意とする。

【十三日】 俗に皇帝單刀會といひ、十二日を俗に關帝拜刀期といふ。早天と雖も必らず雨が降ると傳へてゐる。

六 月

【六日】 土用の入りで、虫玉廟會がある。各菜園性を備へて神を祀る、この日多く衣を曬し、書を曝す。又各郷民は多く豚を殺して酒進し、又麩を食ふ處もある。

【十九日】 觀音堂で演劇祀神する。

【二十四日】 關帝廟會がある

【七月】 織女渡河の日で、各家兒女夜間織女神を供祭する。

【十五日】 中元節で又鬼節と稱する。鬼とは幽魂の意である。即ち魂祭で各家諸神先祖を祭り、各城では城隍神郊外に出巡し、各縣官衙の郊外に至り無主の孤魂を祭る。

十二 月

【八日】 各家皆百菓及び各雜糧を用ゐる粥として食ふ。これを臘八粥といふ。

【二十三日】 晩に臘を祭り糖瓜を用ゐる。これを臘臘といふ。各家の祭後臘神像を撤去し、十三日目に至つて新しいものに換へる。又この日を過小年といふ。盛んに爆竹を放つ。この日の前後數日は家々に餃子を食ふ風がある。

【除日】 早朝各神像祖先の前に祭物を陳設供獻し、燭を點じ香を焚き、朝六時に至つて茶酒を瀆ぎ祭神の禮を行ふ。各神の名は關帝張仙、關世普菩薩、財神等又中雷神、關神、門神等の各神は商民皆これを祭る。午後に至つて各家々長庚食、水菓等の物を子弟婦女に分ち、家長から以下皆蠟燭を分つ。これを壓歲錢又は守歲錢といふ。この日朝から爆竹を放つことが絶えぬ。晩は家の内外に點燈し親友

である名づけて蒸食といふ。

滿洲國の度量衡

滿洲國の度量衡は從來は各地によつて異り換算の困難なことを長くばかりであつたが大正三年一月二十五日教令五號を以て二十八節條より成る度量衡制が制定公布され三月一日から實施せられて以來、尺斤制を主制とし、米粟制を補助としてゐる。但し之による急激な前制上の變化を避けるため従前慣用せられた度量衡は新法施行後五年間は之を取引又は圖同のためにする度量

衡の計量に使用し得る規定になつてゐる。

新法度量衡		舊法度量衡	
單位	換算	單位	換算
分	0.0001 尺	寸	0.0001 尺
厘	0.001 尺	分	0.001 尺
毫	0.01 尺	厘	0.01 尺
絲	0.1 尺	毫	0.1 尺
忽	1 尺	絲	1 尺
微	10 尺	忽	10 尺
纖	100 尺	微	100 尺
沙	1000 尺	纖	1000 尺
渺	10000 尺	沙	10000 尺
漠	100000 尺	渺	100000 尺
涇	1000000 尺	漠	1000000 尺
渇	10000000 尺	涇	10000000 尺
洧	100000000 尺	渇	100000000 尺
洧	1000000000 尺	洧	1000000000 尺
渇	10000000000 尺	渇	10000000000 尺
渇	100000000000 尺	渇	100000000000 尺
渇	1000000000000 尺	渇	1000000000000 尺
渇	10000000000000 尺	渇	10000000000000 尺
渇	100000000000000 尺	渇	100000000000000 尺
渇	1000000000000000 尺	渇	1000000000000000 尺

單位	換算
分	0.0001 尺
厘	0.001 尺
毫	0.01 尺
絲	0.1 尺
忽	1 尺
微	10 尺
纖	100 尺
沙	1000 尺
渺	10000 尺
漠	100000 尺
涇	1000000 尺
渇	10000000 尺
渇	100000000 尺
渇	1000000000 尺
渇	10000000000 尺
渇	100000000000 尺
渇	1000000000000 尺
渇	10000000000000 尺
渇	100000000000000 尺
渇	1000000000000000 尺
渇	10000000000000000 尺

平方方	〇、〇一平方方
平方方	單位
阿阿	一〇、〇〇平方方
阿阿	一〇、〇〇平方方
之を用ひる。	但阿及阿は土地又は水面を積にのみを用ひる。

升升	〇、〇一升
合合	單位
勺勺	〇、〇一升
勺勺	〇、〇一升
斗斗	單位
石石	〇、〇一立
立立	〇、〇一立
立立	單位
立立	〇、〇一立
立立	單位

滿洲國從來の度量衡米突法比較表

地方	度	衡
新	尺	斤
京	尺	斤
哈	尺	斤
哈	尺	斤
哈	尺	斤
吉	尺	斤

三五三分の一	三五三分の一
三五三分の一	三五三分の一
三五三分の一	三五三分の一
三五三分の一	三五三分の一
三五三分の一	三五三分の一
三五三分の一	三五三分の一
三五三分の一	三五三分の一
三五三分の一	三五三分の一
三五三分の一	三五三分の一

種類	第一種	第二種	第三種	第四種	第五種
封住
郵便
印刷
書籍
文具
紙類
その他

種類	料金
郵便	...
印刷	...
書籍	...
文具	...
紙類	...
その他	...

郵便規則と料金

取扱制限

一、内閣閣内及ハシ關東州外日本側局所から滿洲國側局所に宛てたるものは左の郵便物に限りこれを取扱はぬ。

一、關東州内及ハシ關東州外日本側局所から滿洲國側局所に宛てたるものは左の郵便物に限りこれを取扱はぬ。

一、關東州内及ハシ關東州外日本側局所から滿洲國側局所に宛てたるものは左の郵便物に限りこれを取扱はぬ。

一、關東州内及ハシ關東州外日本側局所から滿洲國側局所に宛てたるものは左の郵便物に限りこれを取扱はぬ。

内國通常郵便料金

種類	第一種	第二種
郵便
印刷
書籍
文具
紙類
その他

外國宛通常郵便料金

種類	料金
郵便	...
印刷	...
書籍	...
文具	...
紙類	...
その他	...

日用便覽——郵便規則と料金

Table of postal rates for various categories: 業務用書類 (Business Documents), 商品見本 (Samples), 小形包装物 (Small Packages), 價格表記書狀 (Pricing Statements), 價格表記箱物 (Pricing Boxes).

小包郵便料金

Table of small parcel postal rates categorized by destination: 州内 (Within Prefecture), 州外 (Outside Prefecture), 内海、南洋 (Inland Sea, South Seas), 内陸、北支 (Inland, North China), 朝鮮、支那 (Korea, China), 滿洲、中朝 (Manchuria, North Korea).

郵便物

Table of postage rates for different types of mail: 郵便物 (Postage), 郵便物 (Postage), 郵便物 (Postage).

快速郵便

Text detailing express mail services, including pickup times, delivery times, and special regulations for various mail types.

外國郵便物特殊取扱料金

Table of special handling fees for international mail, categorized by type of mail and destination.

航空郵便取扱料金

Table of handling fees for airmail, categorized by destination and mail type.

電報と電話

滿洲和文電報取扱局所

Extensive list of telegraph and telephone exchange stations across Manchuria and other regions, including station names and locations.

滿洲旅行案内

旅行の季節

春一四、五、六月は花期新緑。
夏一七月中旬から八月中旬は雨期であるが、内地の梅雨に比して雨量は少く、山に降したより却々よい。
秋一九、十月は紅葉シーズン。
冬一三寒四温冬の滿洲は或意味でほんとの滿洲の姿であり、滿洲活氣漸漲。鉄嶺によくスケージチングによし。

服装 鐵嶺を離れ奥地深く入る人は別として、沿線主要都市視察の旅行ならば日本内地のそれとさして遜所なく、特別に携行を要するものはないが、氣候が大陸的で暑期でも夜間は涼氣を覚えることがあるから、腹巻、セーター類の用意があれば申分ない。雨は比較的少いから洋傘よりもレイシコートの方が便利で、冬も普通の外套でよい。

携帶品 外國製寫眞機望遠鏡等を携帶する人は海路大連行の場合は神戸又は門司税

関で、陸路朝鮮經由の場合は安東驛内新義州税関出張所で、清津・雄基上陸の場合は上三家驛又は國門驛内税関出張所で携帶證明を受けて置かねと歸路税関されることがあつたりするから注意肝要である。

要塞地帯 左記は要塞地帯であるから、寫眞撮影或は描寫には要塞司令官の許可を得る必要がある。

大連及びその附近、旅順及びその附近、鴨綠江鐵嶺橋附近。

通貨 從來滿洲に於ける幣制は種々雑多で何等統一がなかつたが、滿洲國成立と同時に諸々統制せられつゝある。

滿鐵沿線 日本通貨及び朝鮮紙幣の他に滿洲國幣、現大洋票、小洋錢、大洋錢、銅元。

北滿洲及び滿鐵沿線外 日本貨幣及び朝鮮紙幣の流通する場所もあるが、滿洲國幣が便利である、この他に現大洋票、大洋錢（一圓銀貨、各地到る處に流通）、小洋錢（五十錢、二十錢、十錢、五錢銀貨にして大洋

麻雀、雙眼鏡、寶石類等の奢侈品は輸入地市價の十割の輸入税を課せられる。

左記の煙草は自用と認められた場合のみ肥敷數量だけは免税されてゐる。なほ煙草は検査の封印を必ず受けねばならない。

酒類 五十本 一人に付何れか一種に限り
五十本 一人に付何れか一種に限り

右は何れも税關更の認定であるから、之を定量として主張することが出来ないが、この程度ならば先づ免税として許される。

砂糖、菓子類 合せて十斤位迄
ロシヤ産品 三斤位迄
靴類 一皮
襪子 十尺 一人に付何れか一品に限る
帽子 十尺

〔注意〕 大連は自由港であるから、舶來品は内地より安い筈であるが、必ずしもさうでない場合もあるから、内地の相場と比較して買求められることが安全である。

標準時 滿洲の標準時は内地及び朝鮮時間よりも一時間遅れであるから、海路による旅行者は大連着までの間に、陸路の場合には安東で時計の針を一時間だけ戻さなければならぬ。

列車運轉時刻 滿洲内の各鐵道は二十四時間制を採用し、時刻表も凡て之に準據す

る。例へば十五時半發は午後三時半發となる。

旅行記念スタンプ 滿鐵線常備驛—大連

原明、甘井子埠頭、大連、沙河河口、周水子、

曹家河子、旅順、金州、熊岳城、大石橋、

營口、湯崗子、鞍山、首山、遼陽、蘇家屯、

瀋陽、奉天、撫順、鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、新京、本溪湖、撫順、鳳凰

城、五龍驛、安東、國有線常備驛—滿洲里、

錦縣、興城、山海關、遼寧島、瀋陽、東陵、

撫順城、營盤、清原、山城鎮、海龍、朝陽

鎮、西安、鄭家屯、洮南、齊齊哈爾、通遼、

瀋江、呼蘭、萬家屯、瀋陽、北安、五常、

吉林、拉法、圖們、敦化、龍井、延吉、開

山屯、霧石、明月溝、奉天驛站、大虎山、

綏北、北票、綏中、三棵樹。

ビュロー案内所 鮮滿北支所在のジヤパンツリーストビュロー案内所は左の如し。

朝鮮……釜山、京城、平壤
滿洲……大連、奉天、新京、安東、營口、撫順、吉林、圖們、清津、哈爾濱、滿洲里、龍江、山海關
北支……北平、天津、青島
手頃な案内所 南滿洲鐵道旅行案内(滿鐵發行)沿線各驛(同上)鐵道局(鐵道局發行)滿洲汽車時間表(ツリーストビュロー)旅行滿洲(同上)その他各官廳滿鐵等發行の各地案内パンフレット等

錢同標各地に流通す)、銅元(一錢、二錢銅貨にして流通區域大洋錢に同じ)、哈爾濱大洋票(昭和十年六月末迄)等がある。

兩替店 主要乗換驛には兩替店がある。又歸路用國に際しては滿洲貨幣は兩替店で、朝鮮銀行紙幣は大連、釜山の棧橋にある鮮銀の出張所及び雄基、清津に在る同行支店で兩替が必要である。

土産物と税関 税関では旅行に必要な手廻り品以外は課税するのを原則としてゐる。安い珍らしいを買つたが、課税されて高い土産になつた例は澤山ある。

旅客の携帶品は左の區分に依り、税関の検査を受けねばならない。

イ 大連から大連南定期船で門司、神戸に向ふ場合は船中で、又大連から東海定期船で長崎、鹿児島に向ふ場合は上陸地の税関で。
ロ 大連から大連南定期船で大連驛で、託送手荷物は託送品ある場合は同乗務所に任せて申告を必要とする。
ハ この反対の場合は普通店員用の列車中で酒類等に限り。

ニ 滿洲より安東驛經由朝鮮に向ふ(又はその反対)場合は安東驛で、携帶品は車内で、託送手荷物は驛ホーム検査所に於て。
ホ 京圖線北朝日經由の場合同門驛で、京圖線南朝日經由の場合は上三家驛で。

主要旅館

滿鐵直營洋式並に和式旅館

大連……大連ヤマトホテル

旅順……旅順ヤマトホテル

奉天……奉天ヤマトホテル

新京……新京ヤマトホテル

撫順……筑紫館(和)

五龍驛……五龍閣(和)

滿鐵線

大連……遼東ホテル、ナニワホテル、

花屋ホテル、天満屋ホテル、錦城ホテル、

錦水ホテル、亞細亞ホテル、東郷

旅館、西旅館、東洋ホテル、南滿ホ

テル、東旅館、日本橋ホテル、春田旅

館等
旅順……旅順ホテル、寶來館
開拓城……温泉ホテル
營口……清林館
湯崗子……對翠閣、玉泉館
鞍山……近江屋ホテル、扇屋旅館
遼陽……遼塔ホテル
奉天……瀋陽館、大星ホテル、大丸旅
館、奉天ホテル、王家旅館、温泉ホテ
ル
撫順……岩嶺ホテル

新 京……國都ホテル、中央ホテル、常
發旅館、西村旅館、新京旅館、富士屋
旅館、北滿旅館、梅屋旅館、滿洲旅館、
白石旅館、大丸新館、名古屋ホテル

敦 化……大正旅館、都旅館、富士屋、
大同旅館
國 門……柳屋、松本屋、佐賀屋、鶴城、
富士屋、博多屋、かめや、國門館、千
歳、城崎

津 山 線
大虎山……大和館、大虎山ホテル
海帶子……海帶子ホテル、角福旅館
錦 州……錦州ホテル、瀋西ホテル、建
國ホテル、協和旅館、昭和ホテル、奉
天ホテル、入城館
山海關……東洋館、山海ホテル、大和館、
日本館、昭和館
口北營子……朝日館、富士屋
北 票……大同ホテル、北票ホテル、東
洋ホテル
朝 陽……都ホテル
通 遼……(大鄭線)……通遼ホテル

北 鮮 線
雄 基……大和旅館、博多屋
上三條……佐藤旅館
會 寧……會寧館
清 津……鶴林館、清津館、昌平館
羅 津……草島旅館、羅津ホテル
北 滿 線
哈爾濱……北滿ホテル、名古屋ホテル、
東洋ホテル、亞細亞ホテル、ナシヨナ
ルホテル
昂々溪……昂々館、小林旅館、滿洲屋旅
館
滿洲里……日本ホテル、大正旅館

平 齊 線
鄭家屯……鄭家屯ホテル
洮 南……南滿旅館、萬國旅館
齊 齊 哈爾濱……齊齊哈爾ホテル、朝日旅館、
龍沙旅館、東洋旅館
北 安……大同旅館、北安ホテル
京 圖 線
吉 林……名古屋ホテル、日清ホテル、
東京旅館

單獨宿泊料
洋 式……サートホテルその他洋式ホテル寮料
一人一室一日金三圓以上、ホテル食堂料理朝一
圓五十錢、夜二圓、便二圓五十錢見當
和 式……一泊二食付凡そ六圓以上、五圓、四
圓等。滿洲沿線各旅館は近代設備停止その他主
要地主要旅館も亦大體停止、女中その他使用人
へサービス料として宿料支拂額の一割乃至二
割。

連絡船は滿鐵超特急あじあ(大連哈爾濱間)
に接續(た)ま、しあとする兩船を除く)
近海郵船經由
鹿兒島、長崎と大連間を結び西南九州方
面との連絡に便。使用船は千歳丸、淡路丸
兩三千噸船。五日毎に鹿兒島、長崎、大
連相互發着。運賃低廉。

大 阪 商 船 經 由
毎日或は隔日に神戸、門司(下關)と大連
相互間發着。扶桑丸、吉林丸、熱河丸、う
なり丸、うらる丸、ばいかる丸、はるび
ん丸、あめりか丸、しあとる丸、たこま丸
等五千噸乃至八千噸の大型汽船。この日滿

(イ) 毎日朝夕二回下關釜山間を鐵道省
直營の連絡船が通ひ相互到着地に於て夫々
急行列車に接續。近來スピードアップの結
果東京、新京又は大連間は往來より十數時
間所要時間の短縮となり日滿兩國交通政策
上一大エポックをつくつた。
(ロ) 敦賀、清津及び新潟、雄基間直通
船路は兩者共月三回往復就航。
飛 行 機
毎日東京、大連間相互發着(但し日曜日
東京發休航大阪大連間、日曜日大連發休航)

連絡鐵道 滿鐵線と國有線及びその他と
の接續點及び線名は左の通りである。
奉 天……奉天山間に山海關、北平方面へ
同……聯吉間に朝陽鎮、吉林方面へ
四 平 街……平齊間に鄭家屯、長南、秀々哈爾、
滿洲里、歐州方面へ
新 京……北滿線にて哈爾濱、滿洲里、歐州又
は滿鐵方面へ
同……京圖線にて吉林、敦化、朝陽方面へ
金 州……金州線にて貔子窩、城子隴方面へ
構内食堂 左の各線には食堂の設備があ
つて、手軽な食事が出来る。
滿鐵線……大連、大石橋、遼陽、奉天、
鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、
新京、安東
國有線……奉天總站、齊齊哈爾、吉林、
圖們
構内設備
滿鐵線……金州、瓦房店、大石橋、遼陽、
奉天、鐵嶺、昌圖、四平街、公主嶺、
樺頭、鶴冠山、安東
構内一箇四十錢、茶一箇七錢

旅費及び諸費用
割引乗車船券
單獨の場合

旅費及び諸費用
割引乗車船券
單獨の場合

一等 一軒に付 一分
二等 一軒に付 二分
三等 一軒に付 三分
四等 一軒に付 四分
五等 一軒に付 五分
六等 一軒に付 六分
七等 一軒に付 七分
八等 一軒に付 八分
九等 一軒に付 九分
十等 一軒に付 十分

旅費及び諸費用
割引乗車船券
單獨の場合

滿洲旅行の心得——旅費及び諸費用

滿洲旅行の心得——旅費及び諸費用

團體宿泊料

Table with columns for school type (e.g., 小學校, 中等學校, 高等學校) and rates for different groups (e.g., 學生, 教員, 職員). Includes a note about hot springs (温泉) and a table for travel routes (旅行経路).

旅行経路

大阪商船經由
毎日或は隔日に神戸、門司(下關)と大連
相互間發着。扶桑丸、吉林丸、熱河丸、う
なり丸、うらる丸、ばいかる丸、はるび
ん丸、あめりか丸、しあとる丸、たこま丸
等五千噸乃至八千噸の大型汽船。この日滿

(一) 内鮮滿周遊券 内地から朝鮮を經
由して滿洲を一巡し、大連から汽船で始發
歸へ歸ると、この反對經路を一巡すること
も出来る極めて便利で格安な切符であ
る。この切符は汽車の區間(關釜間鐵路を
含む)二割引、船の區間(大連—門司又は神
戶)一割引、通用期間二箇月、途中下車隨
意で視察旅行や商用旅行に適してゐる。
發賣點及び割引運賃は左表の通りであ
る。

Table showing fares for different routes and classes (e.g., 一等, 二等, 三等) for various destinations like 東京, 大阪, 京都, etc.

同一經路を引續へし始發驛に戻る切符で、汽車の區間(關釜間航路を含む)二割引、船の區間(大連—門司又は神戸)一割引、通用期間二箇月、途中下車隨意で周遊券同様極めて格安である。なほ發賣驛については周遊券のやうな制限がなく、主なる驛なら何

團體 船車割引一覽

Table with columns for 團體 (Group) and 割引 (Discount). Rows include 船 (Ship) and 車 (Train) with specific discount rates for different group sizes (e.g., 10 people, 20 people, 50 people).

この團體券を持つた團體が國有線を旅行する場合に朝鮮線同様の割引がある。なほ北滿線の割引はその都度審議の上決定せられるのであるが、大體三等三十人以上(學生五人以上)、一、二等十五人以上は各三割引となつてゐる。

世話人無賃扱 本團體は二十人以上五十人未満の團體にあつては内一人、五十人以上は五十人毎に内一人を世話人として、各鐵道(關釜間航路を含む)に限り無賃(滿鐵)

處でも買へるので非常に便利である。團體の場合 前記の周遊或は往復の場合と同様經路を二等又は三等旅客が十人以上一團となつて旅行する時は、單獨の場合よりも更に高率な左記割引がある。

團體 船車割引一覽 (續)

Continuation of the group discount table, showing rates for 船 (Ship) and 車 (Train) across different categories.

線及び朝鮮鐵道局線内は急行料(金) 扱として便宜を計つてゐる。

急行料金

Table for 急行料金 (Express fares) with columns for 滿洲線 (Manchurian Line), 津浦線 (Tientsin-Peking Line), and 支那線 (China Line).

Table for 名勝戰跡車馬賃 (Famous spots and battle sites fares). Columns include 自動人力車 (Auto-ricksha) and 馬車 (Horse-drawn carriage).

左表は大體の標準であるが、乗車の際は豫め料金を取極めるのが得策である。(單位金圓)

Table for 名勝戰跡車馬賃 (續), listing various locations like 大連, 營子, and 旗順.

Table for 餐臺料金 (Meal table charges) across different regions like 滿洲, 北滿, and 遼東.

Table for 餐臺料金 (續), listing various spots like 營口, 營子, and 旗順.

Table for 餐臺料金 (續), listing various spots like 大石樓, 分水, and 鞍山.

Table with 6 columns: 西(西), 哈(哈), 滿(滿), 津(津), 會(會), 基(基). Each column lists travel routes and associated costs.

旅費

内地から鮮滿の周遊旅行をするには旅費がどの位必要だらうかといへば、汽車汽船賃、旅館宿泊料、食料、車馬賃(馬車又は電車使用)その他旅館に於ける心付等を含めて一人一日當り大體左記の金額を標準として計算すれば大差はない。

Table detailing travel expenses: 一等(First Class), 二等(Second Class), 三等(Third Class), 四等(Fourth Class). Lists costs for various services like meals and lodging.

鮮滿周遊の旅

Table with 4 columns: 4, 3, 2, 1. Lists travel routes and times: 瀋陽, 奉天, 長春, 吉林, 哈爾濱, 齊齊哈爾, 大連, 瀋陽.

Table with 4 columns: 順(順), 撫(撫), 天(天), 奉(奉). Lists travel routes and times: 朝一着, 夜一着.

Table with 4 columns: 子(子), 崗(崗), 湯(湯), 線(線). Lists travel routes and times: 夜一着, 朝一着.

12		11	
順	旅	連大	子備湯
朝一泊		後午一泊	
後午一泊		朝一發	
<p>水師營は二〇三高地(龍潭山)の高き山頂にあり、この山の麓に龍潭池あり、水師營の遺跡あり、乃木、ス</p>		<p>今日はお天候大連へ！</p>	

13		12	
連	大	連大	順 旅
後午一泊		後午一泊	
<p>星ヶ島、油、山、工、滿、米、十、船、大、市、</p>		<p>は浪、大、連、名、物、の、一、つ、の、夜、の、散、歩</p>	

16-15-14		
關 下	上 海	連 大
朝一泊		朝一發
<p>今日で滿洲周遊も終り八千の里を歩いた。十六日の早朝は門司、下</p>		<p>中 船</p>

滿洲言論界の權威 (年中無休刊、朝夕刊十四頁)



小學生新聞 附錄
經濟滿洲 月刊

昭和十年十一月五日印刷

昭和十三年 滿洲年鑑

(定價壹圓貳拾錢)

發行所

株式會社

滿洲日日新聞社

大連市東公園町三十一番地

印刷所 滿洲日日新聞社印刷所

印刷人 吾妻力松

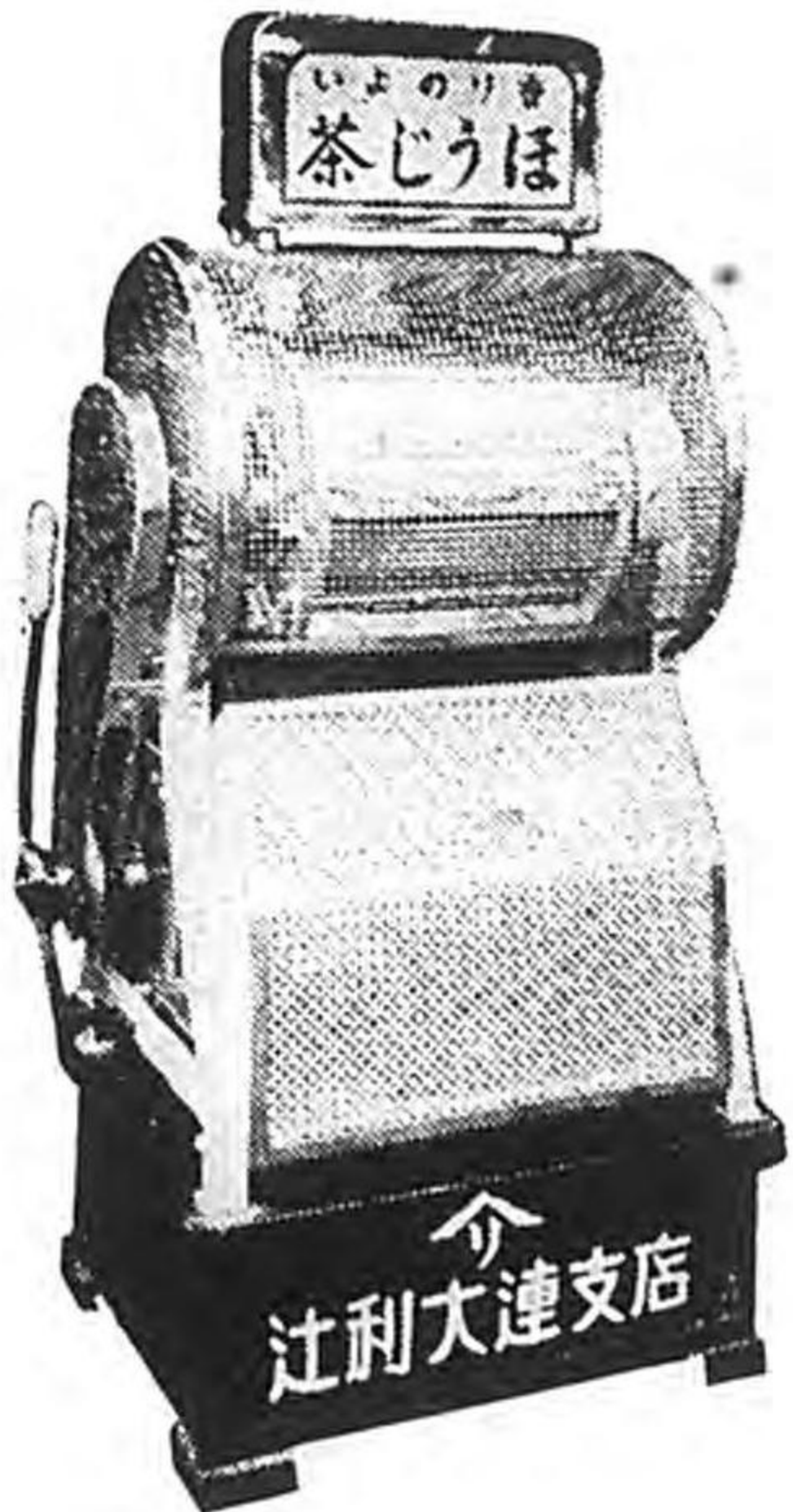
發行人 本村武盛

大連市東公園町三十一番地

振替貯金口座大連六〇番

香り高い焙立の ほうじ茶

宇治茶



大連市浪速町

本店 山城宇治

今 辻利大連支店

電話(2)三三八七・(2)四七七六

土木建築請負業



吉川組

代表 永一吉 由藏

お客様本位で
安くて親切な定評ある

大連ホテル

大連市敷島廣場
電話本局二四九一五番

日清製油株式会社

大連市寶町參番地

營業科目

火災保險、海上保險、運送保險
自動車保險

營業區域

關東州、朝鮮、南北滿洲、支那
一圓、沿海州地方、西比利亞

大連市樂町三十七番地



大連火災海上保險株式會社

代理店 滿洲、朝鮮、支那樞要各地

電話(代表)三一八〇七番
(長)三一八〇七番

新製品

チオナイト電線(特殊耐油護線)
 ニオナイト電線(難燃性護線)
 モエナイト電線(難燃性護線)
 超高压用油入式電線
 古河電水熱道用合金鉛管線
 古河電水熱道用合金鉛管線
 古河電水熱道用合金鉛管線
 古河電水熱道用合金鉛管線
 古河電水熱道用合金鉛管線



古河電氣工業株式會社
 大連販賣店

大連市山縣通百十三番地
 電話本局(2)五一三一番五一三二番

奉天商埠地三徑路四九號 電話三四四〇番
 新京中央通三九番地 電話三三三〇番
 哈爾濱埠頭區新城大街五番地 電話五二九〇番

營業目要

電線電纜
 銅・真鍮製品
 輕合金製品
 蓄電池

滿洲洲國
 出張所

本店 東京市麴町區丸ノ内二丁目四番地

營業科目

物品販賣業・問屋業・運送業
 仲立業・代理業・製造加工業
 工業請負業・上記各營業ニ附帶スル事業・並ニ保險代理業

大連市山縣通



三菱商事株式會社大連支店

電話代表本局二一八一五一番

主要取扱商品

大豆・豆粕・雜穀・豆油・硫安・麥粉・砂糖・セメント・木材・石油・重油・機械油類・一般金物・電機其他一般機械類

出張所所在地

哈爾濱道裡水道街三七
 新京中央通二三滿鮮ビル内
 奉天浪速通三九九

出張員所在地

營口新市街平和街一六ノ二
 安東驛前二二四

本社事務所 新京大同大街六〇一號地



滿洲電信電話株式會社

電話 二二七三一 番

大連市西通一一七



南滿洲瓦斯株式會社

電話代表本局二一八一八一番

代表社員 三田芳之助

土木建築
設計監督

合資
會社

三

田

組

電話本局 (長) 二二五四五〇番
二二四八五〇番

出張所 鞍山、奉天、撫順、新京、安東、齊々哈爾、洮安、洮南

鐵鋼材建築材料

大連市監部通四九

電話本局(2)

一六六七一
一一一一四
四四四八五
一二三九一



株式
會社

大信洋行

支店

大連 奉天 鞍山
大阪 南區安堂寺橋通三ノ三
東京 日本橋通八
天津 大西邊門外大街
山南 三條通一〇街

哈爾濱 道裡新城大街(大信號)
錦州 城內東街(大信利)
天津 吉木赤
承德 木新街

大連市愛宕町十四番地

恒裕錢莊

常深隆二

大連錢鈔取引所取引人
大連株式商品取引所取引人



東裕錢鈔部 東裕證券部

大連市山縣通り十八番地

首藤

定

受信略號タイレントウユウ
發信略號(ト)又ハ(ト)ユ

代表番號
(二)五二五七番

(二)五一五八番

(四)二五一五九番

(二)六七三三番

(二)二二一八番

(二)七二二番

電話

大連市紀伊町二十番地

直輸入株式會社 西川商店

工業洋鐵建築衛生瓦器材料
水道瓦斯用器具
暖房用品
各種時計

出張所

電話(代表) 二二五六〇番
振替口座大連 二二四五六番
奉天彌生町三十一番
電話七八五〇番
新京老松町二ノ一二番
電話六八五〇番

輸出入 (金物、機械、自動車、タイヤ、ロープ、ベルト、礦油、其他、工事用船舶用品)
保險部 (火災、海上、運送、生命、各保險代理) 倉庫部 (一般貨物保管、通關代辦)
石材部 (石灰石、苦灰石、硅石、螢石、滑石、花崗石、砂、砂利) 工事部 (土木、建築、設計監督、工事請負)



株式會社 福昌公司

大連市山縣通二二三番地 電話代表二一七二七番

專務取締役 相生常三郎

出張所

(鞍山、奉天、四平街、安東、新京、撫順、吉林、ハルビン、北安鎮、齊々哈爾、海倫、圖們、羅津、牡丹江、錦州、平泉、下板城、六家子、青島、上海)

鐵道工事
一般土木工事
建築工事

測量施設監請

計量行督定負

組主 碓山 久藏
顧問 鳥居 喜藏



碓

山

組

營業所

奉天青葉町一四(事務部)	四、六五二番	安東縣四番通三丁目一	一、〇七七番
同 (工事部)	五、四五四番	錦州驛前	二、七四番
大連市浪速町扇芳ビル内	二、七、六五四番	熱河省朝陽	六三番
新京興安胡同一〇三號地	三、三五三番	チ、ハル新馬路九	三、一五七番
哈爾濱長官公署街	三、〇九七番	吉林大馬路一五四	二、〇六五番
撫順東三條通一九	二、六三二番	羅津寶來町	架設中
四平街寶泉街四丁目一	一、〇二番	山海關南門外	架設中
公主嶺泉町二丁目一	六五番	延吉安字塔	一、六四番
開原車站街四六	四三六番	大黑河太平街六五	四五番
鞍山北三條通一五	五四二番		

營業種目

硫安・硫酸・硝酸・硝安・各種副產物



滿洲化學工業株式會社

本社及工場 大連市外甘井子

東京營業所 東京市麴町區丸ビル六階
大阪出張所 大阪市北區堂ビル五階
京城營業所 京 城 府 蓬 萊 町

大連市常盤橋

南滿洲電氣株式會社

電話代表(二)三二八一番

滿洲 千福



奉天若松町七十二番地
滿洲千福釀酒株式會社
 電話四一五五番

光彩の良
 故障のな
 サービス
 の親切な

ネオンサイン
 電氣サイン
 一般看板
 野立看板
 金文文字

滿洲電業株式會社全滿各營業所特約
 日滿鐵道廣告社特約

クロムネオン

滿洲クロード電氣株式會社

大連支店
 奉天出張所
 新京出張所
 東京本社
 大阪支店

大連市越後町三十八番地 (電話二、三三四六番)
 奉天青葉町四二番地 (電話四九三六番)
 新京曙町二丁目十八番地 (電話五九二二番)
 東京市芝區芝浦町三ノ一 (電話三田一二五二番)
 大阪市西區川口町三二 (電話西三八五五番)

業創年元化文

建築土木請負



會合資
社資
清
水
組

本店

支店

名古田市南區西古渡町十八番地
京都市上京區下立賣通千本西入
大坂市西區土佐堀通二丁目二番地
關西市博多社家町廿一番地
京府府黃金町一丁目百一番地
南滿洲大連市真弓町五番地
東京市京橋區寶町二丁目一番地
電話京橋(16)四一八一(一)五二八一(一)〇
(一)長四一八〇番(一)長五一八〇番

出張所

横濱市中區吉田町六十五番地
新潟市上大川前通八番地
金澤市宗叔町三番町三十六番地
神戶市神戶區加納町六一喜久ノ四ビル
廣島市東區榮町五十八番地
仙臺市東區三番町三十五番地
北海市函館市大町七番地
瀧川市北區表町二丁目廿一番地
釜山府榮町一丁目二十三番地
鞍山府大正通一丁目二十三番地
滿洲新京八島通二丁目二番地
滿洲奉天府信濃町二十二番地

滿洲炭礦株式會社

理事長	河本大作	理事	高畑信三郎
副理事長	李叔平	理事	顧瑗
常務理事	栗野俊一	常任監事	久保田忠吉
常務理事	竹內德三郎	監事	山鳥登
常務理事	長井祖平	監事	金山松喬
常務理事	白銘璋		

營業科目

土木建築
機械据付鐵骨組立
煖房衛生其他附帶工事
設計及施工請負

電話

事務室 ②四二三二番
主任室 ②六九八一番
技術室 ②三五四八番
②一〇〇七番

大連市山縣通大倉ビルディング内

大倉土木株式會社出張所

本社 東京市京橋區銀座三丁目四

各地詰所
鞍山、奉天、撫順、南坎、本溪湖、
新京、哈爾濱、齊々哈爾、黑河、牡
丹江、密山、錦縣、平泉

カベ塗料

ロニア



色鮮ハ充分ナル吟味ト洗練ヲ加ヘ
高尚優雅ナ色合ノミ取捨ハ素人方
ニモ趣味ニ應ジテ自由ニ藝術的味ヲ
發揮スルコトガ出来マス
色鮮、數十種
容量 二瓶入、十五瓶入
日本ペイント
大連、奉天、新京、哈爾濱

天下一品！
一家一瓶！

ライントイキ

世界での
標準インキ
ライントイキ

大瓶小瓶各種
全国の文具店
にあり……



御本キンインオビムヤチ
社會式株造製キンイ崎篠

鐵路總局

哈爾濱水運局	齊々哈爾鐵路局	哈爾濱鐵路局	吉林鐵路局	奉天鐵路局
--------	---------	--------	-------	-------

分類

P 456

登録番號

2784

海州海産

昭和八年

分類

P

456

134

登録番號

2784

東亞研究所藏書

店商井澤 株式會社 大元賣發



ルービ ロボツサ
ヒス サア
エ

油醬ンマーコツキ

元捌賣手一

通部監市連大

店支連大社會名合納嘉

南洋鐵道株式會社



50

746